



滋賀県立大学 2022年度

講義概要(シラバス)

※この冊子は、Web版シラバスをPDFに変換したものです。文字数の関係で全ての情報が記載されない場合があります。最新の情報や全文は、県大ポータル USPo (<https://sgkwe.office.usp.ac.jp/SGKWeb/>) で、ご確認ください。

目 次

1110121	英語	A (活性化コース)	(人文)	木村 紀子	前期	・ ・ ・	1
1110122	英語	B (活性化コース)	(人文)	木村 紀子	後期	・ ・ ・	3
1110131	英語	A (活性化コース)	(人文)	Matthew Thornton	前期	・ ・ ・	5
1110132	英語	B (活性化コース)	(人文)	Matthew Thornton	後期	・ ・ ・	7
1110141	英語	A (活性化コース)	(人文)	佐久間 思帆	前期	・ ・ ・	9
1110142	英語	B (活性化コース)	(人文)	佐久間 思帆	後期	・ ・ ・	11
1110151	英語	A (活性化コース)	(人文)	西澤 裕一	前期	・ ・ ・	13
1110152	英語	B (活性化コース)	(人文)	西澤 裕一	後期	・ ・ ・	15
1110161	英語	A (活性化コース)	(人文)	森田 真	前期	・ ・ ・	17
1110162	英語	B (活性化コース)	(人文)	森田 真	後期	・ ・ ・	19
1110331	英語	A (応用コース)	(人文)	Jean-Baptiste M.B. SANFO	前期	・ ・ ・	21
1110332	英語	B (応用コース)	(人文)	Jean-Baptiste M.B. SANFO	後期	・ ・ ・	23
1110341	英語	A (応用コース)	(人文)	真島 アマンダ	前期	・ ・ ・	25
1110342	英語	B (応用コース)	(人文)	真島 アマンダ	後期	・ ・ ・	27
1110351	英語	A (応用コース)	(人文)	Ashley Stevens	前期	・ ・ ・	29
1110352	英語	B (応用コース)	(人文)	Ashley Stevens	後期	・ ・ ・	31
1110361	英語	A (応用コース)	(人文)	Alexandra Jane Burke	前期	・ ・ ・	33
1110362	英語	B (応用コース)	(人文)	Alexandra Jane Burke	後期	・ ・ ・	35
1110371	英語	A (応用コース)	(人文)	Karl Hedberg	前期	・ ・ ・	37
1110372	英語	B (応用コース)	(人文)	Karl Hedberg	後期	・ ・ ・	39
1110531	英語	A (充実コース)	(人文)	西澤 裕一	前期	・ ・ ・	41
1110532	英語	B (充実コース)	(人文)	西澤 裕一	後期	・ ・ ・	43
1110541	英語	A (充実コース)	(人文)	真田 満	前期	・ ・ ・	45
1110542	英語	B (充実コース)	(人文)	真田 満	後期	・ ・ ・	47
1110551	英語	A (充実コース)	(人文)	Jean-Baptiste M.B. SANFO	前期	・ ・ ・	49
1110552	英語	B (充実コース)	(人文)	Jean-Baptiste M.B. SANFO	後期	・ ・ ・	51
1110561	英語	A (充実コース)	(人文)	Janeth Hori	前期	・ ・ ・	53
1110562	英語	B (充実コース)	(人文)	Janeth Hori	後期	・ ・ ・	55
1110571	英語	A (充実コース)	(人文)	Christopher Garth	前期	・ ・ ・	57
1110572	英語	B (充実コース)	(人文)	Christopher Garth	後期	・ ・ ・	59
1110741	英語	A (展開コース)	(人文)	西堀 彰子	前期	・ ・ ・	61
1110742	英語	B (展開コース)	(人文)	西堀 彰子	後期	・ ・ ・	63
1110751	英語	A (展開コース)	(人文)	Ashley Stevens	前期	・ ・ ・	65
1110752	英語	B (展開コース)	(人文)	Ashley Stevens	後期	・ ・ ・	67
1110761	英語	A (展開コース)	(人文)	近藤 佑樹	前期	・ ・ ・	69
1110762	英語	B (展開コース)	(人文)	近藤 佑樹	後期	・ ・ ・	71
1110771	英語	A (展開コース)	(人文)	真島 アマンダ	前期	・ ・ ・	73
1110772	英語	B (展開コース)	(人文)	真島 アマンダ	後期	・ ・ ・	75
1110781	英語	A (展開コース)	(人文)	坂本 輝世	前期	・ ・ ・	77
1110782	英語	B (展開コース)	(人文)	坂本 輝世	後期	・ ・ ・	79
1130090	情報リテラシー (情報倫理を含む)	(人文a)	山本 洋紀	前期	・ ・ ・	81	
1130100	情報リテラシー (情報倫理を含む)	(人文b)	亀田 彰喜	前期	・ ・ ・	83	
1130110	情報リテラシー (情報倫理を含む)	(人文c)	山本 洋紀	前期	・ ・ ・	85	
1130120	情報リテラシー (情報倫理を含む)	(人文d)	亀田 彰喜	前期	・ ・ ・	87	
1130200	情報科学概論 (人文b)	亀田 彰喜	後期	・ ・ ・	・ ・ ・	89	
1130210	情報科学概論 (人文a)	山本 洋紀	後期	・ ・ ・	・ ・ ・	91	
1130220	情報科学概論 (人文c)	山本 洋紀	後期	・ ・ ・	・ ・ ・	93	
1130230	情報科学概論 (人文d)	亀田 彰喜	後期	・ ・ ・	・ ・ ・	95	
1150360	人間探求学 (生活デザイン)	学科教員	前期	・ ・ ・	・ ・ ・	97	
1150460	比較住居論～住まいがたえる世界の暮らし～	藤木 庸介	前期	・ ・ ・	・ ・ ・	99	
1201270	建築法規	戸川 勝紀	後期集中	・ ・ ・	・ ・ ・	101	
1202510	大気環境学	工藤 慎治	後期	・ ・ ・	・ ・ ・	103	
1300660	固体物性基礎	奥 健夫	後期	・ ・ ・	・ ・ ・	105	
1400070	一般構造	佐々木 一泰	前期	・ ・ ・	・ ・ ・	107	
1400080	インテリア計画論	宮本 雅子	前期	・ ・ ・	・ ・ ・	109	
1400088	インテリアコーディネーター概説	藤木 庸介	前期	・ ・ ・	・ ・ ・	111	
1400340	環境芸術湖文化論実習 (生活デザイン)	学科教員	通年	・ ・ ・	・ ・ ・	113	
1400430	基礎設計製図	藤木 庸介	後期	・ ・ ・	・ ・ ・	115	
1400440	基礎服飾デザイン	横田 尚美	後期	・ ・ ・	・ ・ ・	117	
1400570	近代デザイン史	佐々木 一泰	前期	・ ・ ・	・ ・ ・	119	
1400580	空間デザイン論	佐々木 一泰	後期	・ ・ ・	・ ・ ・	121	
1400640	現代産業デザイン論	磯部 孝文	前期	・ ・ ・	・ ・ ・	123	
1400705	建築計画論	藤木 庸介	後期	・ ・ ・	・ ・ ・	125	
1400730	考現学概論	印南 比呂志	前期	・ ・ ・	・ ・ ・	127	
1400820	構造計画 (生活デザイン)	森 隆寿	後期	・ ・ ・	・ ・ ・	129	
1400830	構造力学 (生活デザイン)	森 隆寿	後期	・ ・ ・	・ ・ ・	131	
1400910	サステナブルデザイン論		前期	・ ・ ・	・ ・ ・	133	
1400911	サブカルチャー交流論	金 悠進	前期	・ ・ ・	・ ・ ・	135	
1400930	色彩学	宮本 雅子	前期	・ ・ ・	・ ・ ・	137	
1400940	色彩学演習	宮本 雅子	後期	・ ・ ・	・ ・ ・	139	
1401130	社会調査方法論	大野 光明	後期	・ ・ ・	・ ・ ・	141	
1401140	社会調査論	中井 治郎	前期	・ ・ ・	・ ・ ・	143	
1401210	住環境設計演習	佐々木 一泰	前期	・ ・ ・	・ ・ ・	145	
1401220	住環境設計演習	藤木 庸介	後期	・ ・ ・	・ ・ ・	147	
1401230	住環境設計演習	佐々木 一泰	前期	・ ・ ・	・ ・ ・	149	

1401250	住環境論	宮本 雅子	後期	・・・	151
1401350	消費科学	松永 伸洋	後期	・・・	153
1401360	消費科学	松永 伸洋	前期前半	・・・	155
1401370	行動デザイン論[消費者行動論]	山田 歩	前期	・・・	157
1401540	心理学基礎	谷口 友梨	前期	・・・	159
1401560	生活経営論/	山田 歩	後期	・・・	161
1401580	生活デザイン基礎演習[生活造形基礎演習]	印南 比呂志	前期	・・・	163
1401620	生活素材論	東山 幸央	前期	・・・	165
1401630	生活デザイン学外演習	学科教員	通年集中	・・・	167
1401635	木匠塾(生活デザイン)	佐々木 一泰	通年集中	・・・	169
1401640	生活デザイン論	学科教員	後期	・・・	171
1401690	生活デザイン論演習	学科教員	前期	・・・	173
1401701	生活デザイン論演習	学科教員	後期	・・・	175
1401802	卒業研究・制作/論文	(生活デザイン)	学科教員 前期研究	・・・	177
1401805	卒業研究・制作/論文	(生活デザイン)	学科教員 後期研究	・・・	179
1402206	テキスタイルデザイン	内丸 もと子	後期	・・・	181
1402260	デッサン法	富原 仁美	前期	・・・	183
1402290	道具計画論	印南 比呂志	前期	・・・	185
1402300	道具デザイン演習	印南 比呂志	前期	・・・	187
1402310	道具デザイン演習	印南 比呂志	後期	・・・	189
1402320	道具デザイン演習	印南 比呂志	前期	・・・	191
1402331	デジタルデザイン演習A	徐 慧	前期	・・・	193
1402332	デジタルデザイン演習B	佐々木 一泰	後期	・・・	195
1402360	統計学基礎	高梨 克也	後期	・・・	197
1402510	人間工学	中村 孝之	後期	・・・	199
1402520	人間工学実習	森下 あおい	前期	・・・	201
1402540	人間文化論A	中井 直也	前期	・・・	203
1402550	人間文化論B	櫻井 悟史	後期	・・・	205
1402560	人間文化論C	宮本 雅子	後期	・・・	207
1402630	比較衣装論	横田 尚美	前期	・・・	209
1402680	比較道具論	印南 比呂志	後期	・・・	211
1402780	服飾文化論	横田 尚美	前期	・・・	213
1402800	服飾心理学	横田 尚美	後期	・・・	215
1402830	服飾造形論	森下 あおい	前期後半	・・・	217
1402860	服飾デザイン演習	森下 あおい	前期	・・・	219
1402870	服飾デザイン演習	横田 尚美	後期	・・・	221
1402880	服飾デザイン演習	森下 あおい	前期	・・・	223
1402900	服飾デザイン論	森下 あおい	後期	・・・	225
1402910	プレゼンテーション技法	未定*	後期	・・・	227
1402999	マーケティング演習[マーケティングリサーチ演習]	山田 歩	前期	・・・	229
1403000	マーケティング論	山田 歩	後期	・・・	231
1403290	視覚伝達デザイン	徐 慧	後期	・・・	233
1600471	生活工学(情報処理を含む)		前期	・・・	235
1600800	食物学(調理実習を含む)		前期集中	・・・	237

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	木村 紀子
講義コード	1110121	単位数	1	開講期	前期	授業方法	授	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

本授業の目的は、英語の話を聴き取る、読み取る、書く、話す技術を伸ばすことである。具体的には、身近な話題についての話を聴いて、ノートを取り、それに関する英文を読み、まとめや意見を書き、発表する技術を伸ばすことである。

到達目標

- (1) 英語の語彙の意味を理解して、使用することができる。
- (2) 英語の話を聴いて理解し、ノートを取ることができる。
- (3) 英文を読んで、主旨を理解することができる。
- (4) まとめや意見を、英語で書くことができる。
- (5) まとめや意見を、英語で発表することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	10%	到達目標(1)～(4)について、試験を行う。
レポート課題		
上記以外	90%	到達目標(1)～(4)について、毎回の小テストと宿題を評価する。(60%) 到達目標各項目について、発表、授業中の活動・提出物を評価する。(20%) 到達目標(1)～(4)について、到達確認テストを行う。(10%)

4回以上欠席した場合は、評価の対象としない。
評価に関する重要な事柄が、初回の授業で説明されるので、必ず出席する必要がある。

授業外学習

毎回、宿題と小テストへの備えをする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Contemporary Topics 1 (Fourth Edition)	Helen Solorzano & Laurie Frazier	Pearson	978-0-13-440064-8
2				
3				

教科書は、新品(オンライン・リソース・アクセス・コードが未使用のもの)を購入しておき、必ず初回授業に持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	特になし			
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	木村 紀子
講義コード	1110122	単位数	1	開講期	後期	授業方法	授	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

本授業の目的は、英語の話を聴き取る、読み取る、書く、話す技術を伸ばすことである。具体的には、身近な話題についての話を聴いて、ノートを取り、それに関する英文を読み、まとめや意見を書き、発表する技術を学ぶことである。

到達目標

- (1) 英語の語彙の意味を理解して、使用することができる。
- (2) 英語の話を聴いて理解し、ノートを取ることができる。
- (3) 英文を読んで、主旨を理解することができる。
- (4) まとめや意見を、英語で書くことができる。
- (5) まとめや意見を、英語で発表することができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	10%	到達目標(1)～(4)について、試験を行う。
レポート課題		
上記以外	90%	到達目標(1)～(4)について、毎回の小テストと宿題を評価する。(60%) 到達目標各項目について、発表、授業中の活動・提出物を評価する。(20%) 到達目標(1)～(4)について、到達確認テストを行う。(10%)

4回以上欠席した場合は、評価の対象としない。
評価に関する重要な事柄が、初回の授業で説明されるので、必ず出席する必要がある。

授業外学習

毎回、宿題と小テストへの備えをする。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Contemporary Topics 1 (Fourth Edition)	Helen Solorzano & Laurie Frazier	Pearson	978-0-13-440064-8
2				
3				

教科書は、前期に新品(オンライン・リソース・アクセス・コードが未使用のもの)を購入して使用していたものを、引き続き初回授業から使用する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	特になし			
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース)(人文)						担当教員	木村 紀子
講義コード	1110122	単位数	1	開講期	後期	授業方法	授	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業計画									
回数	テーマ	概要				予習/復習			
第1回	オリエンテーション Linguistics: A time	評価方法と授業の進め方を理解する 授業: 教科書12-21頁				2	教科書は、前期に新品(オンライン)	授業で学習した内容を復習し、配布	1
第2回	Linguistics: A time to learn 2	小テスト 授業: 教科書12-21頁				2	前回配布された宿題をして提出す	授業で学習した内容を復習し、配布	1
第3回	Linguistics: A time to learn 3	小テスト 授業: 教科書12-21頁				2	前回配布された宿題をして提出す	授業で学習した内容を復習し、配布	1
第4回	Linguistics: A time to learn 4	小テスト 授業: 教科書12-21頁				2	前回配布された宿題をして提出す	授業で学習した内容を復習し、配布	1
第5回	Biology: Genetically modified food 1	小テスト 授業: 教科書72-81頁				2	前回配布された宿題をして提出す	授業で学習した内容を復習し、配布	1
第6回	Biology: Genetically modified food 2	小テスト 授業: 教科書72-81頁				2	前回配布された宿題をして提出す	授業で学習した内容を復習し、配布	1
第7回	Biology: Genetically modified food 3	小テスト 授業: 教科書72-81頁				2	前回配布された宿題をして提出す	学期前半に学習した内容を復習し、	1
第8回	到達確認テスト 学習活動	到達確認テスト 英語の学習活動をする				2	前回配布された宿題をして提出す	授業で学習した内容を復習し、配布	1
第9回	Business: Design thinking 1	小テスト 授業: 教科書82-91頁				2	前回配布された宿題をして提出す	授業で学習した内容を復習し、配布	1
第10回	Business: Design thinking 2	小テスト 授業: 教科書82-91頁				2	前回配布された宿題をして提出す	授業で学習した内容を復習し、配布	1
第11回	Business: Design thinking 3	小テスト 授業: 教科書82-91頁				2	前回配布された宿題をして提出す	授業で学習した内容を復習し、配布	1
第12回	Information technology 1	小テスト 授業: 教科書112-121頁				2	前回配布された宿題をして提出す	授業で学習した内容を復習し、配布	1
第13回	Information technology 2	小テスト 授業: 教科書112-121頁				2	前回配布された宿題をして提出す	授業で学習した内容を復習し、配布	1
第14回	Information technology 3	小テスト 授業: 教科書112-121頁				2	前回配布された宿題をして提出す	授業で学習した内容を復習し、配布	1
第15回	Information technology 4	小テスト 授業: 教科書112-121頁				2	前回配布された宿題をして提出す	学期後半に学習した内容を復習し、	1
担当者から									

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	Matthew Thornton
講義コード	1110131	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

The purpose of this class is to cultivate various skills in English through activities based about topics of the selected TED talks. We will spend two classes per Unit in our textbook, covering the first half of the book. The students will give one presentation in front of class, turn in various short writing assignments, and take quizzes for each Unit. Please keep in mind that the class will take place entirely in English.

到達目標

1) By the end of the semester, you will be able to further reach the A2/B1 range (CEFR standard) in all four skills of English language. 2) You will have familiarized yourself with various ideas offered by TED talks, to further your learning on your own in the future.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% - Class participation
30% - Quizzes
25% - Writing assignments

授業外学習

授業で学んだ単語、文法、会話表現などを復習してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Keynote 2	David Bohlke	Cengage Learning	9781305965041
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	Matthew Thornton	
講義コード	1110131	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101ENG101								

授業計画									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

回数	テーマ	概要		予習 / 復習	
第1回	Course Introduction	Explanation of schedule, grading, rubric	90		
第2回	Unit 1	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第3回	Unit 1	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第4回	Unit 2	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第5回	Unit 2	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第6回	Unit 3	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第7回	Unit 3	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第8回	Unit 4	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第9回	Unit 4	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第10回	Unit 5	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第11回	Unit 5	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第12回	Unit 6	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第13回	Unit 6	Developing English language skills by exploring ideas with a TED talk	90		
第14回	Presentation	Presentation in front of class	90		90
第15回	Presentation	Presentation in front of class	90		90

担当者から

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	Matthew Thornton
講義コード	1110132	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

The purpose of this class is to cultivate various skills in English through activities based about topics of the selected TED talks. We will spend two classes per Unit in our textbook, covering the first half of the book. The students will give one presentation in front of class, turn in various short writing assignments, and take quizzes for each Unit. Please keep in mind that the class will take place entirely in English.

到達目標

1) By the end of the semester, you will be able to further reach the A2/B1 range (CEFR standard) in all four skills of English language. 2) You will have familiarized yourself with various ideas offered by TED talks, to further your learning on your own in the future.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% - Class participation
30% - Quizzes
25% - Writing assignments

授業外学習

授業で学んだ単語、文法、会話表現などを復習してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Keynote 2	David Bohlke	Cengage Learning	9781305965041
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110141	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

デザインについて英語でコミュニケーションできるように練習します。

英語を読み・聞きだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになったの演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。毎回の授業の初めに復習テスト(筆記式)があります。期末テストの他に英文の暗唱テストを行います。

なお状況によりシラバスは変更になりますのでご了承ください。

到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

学期末に英文暗唱テストが行われます(定期テスト50点中10点分になります)5回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません、自分で管理してください)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストが絶版のためプリントを使用します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	This Means This, This Means That Second Edition: A User's Guide to Semiotics	Sean Hall	Laurence King Publishing	9781856697354
2				
3				

テキストとして使用する書籍のKindle版です。

前提学力等

2回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず1回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	佐久間 思帆
講義コード	1110142	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

デザインについて英語でコミュニケーションできるように練習します。

英語を読み・聞きだけでは実力はつきません。言語は他の人と情報を伝達するためのものですから、他の学生とペアになったの演習や音読が大事となります。したがって授業への積極的な参加が出席の必要条件です。毎回の授業の初めに復習テスト(筆記式)があります。期末テストの他に英文の暗唱テストを行います。

なお状況によりシラバスは変更になりますのでご了承ください。

到達目標

- (1) 語彙力の向上
- (2) リスニング力の向上
- (3) 読解力の向上
- (4) 英語での思考力の向上
- (5) 英語での発信力の向上

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%
レポート課題		
上記以外	50	(1) 語彙力10% (2) リスニング力10% (3) 読解力10%

学期末に英文暗唱テストが行われます(定期テスト50点中10点分になります)5回の欠席で評価対象から除外されます(出席回数はお知らせしません、自分で管理してください)。なお学校が認めた公欠以外は一切認めません。

授業外学習

授業で扱った英文を、日本語から英語に、英語から日本語にクイックレスポンスできるまで復習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストが絶版のためプリントを使用します。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	This Means This, This Means That Second Edition: A User's Guide to Semiotics	Sean Hall	Laurence King Publishing	9781856697354
2				
3				

テキストとして使用する書籍のKindle版です。

前提学力等

2回生以上の特例処置での再履修を希望する学生は、本シラバスを確認した上で必ず1回目の授業に出席すること。出席しなかった学生の再履修は認めない。

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110151	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

この授業では、TOEIC受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。語彙の確認、映画によるリスニングの演習、内容を理解した英文を使った発信力の演習、さらに投げ込み教材を使用した読解の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力を身につけること。
2. 映画を利用してTOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。
3. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生が英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	指示された学習 (予習・復習) をしっかりやってそれぞれの授業の学習内容をしっかり理解しているかどうか。
レポート課題	15%	しっかりと指示された課題に取り組んで学習した内容について適切な形でレポートが書かれているかどうか。
上記以外	35%	毎回の小テスト 20% 授業態度 (授業への参加度) 15%

欠席、遅刻の多いもの、授業態度 (授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど) の悪いものは評価の対象としません。
(定期テストがあまりにも悪い場合も評価をしない) 2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。

授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったリスニング活動とそれに関するレポートが中心になります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	新TOEICテスト英単語ターゲット1500	松井こずえ	旺文社	9784010941751
2	TOEIC L&R 出る単語特急金のフレーズ		朝日新聞出版	
3	ラクラク覚える英会話ローマの休日		コスミック出版	9784774792521

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110151	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業計画							
回数	テーマ	概要				90分	予習/復習
第1回	ガイダンス/映画 Roman Holiday(1)	授業の進め方の説明と映画の視聴など				90分	指定された教科書を手に入れておく ガイダンスの内容を理解して次回の
第2回	映画 (2)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第3回	映画 (3)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第4回	映画 (4)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第5回	映画 (5)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第6回	映画 (6)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第7回	映画 (7)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第8回	映画 (8)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第9回	映画 (9)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第10回	映画 (10)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第11回	映画 (11)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第12回	映画 (12)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第13回	映画 (13)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第14回	映画 (14)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第15回	映画 (15)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第16回	映画 (16)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第17回	映画 (17)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第18回	映画 (18)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第19回	映画 (19)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第20回	映画 (20)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第21回	映画 (21)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第22回	映画 (22)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第23回	映画 (23)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第24回	映画 (24)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第25回	映画 (25)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第26回	映画 (26)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第27回	映画 (27)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第28回	映画 (28)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第29回	映画 (29)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第30回	映画 (30)/まとめ	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
担当者から							
TOEIC受験に向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。とにかく授業中に集中して、課題にも積極的に取り組んでしっかりと英語力を身につけてください。							

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110152	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

この授業では、TOEIC受験を念頭に置いて、主に語彙力の向上、読解力、あるいはリスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。語彙の確認、映画によるリスニングの演習、内容を理解した英文を使った発信力の演習、さらに投げ込み教材を使用した読解の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. TOEICで高得点を取るのに必要な英語の語彙力を身につけること。
2. 映画を利用してTOEICで高得点が狙えるような英語のリスニング力を身につけること。
3. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生が英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	指示された学習 (予習・復習) をしっかりやってそれぞれの授業の学習内容をしっかり理解しているかどうか。
レポート課題	15%	しっかりと指示された課題に取り組んで学習した内容について適切な形でレポートが書かれているかどうか。
上記以外	35%	毎回の小テスト 20% 授業態度 (授業への参加度) 15%

欠席、遅刻の多いもの、授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)の悪いものは評価の対象としません。
(定期テストがあまりにも悪い場合も評価をしない)2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。

授業外学習

この授業における授業外の学習は、主に教科書の指定された範囲の語彙の学習、ならびに各自が決めた素材を使ったリスニング活動とそれに関するレポートが中心になります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	新TOEICテスト英単語ターゲット1500	松井こずえ	旺文社	9784010941751
2	TOEIC L&R 出る単語特急金のフレーズ		朝日新聞出版	
3	ラクラク覚える英会話ローマの休日		コスミック出版	9784774792521

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110152	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業計画							
回数	テーマ	概要				90分	予習/復習
第1回	ガイダンス/映画 Roman Holiday(1)	授業の進め方の説明と映画の視聴など				90分	指定された教科書を手に入れておく ガイダンスの内容を理解して次回の
第2回	映画 (2)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第3回	映画 (3)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第4回	映画 (4)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第5回	映画 (5)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第6回	映画 (6)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第7回	映画 (7)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第8回	映画 (8)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第9回	映画 (9)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第10回	映画 (10)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第11回	映画 (11)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第12回	映画 (12)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第13回	映画 (13)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第14回	映画 (14)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第15回	映画 (15)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第16回	映画 (16)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第17回	映画 (17)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第18回	映画 (18)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第19回	映画 (19)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第20回	映画 (20)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第21回	映画 (21)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第22回	映画 (22)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第23回	映画 (23)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第24回	映画 (24)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第25回	映画 (25)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第26回	映画 (26)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第27回	映画 (27)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第28回	映画 (28)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第29回	映画 (29)	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第30回	映画 (30)/まとめ	語彙の確認と映画を利用したリスニング演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
担当者から							
TOEIC受験に向けて学習していきますが、夏休みの間に学習した内容を忘れてしまわないように定期的に学習する習慣を身につけてください。とにかく授業中に集中して、課題にも積極的に取り組んでしっかりと英語力を身につけてください。							

講義名	英語 A (活性化コース) (人文)						担当教員	森田 真
講義コード	1110161	単位数	1	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101ENG101							

授業概要

本授業では、リスニング・リーディング・スピーキング・ライティングの英語の4技能の向上を目指します。コミュニケーションは身近なトピックについてペア、またはグループで会話をし、自分の考えや意見を述べることや相手の話を理解し質問をする練習をします。また、英語的な表現で自分の考え、意見が述べられるように英作文を行い、その作文を基に会話を進めていきます。そして、基礎文法をしっかりと身につけて英語の理解力をのばします。さらにスキミングやスキミングなどで英文を読むスピードと要点をつかむ練習や、CDとそのスクリプトを使ったリスニング練習も行います。

到達目標

- (1) 日常生活、社会の出来事、自分自身について英語でスムーズに話すことができる。
- (2) 英文読解の方法を知り、英文が速く正確に読めるようになる。
- (3) 基礎文法をしっかりと身につけて、正しい文法で文章を書くことができるようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	30	英作文のレポート (15%) や小テスト (15%) などの課題。
上記以外	20	授業に参加する積極的な態度 (授業内の発言やペアワーク・グループワークに自発的に取り組む)

授業の3分の1以上 (5回以上) 欠席した場合は、評価の対象としません。

授業外学習

授業で学んだ単語、文法、会話表現などを復習してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	NEW CONNECTION BOOK 2	Teruhiko Kadoyama etc	SEIBIDO	9784791934126
2				
3				

教科書は必ず購入してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	森田 真
講義コード	1110162	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業概要

本授業では、リスニング・リーディング・スピーキング・ライティングの英語の4技能の向上を目指します。コミュニケーションは身近なトピックについてペア、またはグループで会話をし、自分の考えや意見を述べることや相手の話を理解し質問をする練習をします。また、英語的な表現で自分の考え、意見が述べられるように英作文を行い、その作文を基に会話を進めていきます。そして、基礎文法をしっかりと身につけ英語の理解力をのばします。さらにスキミングやスキャンニングなどで英文を読むスピードと要点をつかむ練習や、CDとそのスクリプトを使ったリスニング練習も行います。

到達目標

- (1) 日常生活、社会の出来事、自分自身について英語でスムーズに話すことができる。
- (2) 英文読解の方法を知り、英文が速く正確に読めるようになる。
- (3) 基礎文法をしっかりと身につけ、正しい文法で文章を書くことができるようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	100点満点中50点以下は評価をしません。
レポート課題	30	英作文のレポート (15%) や小テスト (15%) などの課題。
上記以外	20	授業に参加する積極的な態度 (授業内の発言やペアワーク・グループワークに自発的に取り組む)

授業の3分の1以上 (5回以上) 欠席した場合は、評価の対象としません。

授業外学習

授業で学んだ単語、文法、会話表現などを復習してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	NEW CONNECTION BOOK 2	Teruhiko Kadoyama etc	SEIBIDO	9784791934126
2				
3				

教科書は必ず購入してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 B (活性化コース) (人文)						担当教員	森田 真
講義コード	1110162	単位数	1	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101ENG102							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習	
第1回	後期ガイダンス	授業の進め方説明、夏休みにやったことの発表	2	シラバスを事前に読んでくる。 もう一度シラバスを読む。クラス	2 2
第2回	Unit 8	新出語彙・リスニング・新出表現・文法	2	テキストのVocabularyとLanguage	2
第3回	Unit 8	読解・作文	2	テキストのReadingのページの英文	2
第4回	Unit 9	新出語彙・リスニング・新出表現・文法	2	テキストのVocabularyとLanguage	2
第5回	Unit 9	読解・作文	2	テキストのReadingのページの英文	2
第6回	Unit 10	新出語彙・リスニング・新出表現・文法	2	テキストのVocabularyとLanguage	2
第7回	Unit 10	読解・作文	2	テキストのReadingのページの英文	2
第8回	Unit 11	新出語彙・リスニング・新出表現・文法	2	テキストのVocabularyとLanguage	2
第9回	Unit 11	読解・作文	2	テキストのReadingのページの英文	2
第10回	Unit 12	新出語彙・リスニング・新出表現・文法	2	テキストのVocabularyとLanguage	2
第11回	Unit 12	読解・作文	2	テキストのReadingのページの英文	2
第12回	Unit 13	新出語彙・リスニング・新出表現・文法	2	テキストのVocabularyとLanguage	2
第13回	Unit 13	読解・作文	2	テキストのReadingのページの英文	2
第14回	Unit 14	新出語彙・リスニング・新出表現・文法	2	テキストのVocabularyとLanguage	2
第15回	Unit 14	読解・作文	2	テキストのReadingのページの英文	2

担当者から

英語習得には自発的な学習が必要です。授業前には予習をし、授業中には積極的な発言を期待しています。授業には辞書（または電子辞書）を持参してください。また、授業の進行を妨げたり、他の学生の学習機会を損なう行為は禁止します。

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110331	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

In this course, students will develop skills to speak confidently about intermediate to advanced topics and write persuasive essays in English. The course is designed to develop students' abilities to produce English output (speaking and writing). They will engage in pair/group speaking tasks, discussions, debates, and presentations on intermediate to advanced topics related to daily and academic life. They will also develop the ability to write logical and persuasive essays in English.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

- 1) Write paragraphs to organize ideas using a variety of sentence forms
- 2) Write a coherent, logical and organized essay with an introduction, body paragraphs, and a conclusion in acceptable English
- 3) Discuss and present their ideas and opinions on daily or academic topics with more confidence in English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation(40%)
レポート課題	30	Mid-term essay (30%)
上記以外	30	In-class participation (15%) Homework/assignment (15%)

- 1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.
- 2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

- 1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Expanding Horizons <B1-B2>	Charles Browne and Yuji Tanabe	南雲堂/NAN'UN-DO	ISBN 978-4-523-17934-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110332	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

In this course, students will develop skills to speak confidently about intermediate to advanced topics and write persuasive essays in English. The course is designed to develop students' abilities to produce English output (speaking and writing). They will engage in pair/group speaking tasks, discussions, debates, and presentations on intermediate to advanced topics related to daily and academic life. They will also develop the ability to write logical and persuasive essays in English.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

- 1) Write paragraphs to organize ideas using a variety of sentence forms
- 2) Write a coherent, logical and organized essay with an introduction, body paragraphs, and a conclusion in acceptable English
- 3) Discuss and present their ideas and opinions on daily or academic topics with more confidence in English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation(40%)
レポート課題	30	Mid-term essay (30%)
上記以外	30	In-class participation (15%) Homework/assignment (15%)

- 1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.
- 2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

- 1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Expanding Horizons <B1-B2>	Charles Browne and Yuji Tanabe	南雲堂/NAN'UN-DO	ISBN 978-4-523-17934-4
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	真島 アマンダ
講義コード	1110341	単位数	1	開講期	前期	授業方法	Inter	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Students will work together with the instructor to make a friendly and communicative class in a welcoming environment. By the end of the course, students will feel more confident using English to share their opinions and ideas.

In particular, the spring semester covers the following topics: Hometown, music, books, and family.

This course aims to specifically target the improvement of students' fluency in speaking and writing, by engaging in weekly fluency speaking and speed writing activities.

到達目標

- (1) Improve speaking fluency and communicative competence in English on topics related to students' lives.
- (2) Improve English writing fluency and accuracy on topics related to students' lives.
- (3) Better express Japanese cultural concepts and personal opinions.
- (4) Maintain motivation and stimulate students' interest in English language studies.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Quizzes (20%); Speaking tests (30%)
レポート課題	25	Written presentation scripts
上記以外	25	Final project (10%); Participation (15%)

授業を5回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。3回の遅刻で1回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Scraps (Fourth Edition)	Brian Cullen & Sarah Mulvey	Perceptia Press	978439130229
2				
3				

You will need a A4 clear file and a B5 notebook. It's also a good idea to bring a dictionary.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	真島 アマンダ		
講義コード	1110341	単位数	1	開講期	前期	授業方法	Inter			
ナンバリング番号	101ENG103									

授業計画											
回数	テーマ	概要					予習 / 復習				
第1回	Introduction & Unit 1: Hometown	Self-introductions and introduction to the class. Pair and group work on the topic, "Hometown."					1. Prepare the unit's picture page	1	5. Study the vocabulary list. Take	0.	
第2回	Unit 1: Hometown	Pair and group work on the topic, "Hometown." Writing Workshop #1.					1. Complete the writing assignment	1	5. Study the phrase list. Take the	0.	
第3回	Unit 1: Hometown	Pair and group work on the topic, "Hometown."					1. Prepare to take Speaking Test 1	1	5. Review the contents of Unit 1.	0.	
第4回	Speaking Test 1	Speaking Test 1 in class.					1. Prepare the next unit's picture	1	5. Study the vocabulary list. Take	0.	
第5回	Unit 2: Music	Pair and group work on the topic, "Music."					1. Complete the supplementary	1	5. Study the phrase list. Take the	0.	
第6回	Unit 2: Music	Pair and group work on the topic, "Music." Writing Workshop #2.					1. Complete the writing assignment	1	5. Review the contents of Unit 2.	0.	
第7回	Unit 2: Music & Speaking Test 2	Pair and group work on the topic, "Music." Speaking Test 2 in class.					1. Prepare the next unit's picture	1	5. Study the vocabulary list. Take	0.	
第8回	Unit 3: Books and Movies	Pair and group work on the topic, "Books and Movies."					1. Complete the supplementary	1	5. Study the phrase list. Take the	0.	
第9回	Unit 3: Books and Movies	Pair and group work on the topic, "Books and Movies." Writing Workshop #3.					1. Complete the writing assignment	1	5. Review the contents of Unit 3.	0.	
第10回	Unit 3: Books and Movies	Pair and group work on the topic, "Books and Movies."					1. Prepare the next unit's picture	1	5. Study the vocabulary list. Take	0.	
第11回	Unit 4: Family	Pair and group work on the topic, "Family."					1. Complete the supplementary	1	5. Study the phrase list. Take the	0.	
第12回	Unit 4: Family	Pair and group work on the topic, "Family."					1. Complete the writing assignment	1	5. Review the contents of Unit 4.	0.	
第13回	Unit 4: Family	Pair and group work on the topic, "Family."					1. Complete the supplementary	1	5. Prepare to submit the final	0.	
第14回	Speaking Test 3	Speaking Test 3 in class.					1. Complete the final writing	1	5. Review the contents of Units 1-	0.	
第15回	Review of Unit 1~4	Review activities to prepare for fall semester					1. Complete homework exercises	1	5. Review the contents of Units 1-	0.	

担当者から

In order to learn as much as possible from the course, please make sure to speak English as much as you can!

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	真島 アマンダ
講義コード	1110342	単位数	1	開講期	後期	授業方法	Inter	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

We will continue to develop the skills that were practiced in the spring semester.

Students will work together with the instructor to make a friendly and communicative class in a welcoming environment. By the end of the course, students will feel more confident using English to share their opinions and ideas.

In particular, the fall semester covers the following topics: Travel, school, food, and friends.

This course aims to specifically target the improvement of students' fluency in speaking and writing, by engaging in weekly fluency speaking and speed writing activities.

到達目標

- (1) Improve speaking fluency and communicative competence in English on topics related to students' lives.
- (2) Improve English writing fluency and accuracy on topics related to students' lives.
- (3) Better express Japanese cultural concepts and personal opinions.
- (4) Maintain motivation and stimulate students' interest in English language studies.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Quizzes (20%); Speaking tests (30%)
レポート課題	25	Written presentation scripts
上記以外	25	Final project (10%); Participation (15%)

授業を5回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。3回の遅刻で1回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Scraps (Fourth Edition)	Brian Cullen & Sarah Mulvey	Perceptia Press	978439130229
2				
3				

You will need a A4 clear file and a B5 notebook. It's also a good idea to bring a dictionary.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	真島 アマンダ
講義コード	1110342	単位数	1	開講期	後期	授業方法	Inter	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業計画

回数	テーマ	概要	予習 / 復習	
第1回	Introduction & Unit 5: Travel	Self-introductions and introduction to the class. Pair and group work on the topic, "Travel."	1. 5	Prepare the unit's picture page 1 Study the vocabulary list. Take 0.
第2回	Unit 5: Travel	Pair and group work on the topic, "Travel." Writing Workshop #1.	1. 5	Complete the writing assignment 1 Study the phrase list. Take the 0.
第3回	Unit 5: Travel	Pair and group work on the topic, "Travel."	1. 5	Prepare to take Speaking Test 1 1 Review the contents of Unit 5. 0.
第4回	Speaking Test 1	Speaking Test 1 in class.	1. 5	Prepare the next unit's picture 1 Study the vocabulary list. Take 0.
第5回	Unit 6: School	Pair and group work on the topic, "School."	1. 5	Complete the supplementary 1 Study the phrase list. Take the 0.
第6回	Unit 6: School	Pair and group work on the topic, "School." Writing Workshop #2.	1. 5	Complete the writing assignment 1 Review the contents of Unit 6. 0.
第7回	Unit 6: School & Speaking Test 2	Pair and group work on the topic, "School." Speaking Test 2 in class.	1. 5	Prepare the next unit's picture 1 Study the vocabulary list. Take 0.
第8回	Unit 7: Food	Pair and group work on the topic, "Food."	1. 5	Complete the supplementary 1 Study the phrase list. Take the 0.
第9回	Unit 7: Food	Pair and group work on the topic, "Food." Writing Workshop #3.	1. 5	Complete the writing assignment 1 Review the contents of Unit 7. 0.
第10回	Unit 7: Food	Pair and group work on the topic, "Food."	1. 5	Prepare the next unit's picture 1 Study the vocabulary list. Take 0.
第11回	Unit 8: Friends	Pair and group work on the topic, "Friends."	1. 5	Complete the supplementary 1 Study the phrase list. Take the 0.
第12回	Unit 8: Friends	Pair and group work on the topic, "Friends."	1. 5	Complete the writing assignment 1 Review the contents of Unit 8. 0.
第13回	Unit 8: Friends	Pair and group work on the topic, "Friends."	1. 5	Complete the supplementary 1 Prepare to submit the final 0.
第14回	Speaking Test 3	Speaking Test 3 in class.	1. 5	Complete the final writing 1 Review the contents of Units 1- 0.
第15回	Review of Unit 5~8	Review activities to prepare for next year.	1. 5	Complete homework exercises 1 Review the contents of Units 1- 0.

担当者から

In order to learn as much as possible from the course, please make sure to speak English as much as you can!

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110351	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations, while practicing all four language skills. On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities with a specific focus on communication. The students will have had the opportunity to talk in pairs and in groups when doing the tasks, and to develop the skills to work on projects in English.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	50% Final Interview Test 35% Final Writing Test
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World	Stevens	3C English	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110352	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations, while practicing all four language skills. On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities with a specific focus on communication. The students will have had the opportunity to talk in pairs and in groups when doing the tasks, and to develop the skills to work on projects in English.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	50% Final Interview Test 35% Final Writing Test
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	English for the World 2	Stevens	3C English	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110352	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業計画							
回数	テーマ	概要			90	予習 / 復習	
第1回	Course Introduction	Explanation of schedule, grading, rubric.			Mi		
第2回	Where we live	Focusing on the functional language used in real life situations for discussing where we live with a focus on			90		
第3回	Where we live	Focusing on the functional language used in real life situations for discussing where we live with a focus on			90		
第4回	Friends and family	Focusing on the functional language used in real life situations regarding our lives with a focus on describing			90		
第5回	Friends and family	Focusing on the functional language used in real life situations regarding our lives with a focus on describing			90		
第6回	Sports and activities	Focusing on the functional language used in real life situations when discussing our hobbies with a focus on verbs.			90		
第7回	Sports and activities	Focusing on the functional language used in real life situations when discussing our hobbies with a focus on verbs.			90		
第8回	Life experiences	Focusing on the functional language used in real life situations when the things we have done with a focus on the			90		
第9回	Life experiences	Focusing on the functional language used in real life situations when the things we have done with a focus on the			90		
第10回	Jobs and the wrokplace	Focusing on the functional language used in real life situations regarding the wrokplace with a focus on describing			90		
第11回	Jobs and the workplace	Focusing on the functional language used in real life situations regarding the wrokplace with a focus on describing			90		
第12回	The biggest and the best	Focusing on the functional language used in real life situations discussing opinions and facts with a focus on			90		
第13回	The biggest and the best	Focusing on the functional language used in real life situations discussing opinions and facts with a focus on			90		
第14回	Test Guidelines and Practice	Guidelines and practice for final interview test.			90		
第15回	Interview Test	One to one interviews with student and teacher covering the modules taught.			90		
担当者から							

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Alexandra Jane Burke
講義コード	1110361	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Students will get an all-English listening and speaking experience through studying world cultures via a text, interactive activities and multimedia including quizzes. This goal of this course is to build skills and confidence in students to use English in social, research and work situations. Classes will follow the textbook in the order given below. Tasks will include geography, vocabulary building, grammar in context, dictation, reading comprehension, summarising, retelling, analysis and spoken interviews. Regular homework will be assigned. It is also expected that students will read upcoming units in advance.

到達目標

The instructional emphasis will be on communication on themes drawn from the textbook as well as current events. Students will: (1) develop their critical thinking skills using English on issues in Japan and internationally, (2) be able to use new vocabulary in speaking and writing. (3) be able to work independently outside of class and work together cooperatively inside class. (4) be able to gain confidence in using English pitch intonation, word & sentence stress.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	A solo presentation and a 2-way discussion (videod) (30%) participation in pair-work, small group and small and large group activities (25%) completion of set quizzes (30%) 2 short videos. (15%). Students will be assessed on how well they demonstrate progress on goals 1 - 4.

As a general rule, students absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

The goal is to talk freely about the difference between other countries and Japan. We will use free study games you can play on a phone/computer by yourself or with classmates. Study a little, daily.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Around the World in 15 Chapters Beginner Book 2nd Edition	John Spiri	Global Stories Press	978-4-905426-56-1
2				
3				

Bring textbook, device (computer/phone/ tablet) + headphones for research and class activities.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Alexandra Jane Burke
講義コード	1110361	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習	
第1回	Introduction	Introduction, syllabus, study hints Get Class User ID. Sign up for Teams, Duolingo Classroom, FlipGrid, Quizlet, Use teams.	90	Pre-read pages 4-8. Do set quiz	60
第2回	Unit 1-Europe-Germany	Text Book Page 79 Map P4 P5 Timeline Tenses Quiz Activities	90	Study page 79. Do set quiz	30
				Submit Flipgrid video 1	30
第3回	Unit 1-Europe-Germany	U1 Germany Page 6-8 Pairwork on P 6 using p79	90	Pre-read pages 9-12	15
				Do set quiz activities. Speaking	45
第4回	Unit 1-Europe-Italy	U1 Italy. P 9-10 Pairwork on P10	90	Do set quiz activities. Speaking	60
第5回	Unit 1-Europe-Italy	U1 Italy. P 11-12 Reading & Pronunciation focus. Quizzes	90	Do set quiz activities. Speaking	60
第6回	Unit 1-Europe-Denmark	U1 Denmark P 13-14 Pairwork on p 14. Quizzes	90	Pre-read pages 13-16	15
				Do set quiz activities. Speaking	45
第7回	Unit 1-Europe-Denmark	U1 Denmark P 15-16 Preparation for solo presentation video. Quizzes	90	Submit Flipgrid video 2	60
第8回	Unit 2-Asia-Korea	U2 Asia Map, Korea P 19, 20. Quizzes		Pre-read pages 19-22	15
				Do set quiz activities. Speaking	45
第9回	Unit 2-Asia-Korea	U2 Korea P 21, 22 Quizzes	90	Do set quiz activities. Speaking	60
第10回	Unit 2-Asia-Vietnam	U2 Vietnam P 23, 24 Pairwork on P24 Quizzes	90	Pre-read pages 23-26	15
				Do set quiz activities. Speaking	45
第11回	Unit 2-Asia-Vietnam	U2 Vietnam P 25, 26. Listening and speaking focus. Quizzes.	90	Do set quiz activities. Speaking	60
第12回	Unit 2-Asia-Indonesia.	U2 Indonesia. P27, 28 Pairwork on P 28. Quizzes	90	Pre-read pages 27-30	15
				Do set quiz activities. Speaking	45
第13回	Unit 2-Asia-Indonesia.	U2 Indonesia. P29, 30 Preparation for Pair video Quizzes		Do set quiz activities. Speaking	60
第14回	Unit 1 and 2 Skill practice pairs	Record Pair video on any 2 countries from Semester 1 Conversation Practice Quizzes	90	Submit Flipgrid Video 3	60
第15回	Unit 1 and 2 Skill practice groups	Pair / Trio conversations on any countries from Units 1 & 2, Quiz on Units 1 and 2. Student reflection on learning.	90	Speaking practice.	
				Final Flipgrid Video: Something	30

担当者から

We will use Microsoft Teams to communicate and to give/submit assignments. Please feel free to contact me by email halexandra.j@ec.usp.ac.jp I am at the university on Tuesdays (前後期) and Wednesdays (前期). Please write your class day/time, Name

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Alexandra Jane Burke
講義コード	1110362	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Students will get an all-English listening and speaking experience through studying world cultures via a text, interactive activities and multimedia including quizzes. This goal of this course is to extend the conversational skills used in English IIA. Classes will follow the textbook in the order given below. Tasks will include geography, vocabulary building, grammar in context, dictation, reading comprehension, summarising, retelling, analysis and spoken interviews. Regular homework will be assigned. It is also expected that students will read upcoming units in advance.

到達目標

The instructional emphasis will be on communication on themes drawn from the textbook as well as current events. Students will:

- (1) develop their critical thinking skills using English on issues in Japan and internationally,
- (2) be able to use new vocabulary in speaking and writing.
- (3) be able to work independently outside of class and work together cooperatively inside class.
- (4) be able to gain confidence in using English pitch intonation, word & sentence stress.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	A pair discussion and a 3-way discussion (videod) (30%) participation in pair-work, small group and small and large group activities (25%) completion of set quizzes (30%) 2 short videos. (15%). Students will be assessed on how well they demonstrate progress on goals 1 - 4.

As a general rule, students absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

The goal is to talk freely about the difference between other countries and Japan. We will use free study games you can play on a phone/computer by yourself or with classmates. Study a little, daily.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Around the World in 15 Chapters Beginner Book 2nd Edition	John Spiri	Global Stories Press	978-4-905426-56-1
2				
3				

Bring textbook, device (computer/phone/ tablet) + headphones for research and class activities.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (応用コース) (人文)						担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1110371	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG103							

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test
25% Mid-term Writing test
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (応用コース) (人文)						担当教員	Karl Hedberg
講義コード	1110372	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	101ENG104							

授業概要

Students will gain confidence and ability in applying English language skills in enjoyable communicative activities such as role-plays and short skits. TV comedy skits. Students are required to write a one-page essay or story. The teacher will meet with each student individually to give advice about content, grammar, and pronunciation. Students will practice reading their essays or stories in front of the teacher before having to do it again for a final evaluation. Students will be graded on both writing and speaking.

到達目標

Students will be able talk about activities encountered in everyday life using familiar grammatical constructions, and write about them fairly cohesively and logically.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

25% Mid-term Speaking test
25% Mid-term Writing test
25% Vocabulary Quizzes

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living English I	Hedberg & Mauser	Keystone English Press	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110531	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む)を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	指示された学習(予習・復習)をしっかりとやってそれぞれの授業の学習内容をしっかり理解しているかどうか。
レポート課題	15%	しっかりと指示された課題に取り組んで学習した内容について適切な形でレポートが書かれているかどうか。
上記以外	35%	毎回の小テスト 20% 授業態度(授業への参加度) 15%

欠席、遅刻の多いもの、授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)の悪いものは評価の対象としません。
(定期テストがあまりにも悪い場合も評価をしない)2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ラクラク覚える英会話ローマの休日		コスミック出版	9784774792521
2	TOEIC L&R 公式ボキャブラリーブック	Education Testing Service	LiBC	9784906033560
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110531	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業計画							
回数	テーマ	概要				90分	予習/復習
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など				90分	指定された教科書を手に入れておく ガイダンスの内容をしっかりと理解し
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
担当者から							
初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。 忙しい授業になると思いますが、積極的に授業に参加して、さらに指定された家庭学習にもしっかりと取り組んで大学生にふさわしい程度の英語力							

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110532	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

この授業では、主に語彙力の向上、リスニング力の向上、さらに、それらを踏まえた発信力の向上を目標とします。教科書を使用した語彙の確認、映画を使用したリスニングの演習、内容を理解した英文を使用した発信の演習という形を反復することで、英文を理解する際の基本的な能力の向上を目標として授業を進めていきます。

到達目標

1. 大学生にふさわしい程度の英語の語彙(ビジネス英単語も含む)を身につけること。
2. 映画のシナリオを読むことで英語の会話表現に慣れること。
3. 映画の音声に親しむことで、Englishes, すなわちイギリス英語、アメリカ英語、イタリアなまりの英語などに慣れること。
4. 映画の表現に親しむことで各学生の英語による自己表現力を高めること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	指示された学習(予習・復習)をしっかりとやってそれぞれの授業の学習内容をしっかり理解しているかどうか。
レポート課題	15%	しっかりと指示された課題に取り組んで学習した内容について適切な形でレポートが書かれているかどうか。
上記以外	35%	毎回の小テスト 20% 授業態度(授業への参加度) 15%

欠席、遅刻の多いもの、授業態度(授業の準備はしっかりできているか、授業中の演習に集中して取り組んでいるかなど)の悪いものは評価の対象としません。
(定期テストがあまりにも悪い場合も評価をしない)2回の遅刻で1回の欠席とみなす場合があります。

授業外学習

この授業における授業外の学習は主に教科書を使った語彙の学習と、リスニング素材を利用したディクテーションによるリスニングの学習が中心となります。通学時間などもうまく利用して毎日定期的に学習すればより学習効果が高まると思います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ラクラク覚える英会話ローマの休日		コスミック出版	9784774792521
2	TOEIC L&R 公式ボキャブラリーブック	Education Testing Service	LiBC	9784906033560
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

特になし

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	西澤 裕一
講義コード	1110532	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画							
回数	テーマ	概要				90分	予習/復習
第1回	ガイダンス/Roman Holiday (1)	授業の進め方等について解説して映画の視聴など				90分	指定された教科書を手に入れておく ガイダンスの内容をしっかりと理解し
第2回	Roman Holiday (2)/英単(1)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第3回	Roman Holiday (3)/英単(2)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第4回	Roman Holiday (4)/英単(3)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第5回	Roman Holiday (5)/英単(4)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第6回	Roman Holiday (6)/英単(5)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第7回	Roman Holiday (7)/英単(6)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第8回	Roman Holiday (8)/英単(7)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第9回	Roman Holiday (9)/英単(8)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第10回	Roman Holiday (10)/英単(9)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第11回	Roman Holiday (11)/英単(10)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第12回	Roman Holiday (12)/英単(11)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第13回	Roman Holiday (13)/英単(12)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第14回	Roman Holiday (14)/英単(13)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第15回	Roman Holiday (15)/英単(14)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第16回	Roman Holiday (16)/英単(15)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第17回	Roman Holiday (17)/英単(16)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第18回	Roman Holiday (18)/英単(17)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第19回	Roman Holiday (19)/英単(18)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第20回	Roman Holiday (20)/英単(19)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第21回	Roman Holiday (21)/英単(20)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第22回	Roman Holiday (22)/英単(21)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第23回	Roman Holiday (23)/英単(22)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第24回	Roman Holiday (24)/英単(23)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第25回	Roman Holiday (25)/英単(24)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第26回	Roman Holiday (26)/英単(25)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第27回	Roman Holiday (27)/英単(26)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第28回	Roman Holiday (28)/英単(27)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第29回	Roman Holiday (29)/英単(28)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解と発信の演習					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
第30回	Roman Holiday (30)/英単(29)	TOEICに向けたビジネス英単語の演習とハンドアウトを利用したRoman Holidayの内容理解/全体のまとめ					指定された小テストの範囲をしっかりと 小テストの内容、及び授業で学習し
担当者から							
初回の授業で、授業の進め方について詳しく説明するので必ず出席すること。 忙しい授業になると思いますが、積極的に授業に参加して、さらに指定された家庭学習にもしっかりと取り組んで大学生にふさわしい程度の英語力							

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	真田 満
講義コード	1110541	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

現代社会の諸問題についての英語教材を使い、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。またビデオ教材等を使い、英語を聞き、理解する能力も養う。毎回の授業において英語を音読し、弱強や強弱の英語独自のリズムに慣れ親しむ。教科書の設問や教員の質問にグループやペアで討議し、英語で答えることで、英語による発信力も育成する。

到達目標

一般的な話題を扱うテキストの英文を正確に理解できる。
 テキストの英文に関する問題に、英語で答えることができる。
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べることができる。
 自然なスピードで英語のネイティブスピーカーが話す内容を理解することができる。
 正しい発音を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標 について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50%	到達目標 に関し、2回小テストを行う。 到達目標 と に関しては授業での発表をもとに、毎回の宿題と合わせて評価する。

総授業回数の3分の1を超えて欠席した場合、評価の対象としない。
 30分以上の遅刻は認めない。
 遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えることで予習をしっかり行うこと。
 語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答してくること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Reading Explorer Third Edition Level 2 Student Book Test Only	David Bohlke他	Cengage	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特になし。

前提学力等

英語Iおよび英語IIで身につけた英語力

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	真田 満
講義コード	1110541	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習
第1回	Introduction Unit 1 A	授業の説明 基本的な英語問題の解答と解説	90分	教科書Unit 1 Aのリーディング部分 授業で学んだ英語表現を、授業以外
第2回	Unit 1 A (続き)	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外
第3回	Unit 1 B	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外
第4回	Unit 2 A	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外
第5回	Unit 2 B	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外
第6回	1st Quiz Unit 3 A	第1回小テスト 宿題の解答と解説	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外
第7回	Unit 3 A and B	小テストの講評 宿題の解答と解説	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外
第8回	Unit 3 B	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外
第9回	Unit 4 A	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外
第10回	Unit 4 B	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外
第11回	Unit 5 A	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外
第12回	2nd Quiz Unit 5 B	第2回小テスト 宿題の解答と解説	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外
第13回	Unit 5 B and 6 A	小テストの講評 宿題の解答と解説	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外
第14回	Unit 6 A	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外
第15回	Unit 6 B Recapitulation	宿題の解答と解説 リーディング・パッセージの読解	90分	前回の授業で提示された教科書の範 授業で学んだ英語表現を、授業以外

担当者から

英和辞書だけでなく、英英辞書も持参すること。

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	真田 満
講義コード	1110542	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

現代社会の諸問題についての英語教材を使い、英語の読解力を伸ばすとともに、批判的にテキストを読む力を養い、知的レベルの高いコミュニケーションに必要な教養を深める。またビデオ教材等を使い、英語を聞き、理解する能力も養う。毎回の授業において英語を音読し、弱強や強弱の英語独自のリズムに慣れ親しむ。教科書の設問や教員の質問にグループやペアで討議し、英語で答えることで、英語による発信力も育成する。

到達目標

一般的な話題を扱うテキストの英文を正確に理解できる。
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で書くことができる。
 テキストを批判的に読み、自分の考えを英語で述べるができる。
 自然なスピードで英語のネイティブスピーカーが話す内容を理解することができる。
 正しい発音を身につける。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標 について試験を行う。
レポート課題		
上記以外	50%	到達目標 に関し、2回小テストを行う。 到達目標 と に関しては授業での発表をもとに、毎回の宿題と合わせて評価する。

総授業回数の3分の1を超えて欠席した場合、評価の対象としない。
 30分以上の遅刻は認めない。
 遅刻3回で1回の欠席扱いとする。

授業外学習

教科書のテキストを批判的に読み、設問に答えてくることで予習をしっかりと行うこと。
 語彙と文法に関する問題プリントも毎回配付するので、解答してくること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Reading Explorer Third Edition Level 2 Student Book Text Only	David Bohlke他	Cengage	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特になし。

前提学力等

英語Iと英語IIで身につけた英語力

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110551	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

In this class, students will significantly improve their all four English language skills in an interesting and engaging way through activities on the Sustainable Development Goals (SDGs). Through activities such as pair/group work, discussions, debates, and presentations, they will gain more confidence and ability to share their ideas and knowledge related to SDGs and also acquire a better understanding of global issues. Students are expected to read upcoming units or assigned materials in advance and proactively participate in class activities.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

- 1) Write a coherent, logical and organized essay with an introduction, body paragraphs, and a conclusion in acceptable English.
- 2) Apply appropriate techniques to identify and extract the main ideas and details from a reading or listening material in English.
- 3) Discuss and present their ideas and opinions on global issues with more confidence in English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation (40%)
レポート課題	40	Mid-term essay (40%)
上記以外	20	In-class participation (10%) Homework assignments (10%)

- 1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.
- 2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

- 1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals	Kazuya Oseki Kevin M. McManus	南雲堂/NAN'UN-DO	9784523179313
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110551	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習
第1回	Course Introduction	Course orientation and Self-introduction	1 時	Read the syllabus beforehand. 1 Will be decided in class. 1
第2回	Chapter 1	Global Perspectives	1 時	An announcement will be made in 1 Content students do not 1
第3回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1 時	An announcement will be made in 1 Content students do not 1
第4回	Chapter 2	Climate Change	1 時	An announcement will be made in 1 Content students do not 1
第5回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1 時	An announcement will be made in 1 Content students do not 1
第6回	Chapter 3	Water	1 時	An announcement will be made in 1 Content students do not 1
第7回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1 時	An announcement will be made in 1 Content students do not 1
第8回	Mid-term test	Essay writing	1 時	An announcement will be made in 1 Not applicable 1
第9回	Chapter 4	Clean Energy	1 時	An announcement will be made in 1 Content students do not 1
第10回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1 時	An announcement will be made in 1 Content students do not 1
第11回	Chapter 5	Poverty	1 時	An announcement will be made in 1 Content students do not 1
第12回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1 時	An announcement will be made in 1 Content students do not 1
第13回	Chapter 6	Hunger	1 時	An announcement will be made in 1 Content students do not 1
第14回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1 時	An announcement will be made in 1 Content students do not 1
第15回	Chapter 7	Children	1 時	An announcement will be made in 1 Content students do not 1

担当者から

1) A mistake is not one if you learn from it, so make mistakes and learn from them.

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110552	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

In this class, students will significantly improve their all four English language skills in an interesting and engaging way through activities on the Sustainable Development Goals (SDGs). Through activities such as pair/group work, discussions, debates, and presentations, they will gain more confidence and ability to share their ideas and knowledge related to SDGs and also acquire a better understanding of global issues. Students are expected to read upcoming units or assigned materials in advance and proactively participate in class activities.

到達目標

By the end of this course, students will be able to:

- 1) Write a coherent, logical and organized essay with an introduction, body paragraphs, and a conclusion in acceptable English.
- 2) Apply appropriate techniques to identify and extract the main ideas and details from a reading or listening material in English.
- 3) Discuss and present their ideas and opinions on global issues with more confidence in English.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	40	End-of-term presentation (40%)
レポート課題	40	Mid-term essay (40%)
上記以外	20	In-class participation (10%) Homework assignments (10%)

- 1) Non-attendance of three classes will be considered as a "fail" for the overall course.
- 2) Being 30 minutes late without justification will be considered as non-attendance of the given class.

授業外学習

- 1) Read the content of each unit before the class

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Living as Global Citizens: An Introduction to the Sustainable Development Goals	Kazuya Oseki Kevin M. McManus	南雲堂/NAN'UN-DO	9784523179313
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

Japanese-English/English-Japanese dictionary

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	Jean-Baptiste M.B. SANFO
講義コード	1110552	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習	
第1回	Chapter 8	Gender	1 時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第2回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1 時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第3回	Chapter 9	Refugees	1 時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第4回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1 時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第5回	Chapter 10	Insects	1 時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第6回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1 時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第7回	Chapter 11	Vegetarianism	1 時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第8回	Mid-term test	Essay	1 時	An announcement will be made in Not applicable	1 1
第9回	Chapter 12	Plastic Waste	1 時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第10回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1 時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第11回	Chapter 13	Shopping	1 時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第12回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1 時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第13回	Chapter 14	Partnership	1 時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第14回	Supplementary activities	Supplementary individual or group activities on previous chapter	1 時	An announcement will be made in Content students do not	1 1
第15回	Course wrap-up	A session to wrap up the whole course	1 時	An announcement will be made in Content students do not	1 1

担当者から

1) A mistake is not one if you learn from it, so make mistakes and learn from them.

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	Janeth Hori
講義コード	1110561	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

In this course, students will work on improving both their listening and speaking skills. These skills are ones that are essential for language acquisition. We will also explore the various culture specific to Japan and do cross-cultural comparisons with that of other countries and peoples. This will be done through bi-weekly themes and materials.

到達目標

- (1) 関心のある内容について、自然な速さで語られる英語の大意を聴解できる。また、そのために英語の発音やイントネーションなどの特徴などを理解して、自分でも使うことができる。
(2) 関心のある内容に関する英文を、文章構成を意識し、辞書を用いて読解できる。
(3) 自分の考えをまとめてパラグラフの形で表現するライティング力を身につける

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Participation 20% Vocabulary quizzes 15% Speed reading activities 15%

原則として、全体の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としません。

授業外学習

このクラスは、授業外での学習（課題提出）の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Hot Topics Japan 1	Stephanie Alexander	Compass Publishing	9781613525197
2				
3				

教科書と辞書は、必ず初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	Janeth Hori
講義コード	1110561	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習/復習	
第1回	Introduction to the course	Description of activities and grading of the lessons in this course; getting-to-know-you activities	90分	No preparation. 1st lesson	0
第2回	Unit 1	Theme: Personal Space	90	Purchase book for class 2, unit 1	1
第3回	Unit 1	Theme: Personal Space	90	Prepare for vocabulary quiz 1 All unit 1 materials	3 2
第4回	Unit 2	Theme: Japanese Restaurant Culture	90	Prepare discussion materials Unit 1 topics	3 2
第5回	Unit 2	Theme: Japanese Restaurant Culture	90	Prepare for vocabulary quiz 2 All unit 2 materials	3 2
第6回	Unit 3	Theme: Collectivism	90	Prepare discussion materials Unit 2 topics	3 2
第7回	Unit 3	Theme: Collectivism	90	Prepare for vocabulary quiz 3 All unit 3 materials	3 2
第8回	Unit 4	Theme: Natural vs. Artificial Ingredients in Snacks Short presentations	90	Prepare discussion materials Unit 3 topics	3 2
第9回	Unit 4	Theme: Natural vs. Artificial Ingredients in Snacks	90	Prepare for vocabulary quiz 4 All unit 4 materials	3 2
第10回	Unit 5	Theme: Medical Masks in Japan	90	Prepare discussion materials Unit 4 topics	3 2
第11回	Unit 5	Theme: Medical Masks in Japan	90	Prepare for vocabulary quiz 5 All unit 5 materials	3 2
第12回	Unit 6	Theme: Japanese Tea	90	Prepare discussion materials Unit 6 topics	3 2
第13回	Unit 6	Theme: Japanese Tea	90	Prepare for vocabulary quiz 6 All unit 6 materials	3 2
第14回	Unit 7	Theme: Youth Subcultures in Japan	90	Prepare discussion materials Unit 7 topics	3 2
第15回	Unit 7 - Final class	Theme: Youth Subcultures in Japan Short presentations	90	Prepare last vocabulary quiz All semester materials	3 3

担当者から

Please speak in English as much as you can!

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	Janeth Hori
講義コード	1110562	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

In the continuation to this course, students will work on improving both their listening and speaking skills. These skills are ones that are essential for language acquisition. We will also explore the various culture specific to Japan and do cross-cultural comparisons with that of other countries and peoples. This will be done through bi-weekly themes and materials.

到達目標

- (1) 関心のある内容について、自然な速さで語られる英語の大意を聴解できる。また、そのために英語の発音やイントネーションなどの特徴などを理解して、自分でも使うことができる。
(2) 関心のある内容に関する英文を、文章構成を意識し、辞書を用いて読解できる。
(3) 自分の考えをまとめてパラグラフの形で表現するライティング力を身につける

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Participation 20% Vocabulary quizzes 15% Speed reading activities 15%

原則として、全体の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としません。

授業外学習

このクラスは、授業外での学習（課題提出）の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Hot Topics Japan 1	Stephanie Alexander	Compass Publishing	9781613525197
2				
3				

教科書と辞書は、必ず初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	Janeth Hori
講義コード	1110562	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習	
第1回	Introduction to the course	Description of activities and grading of the lessons in this course; getting-back-into-the-swing-of-things activities	90分	No preparation. 1st lesson	0
第2回	Unit 8	Theme: Juku Culture	90	Look over unit 8	1
第3回	Unit 8	Theme: Juku Culture	90	Prepare for vocabulary quiz 1	3
第4回	Unit 9	Theme: Studying Abroad	90	All unit 8 materials	2
第5回	Unit 9	Theme: Studying Abroad	90	Prepare discussion materials	3
第6回	Unit 10	Theme: Cellphone Etiquette in Public Places	90	Unit 8 topics	2
第7回	Unit 10	Theme: Cellphone Etiquette in Public Places	90	Prepare for vocabulary quiz 2	3
第8回	Unit 11	Theme: Vending Machines	90	All unit 9 materials	2
第9回	Unit 11	Theme: Vending Machines	90	Prepare discussion materials	3
第10回	Unit 12	Theme: Robotics Research	90	Unit 10 topics	2
第11回	Unit 12	Theme: Robotics Research	90	Prepare for vocabulary quiz 3	3
第12回	Unit 13	Theme: Manga	90	All unit 10 materials	2
第13回	Unit 13	Theme: Manga	90	Prepare discussion materials	3
第14回	Unit 14	Theme: Karaoke	90	Unit 12 topics	2
第15回	Unit 14 - Final class	Theme: Karaoke Short presentations	90	Prepare for vocabulary quiz 4	3
				All unit 11 materials	2
				Prepare discussion materials	3
				Unit 12 topics	2
				Prepare for vocabulary quiz 5	3
				All unit 12 materials	2
				Prepare discussion materials	3
				Unit 13 topics	2
				Prepare last vocabulary quiz	3
				All semester materials	3

担当者から

Please speak in English as much as you can!

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	Christopher Garth
講義コード	1110571	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業概要

In this course, students will work on improving both their listening and speaking skills. These skills are ones that are essential for language acquisition. We will also explore the various culture specific to Japan and do cross-cultural comparisons with that of other countries and peoples. This will be done through bi-weekly themes and materials.

到達目標

- (1) 関心のある内容について、自然な速さで語られる英語の大意を聴解できる。また、そのために英語の発音やイントネーションなどの特徴などを理解して、自分でも使うことができる。
(2) 関心のある内容に関する英文を、文章構成を意識し、辞書を用いて読解できる。
(3) 自分の考えをまとめてパラグラフの形で表現するライティング力を身につける

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Participation 20% Vocabulary quizzes 15% Speed reading activities 15%

原則として、全体の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としません。

授業外学習

このクラスは、授業外での学習（課題提出）の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Hot Topics Japan 1	Stephanie Alexander	Compass Publishing	9781613525197
2				
3				

教科書と辞書は、必ず初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (充実コース) (人文)						担当教員	Christopher Garth
講義コード	1110571	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG201							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習/復習	
第1回	Introduction to the course	Description of activities and grading of the lessons in this course; getting-to-know-you activities	90分	No preparation. 1st lesson	0
第2回	Unit 1	Theme: Personal Space	90	Purchase book for class 2, unit 1	1
第3回	Unit 1	Theme: Personal Space	90	Prepare for vocabulary quiz 1	3
				All unit 1 materials	2
第4回	Unit 2	Theme: Japanese Restaurant Culture	90	Prepare discussion materials	3
				Unit 1 topics	2
第5回	Unit 2	Theme: Japanese Restaurant Culture	90	Prepare for vocabulary quiz 2	3
				All unit 2 materials	2
第6回	Unit 3	Theme: Collectivism	90	Prepare discussion materials	3
				Unit 2 topics	2
第7回	Unit 3	Theme: Collectivism	90	Prepare for vocabulary quiz 3	3
				All unit 3 materials	2
第8回	Unit 4	Theme: Natural vs. Artificial Ingredients in Snacks	90	Prepare discussion materials	3
		Short presentations		Unit 3 topics	2
第9回	Unit 4	Theme: Natural vs. Artificial Ingredients in Snacks	90	Prepare for vocabulary quiz 4	3
				All unit 4 materials	2
第10回	Unit 5	Theme: Medical Masks in Japan	90	Prepare discussion materials	3
				Unit 4 topics	2
第11回	Unit 5	Theme: Medical Masks in Japan	90	Prepare for vocabulary quiz 5	3
				All unit 5 materials	2
第12回	Unit 6	Theme: Japanese Tea	90	Prepare discussion materials	3
				Unit 6 topics	2
第13回	Unit 6	Theme: Japanese Tea	90	Prepare for vocabulary quiz 6	3
				All unit 6 materials	2
第14回	Unit 7	Theme: Youth Subcultures in Japan	90	Prepare discussion materials	3
				Unit 7 topics	2
第15回	Unit 7 - Final class	Theme: Youth Subcultures in Japan	90	Prepare last vocabulary quiz	3
		Short presentations		All semester materials	3

担当者から

Please speak in English as much as you can!

講義名	英語 B (充実コース) (人文)						担当教員	Christopher Garth
講義コード	1110572	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG202							

授業概要

In the continuation to this course, students will work on improving both their listening and speaking skills. These skills are ones that are essential for language acquisition. We will also explore the various culture specific to Japan and do cross-cultural comparisons with that of other countries and peoples. This will be done through bi-weekly themes and materials.

到達目標

- (1) 関心のある内容について、自然な速さで語られる英語の大意を聴解できる。また、そのために英語の発音やイントネーションなどの特徴などを理解して、自分でも使うことができる。
(2) 関心のある内容に関する英文を、文章構成を意識し、辞書を用いて読解できる。
(3) 自分の考えをまとめてパラグラフの形で表現するライティング力を身につける

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Participation 20% Vocabulary quizzes 15% Speed reading activities 15%

原則として、全体の3分の1以上欠席した場合、評価の対象としません。

授業外学習

このクラスは、授業外での学習（課題提出）の積み重ねが評価されます。毎週、課題に取り組む時間を確保してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Hot Topics Japan 1	Stephanie Alexander	Compass Publishing	9781613525197
2				
3				

教科書と辞書は、必ず初回授業から持ってくること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (充実コース) (人文)					担当教員	Christopher Garth
講義コード	1110572	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習
ナンバリング番号	201ENG202						

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習	
第1回	Introduction to the course	Description of activities and grading of the lessons in this course; getting-back-into-the-swing-of-things activities	90分	No preparation. 1st lesson	0
第2回	Unit 8	Theme: Juku Culture	90	Look over unit 8	1
第3回	Unit 8	Theme: Juku Culture	90	Prepare for vocabulary quiz 1	3
第4回	Unit 9	Theme: Studying Abroad	90	All unit 8 materials	2
第5回	Unit 9	Theme: Studying Abroad	90	Prepare discussion materials	3
第6回	Unit 10	Theme: Cellphone Etiquette in Public Places	90	Unit 8 topics	2
第7回	Unit 10	Theme: Cellphone Etiquette in Public Places	90	Prepare for vocabulary quiz 2	3
第8回	Unit 11	Theme: Vending Machines	90	All unit 9 materials	2
第9回	Unit 11	Theme: Vending Machines	90	Prepare discussion materials	3
第10回	Unit 12	Theme: Robotics Research	90	Unit 10 topics	2
第11回	Unit 12	Theme: Robotics Research	90	Prepare for vocabulary quiz 3	3
第12回	Unit13	Theme: Manga	90	All unit 10 materials	2
第13回	Unit 13	Theme: Manga	90	Prepare discussion materials	3
第14回	Unit 14	Theme: Karaoke	90	Unit 12 topics	2
第15回	Unit 14 - Final class	Theme: Karaoke Short presentations	90	Prepare for vocabulary quiz 4	3
				All unit 11 materials	2
				Prepare discussion materials	3
				Unit 12 topics	2
				Prepare for vocabulary quiz 5	3
				All unit 12 materials	2
				Prepare discussion materials	3
				Unit 13 topics	2
				Prepare last vocabulary quiz	3
				All semester materials	3

担当者から

Please speak in English as much as you can!

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	西堀 彰子
講義コード	1110741	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

問題解決や意思決定の基盤・技術となるcritical thinkingを活用し、ペアワーク、クラスディスカッション、プレゼンテーション等を通じて英語が使えるよう指導する。スピーキング、ライティングでは自分の考え、意見を明確に表現し、相手に伝わる英語力を養い、リーディング、リスニングでは的確な内容把握、情報収集はもちろんのこと、それに対して自分はどう考えるのか能動的な活動として、深く英語で思考を展開していく能力を養う。

到達目標

- (1) 決められたテーマについて自分の考えをまとめ、筋道を立て、適切な発音とイントネーションの英語で話すことができる。
- (2) 決められたテーマについて自分の考えを明確に、論理的に英語で書くことができる。
- (3) まとまった内容の英文を正確に理解し、内容について自分の意見を英語で表現することができる。
- (4) 語句、文の構造を理解し、それらを慣用表現、定型表現と共に表現活動に使うことができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	30%	到達目標(2)についてライティング課題で評価する (30%)
上記以外	70%	到達目標(1)についてプレゼンテーションで評価する (30%) 到達目標(3)についてディスカッションで評価する (15%) 到達目標(4)について小テストで評価する (25%)

授業を5回以上欠席した場合は、評価の対象としない。また、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱う。

授業外学習

毎日、英語で考える、話す、読む、聴く、書くのいずれかの活動を必ず行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Think Smart	Michael Hood	金星堂	9784764740433
2				
3				

英和・和英辞書を必ず持参する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A（展開コース）（人文）						担当教員	西堀 彰子
講義コード	1110741	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習
第1回	オリエンテーション Unit 1 Study Abroad	授業の進め方、評価方法等についての説明。 リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。	2	内容を読み未知の語句・表現は辞書 本文の音読・シャドーイングを繰り返す
第2回	Unit 1 Study Abroad	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。 小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文の音読・シャドーイングを繰り返す
第3回	Unit 2 Nuclear Power	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 本文の音読・シャドーイングを繰り返す
第4回	Unit 2 Nuclear Power	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。 小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文の音読・シャドーイングを繰り返す
第5回	Unit 3 Immigration	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 本文の音読・シャドーイングを繰り返す
第6回	Unit 3 Immigration	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。 小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文の音読・シャドーイングを繰り返す
第7回	Unit 4 The Social Safety Net	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 本文の音読・シャドーイングを繰り返す
第8回	Unit 4 The Social Safety Net	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。 小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文の音読・シャドーイングを繰り返す
第9回	Unit 5 Global Warming	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 本文の音読・シャドーイングを繰り返す
第10回	Unit 5 Global Warming	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。 小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文の音読・シャドーイングを繰り返す
第11回	Unit 6 Women in the Workplace	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 本文の音読・シャドーイングを繰り返す
第12回	Unit 6 Women in the Workplace	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。 小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文の音読・シャドーイングを繰り返す
第13回	Unit 7 School on Saturdays	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 本文の音読・シャドーイングを繰り返す
第14回	Unit 7 School on Saturdays / プレゼン	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。 プレゼンテーション。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書 会話文の音読・シャドーイングを繰り返す
第15回	プレゼンテーション / 総括	スピーキング、リスニング活動。小テスト	2	プレゼンテーションの最終準備、練習 他の学生のプレゼンテーションから

担当者から

Teamsを授業で使用します。必要に応じて授業内で使い方の説明をします。

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	西堀 彰子
講義コード	1110742	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

問題解決や意思決定の基盤・技術となるcritical thinkingを活用し、ペアワーク、クラスディスカッション、プレゼンテーション等を通じて英語が使えるよう指導する。スピーキング、ライティングでは自分の考え、意見を明確に表現し、相手に伝わる英語力を養い、リーディング、リスニングでは的確な内容把握、情報収集はもちろんのこと、それに対して自分はどう考えるのか能動的な活動として、深く英語で思考を展開していく能力を養う。

到達目標

- (1) 決められたテーマについて自分の考えをまとめ、筋道を立て、適切な発音とイントネーションの英語で話すことができる。
- (2) 決められたテーマについて自分の考えを明確に、論理的に英語で書くことができる。
- (3) まとまった内容の英文を正確に理解し、内容について自分の意見を英語で表現することができる。
- (4) 語句、文の構造を理解し、それらを慣用表現、定型表現と共に表現活動に使うことができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	30%	到達目標(2)についてライティング課題で評価する (30%)
上記以外	70%	到達目標(1)についてプレゼンテーションで評価する (30%) 到達目標(3)についてディスカッションで評価する (15%) 到達目標(4)について小テストで評価する (25%)

授業を5回以上欠席した場合は、評価の対象としない。また、遅刻3回で欠席1回、30分以上の遅刻は欠席として扱う。

授業外学習

毎日、英語で考える、話す、読む、聴く、書くのいずれかの活動を必ず行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Think Smart	Michael Hood	金星堂	9784764740433
2				
3				

英和・和英辞書を必ず持参する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)							担当教員	西堀 彰子	
講義コード	1110742	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習			
ナンバリング番号	201ENG204									

授業計画									
回数	テーマ	概要	予習 / 復習						
第1回	オリエンテーション Unit 8 Food Labeling	授業の進め方、評価方法等についての説明。 リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。	2	内容を読み未知の語句・表現は辞書	0.	本文の音読・シャドーイングを繰り返す	0.		
第2回	Unit 8 Food Labeling	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。 小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書	0.	会話文の音読・シャドーイングを繰り返す	0.		
第3回	Unit 9 Etiquette in the Digital Age	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書	0.	本文の音読・シャドーイングを繰り返す	0.		
第4回	Unit 9 Etiquette ... / Unit 10 Merit-based	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。 小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書	0.	会話文・本文の音読・シャドーイング	0.		
第5回	Unit 10 Merit-based Pay	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。 小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書	0.	会話文の音読・シャドーイングを繰り返す	0.		
第6回	Unit 11 American Military Bases in	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書	0.	本文の音読・シャドーイングを繰り返す	0.		
第7回	Unit 11 American Military Bases in	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。 小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書	0.	会話文の音読・シャドーイングを繰り返す	0.		
第8回	Unit 12 Taxes	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書	0.	本文の音読・シャドーイングを繰り返す	0.		
第9回	Unit 12 Taxes	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。 小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書	0.	会話文の音読・シャドーイングを繰り返す	0.		
第10回	Unit 13 Living Together Before	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書	0.	本文の音読・シャドーイングを繰り返す	0.		
第11回	Unit 13 Living Together Before	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。 小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書	0.	会話文の音読・シャドーイングを繰り返す	0.		
第12回	Unit 14 Animal Rights	リスニング、リーディング、コミュニケーション活動。小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書	0.	本文の音読・シャドーイングを繰り返す	0.		
第13回	Unit 14 Animal ... / Unit 15 Hosting the	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。 小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書	0.	会話文・本文の音読・シャドーイング	0.		
第14回	Unit 15 Hosting the Olympics / プレゼン	リスニング、リーディング、ライティング、コミュニケーション活動。 小テスト	2	内容を読み未知の単語・表現は辞書	0.	会話文の音読・シャドーイングを繰り返す	0.		
第15回	プレゼンテーション / 総括	スピーキング、リスニング活動。小テスト	2	プレゼンテーションの最終準備、練習	0.	他の学生のプレゼンテーションから	0.		

担当者から
Teamsを授業で使用します。必要に応じて授業内で使い方の説明をします。

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110751	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations, while practicing all four language skills. On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities with a specific focus on communication. The students will have had the opportunity to talk in pairs and in groups when doing the tasks, and to develop the skills to work on projects in English.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	60% Group Presentations 25% Final Writing Test
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Teacher Supplied Material			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110751	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業計画							
回数	テーマ	概要			予習 / 復習		
第1回	Course Introduction	Explanation of schedule, grading, rubric.			90		
第2回	Current News Topics	Focusing on current news items students will use all four language skills to complete pair and group tasks.			90		
第3回	Current News Topics	Focusing on current news items students will use all four language skills to complete pair and group tasks.			90		
第4回	Current News Topics	Focusing on current news items students will use all four language skills to complete pair and group tasks.			90		
第5回	Current News Topics	Focusing on current news items students will use all four language skills to complete pair and group tasks.			90		
第6回	Group Presentations	Students will complete group presentations related to one of the topics studied in the previous weeks.			90		
第7回	Current News Topics	Focusing on current news items students will use all four language skills to complete pair and group tasks.			90		
第8回	Current News Topics	Focusing on current news items students will use all four language skills to complete pair and group tasks.			90		
第9回	Current News Topics	Focusing on current news items students will use all four language skills to complete pair and group tasks.			90		
第10回	Current News Topics	Focusing on current news items students will use all four language skills to complete pair and group tasks.			90		
第11回	Group Presentations	Students will complete group presentations related to one of the topics studied in the previous weeks.			90		
第12回	Current News Topics	Focusing on current news items students will use all four language skills to complete pair and group tasks.			90		
第13回	Current News Topics	Focusing on current news items students will use all four language skills to complete pair and group tasks.			90		
第14回	Current News Topics	Focusing on current news items students will use all four language skills to complete pair and group tasks.			90		
第15回	Group Presentations	Students will complete group presentations related to one of the topics studied in the previous weeks.			90		
担当者から							

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	Ashley Stevens
講義コード	1110752	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

Outline: This class intends to nurture and encourage communication skills in speaking and listening through activities such as everyday conversation dialogues and individual, pair, and group speech presentations, while practicing all four language skills. On completion of the course, students will have made significant improvements in their English speaking and listening abilities. Students will have gained confidence in applying English language skills through lessons using a variety of stimulating, enjoyable, and educational communicative tasks and activities with a specific focus on communication. The students will have had the opportunity to talk in pairs and in groups when doing the tasks, and to develop the skills to work on projects in English.

到達目標

Speaking: Students will be able to speak English with (1) good pronunciation (especially th, l and si sounds), (2) fluency (without hesitation, reply to questions promptly) and (3) good delivery (clear voice and good volume, produce the required quantity of speech). Their English will also be (4) grammatically correct. Writing: Students will be able to write (1) grammatically correct (2) complex sentences and paragraphs that are (3) spelled and punctuated correctly.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	100	60% Group Presentations 25% Final Writing Test
レポート課題		
上記以外		

Refer to the Rubric for details on how grades are evaluated.
Students who miss more than 3 classes will lose 3 points for each class missed over 3 classes.

授業外学習

Preparation for Quizzes (6 hours). Topic-related writing (6 hours). Pronunciation practice (3 hours).

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Teacher Supplied Material			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	近藤 佑樹
講義コード	1110761	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

英語で書かれた短編作品を、続きが読みたくなるような興味深い形で紹介する教科書を用いて、英語をしっかりとインプット（聞く、読む）した上で、レポートや発話練習などのアウトプット（話す、書く）する能力を培えるような授業にしたいと考えております。適宜、短編の本文を読んでもらうこと、あるいは単語テストを受験してもらってもあります。

到達目標

- 1) 文脈を踏まえた上で、英文をインプットする能力の向上
2) 自分の意見を英語でアウトプットする能力の向上
- 3) 日常生活における英語に触れ、より鋭くキャッチする機会が増えるようになる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業参加+課題(40%)、単語テスト(30%)、期末レポート(30%)

授業を3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

各回の内容を参照。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Top 30 Essential Short Stories in English: 1843 to 2000.	Jim Knudsen, Hiromi Tsuda, Ria Taketomi	南雲堂	978-4-523-17875
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	近藤 佑樹
講義コード	1110762	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

英語で書かれた短編作品を、続きが読みたくなるような興味深い形で紹介する教科書を用いて、英語をしっかりとインプット（聞く、読む）した上で、レポートや発話練習などのアウトプット（話す、書く）する能力を培えるような授業にしたいと考えております。適宜、短編の本文を読んでもらうこと、あるいは単語テストを受験してもらってもあります。後期はLesson 20からLesson 30を扱います。

到達目標

- 1) 文脈を踏まえた上で、英文をインプットする能力の向上
- 2) 自分の意見を英語でアウトプットする能力の向上
- 3) 日常生活における英語に触れ、より鋭くキャッチする機会が増えるようになる

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業参加+課題(40%)、単語テスト(30%)、期末レポート(30%)

授業を3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

各回の内容を参照。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Top 30 Essential Short Stories in English: 1843 to 2000.	Jim Knudsen, Hiromi Tsuda, Ria Taketomi	南雲堂	978-4-523-17875
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	近藤 佑樹	
講義コード	1110762	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演		
ナンバリング番号	201ENG204								

授業計画									
回数	テーマ	概要			予習/復習				
第1回	Introduction/授業概要	授業の進め方等の説明	2	教科書に目を通しておく シラバスを再読しておく	0.				
第2回	Lesson 20	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	教科書に目を通しておく 学んだ表現・単語を復習しておく	0.				
第3回	Lesson 21	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0.				
第4回	Lesson 22	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0.				
第5回	Lesson 23	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0.				
第6回	Lesson 24	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0.				
第7回	単語テスト、Lesson 25	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0.				
第8回	Lesson 26	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0.				
第9回	Lesson 27	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0.				
第10回	Lesson 28	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0.				
第11回	Lesson 29	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく	0.				
第12回	単語テスト、Lesson 30	四技能のアクティビティ及び短編紹介	2	Readingの分からない表現・単語を 学んだ表現・単語を復習しておく、	0.				
第13回	レポート作成フィード バック	前期のレポートについての総評を行う	2	選んだ作品の原文を読んでおく レポート作成を進める	0.				
第14回	期末レポートQ&A	作成中のレポートを持参し、作業を進める。あれば適宜質問する。	2	レポート作成を進める レポート作成を進める	0.				
第15回	レポート提出	レポートを提出した後で、ピア・レビューを行う	2	レポートを完成させておく フィードバックを振り返って、次回	0.				
担当者から									

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	真島 アマンダ
講義コード	1110771	単位数	1	開講期	前期	授業方法	Inter	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

Building on the English skills the students practiced in their first year, this course aims to develop students' reading, writing, speaking, and listening skills in topics beyond their own life and interests. Students should expect to consider their own culture and views while practicing expressing their ideas and opinions as a cultural ambassador would.

The course covers a range of topics, supported by nonfiction readings in areas such as technology, ecology, fashion, and psychology.

This course aims to specifically target the improvement of students' fluency in speaking and writing, by engaging in weekly fluency speaking and speed writing activities, as well as improving students' abilities to engage in group discussions in English.

到達目標

- (1) Improve speaking fluency and communicative competence in English, especially in group discussions.
- (2) Improve reading and writing fluency on topics further from students' own lives.
- (3) Better express complex concepts and personal opinions in English.
- (4) Maintain motivation and stimulate students' interest in English language studies.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Vocabulary quizzes (25%); Content quizzes (25%)
レポート課題	20	Speed writings (10%); Written homework assignments (10%)
上記以外	30	Final project (10%); Speed reading log (5%); Participation (15%)

授業を5回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。3回の遅刻で1回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Core Nonfiction Reading 2	Stephanie Alexander & Liana Robinson	Compass Publishing	9781613527412
2				
3				

You will need a B5 notebook. It's also a good idea to bring a dictionary (paper or electronic).

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	真島 アマンダ
講義コード	1110772	単位数	1	開講期	後期	授業方法	Inter	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

This course is intended to continue to develop the skills practiced in the spring semester.

Building on the English skills the students practiced in their first year, this course aims to develop students' reading, writing, speaking, and listening skills in topics beyond their own life and interests. Students should expect to consider their own culture and views while practicing expressing their ideas and opinions as a cultural ambassador would.

The course covers a range of topics, supported by nonfiction readings in areas such as art, ecology, extreme sports, and culture.

This course aims to specifically target the improvement of students' fluency in speaking and writing, by engaging in weekly fluency speaking and speed writing activities, as well as improving students' abilities to engage in group discussions in English.

到達目標

- (1) Improve speaking fluency and communicative competence in English, especially in group discussions.
- (2) Improve reading and writing fluency on topics further from students' own lives.
- (3) Better express complex concepts and personal opinions in English.
- (4) Maintain motivation and stimulate students' interest in English language studies.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	50	Vocabulary quizzes (25%); Content quizzes (25%)
レポート課題	20	Speed writings (10%); Written homework assignments (10%)
上記以外	30	Final project (10%); Speed reading log (5%); Participation (15%)

授業を5回以上欠席すると評価の対象から外れます。また、30分以上の遅刻は欠席扱いとなります。3回の遅刻で1回の欠席とみなします。

授業外学習

Please review the week's content and vocabulary and do your homework. It is important to remember to build on what you studied before.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Core Nonfiction Reading 2	Stephanie Alexander & Liana Robinson	Compass Publishing	9781613527412
2				
3				

You will need a B5 notebook. It's also a good idea to bring a dictionary (paper or electronic).

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110781	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業概要

Mainly through textbook-based exercises, students will engage in activities such as writing and speaking to improve their ability to communicate in English. They will also review the listening and reading skills they have learned so far. Since the topics in the textbook are potentially controversial, each student will do a brief research on the topic of each unit and practice constructing his or her own opinion in English. A group of students will be asked to give a short presentation on the theme of the unit as well. For weekly homework assignments, students will read a variety of books in very easy English to develop a sense of understanding English as it is.

到達目標

- (1) Students will learn to speak in English using proper pronunciation, intonation, and emphasis.
- (2) Students will learn to write a script for a presentation in English based on their own research and thinking.
- (3) Students will be able to understand English as it is by reading a variety of easy English books appropriate to one's level.
- (4) By practicing reading, listening, speaking, and writing in English, students will be able to put the skills they learn into practice.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Goal (1): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (2): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (3): Evaluated by the activities of extensive reading. (15%)

As a general rule, students who are absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Work steadily on your weekly assignments.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Burning Issues: Intermediate Level	Cheryl Pavlik, Shizuka Tetsuhito	Shohakusha / Cengage Learning	978-4-88198-694-3
2				
3				

Be sure to bring your English dictionary and textbook with you from the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 A (展開コース) (人文)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110781	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG203							

授業計画

回数	テーマ	概要	予習 / 復習	
第1回	Orientation	Introduction to the class English activities based on the textbook	2	Extensive reading; Unit 1 pre- 1
第2回	Unit 1 Infidelity: Our cheating hearts	English activities based on the textbook	2	Extensive reading; Unit 1 post- 1
第3回	Unit 1 Infidelity: Our cheating hearts	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2	Extensive reading; Unit 4 pre- 1
第4回	Unit 4 Work: Is it interfering with your	Presentations on Unit 1 English activities based on the textbook	2	Extensive reading; Post-reading 1
第5回	Unit 4 Work: Is it interfering with your	English activities based on the textbook	2	Extensive reading; Post-reading 1
第6回	Unit 4 Work: Is it interfering with your	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2	Extensive reading; Unit 8 pre- 1
第7回	Unit 8 Violent in Sports	English activities based on the textbook	2	Extensive reading; Post-reading 1
第8回	Unit 8 Violent in Sports	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2	Extensive reading; Unit 9 pre- 1
第9回	Unit 9 Fashion: You mean you're wearing	Presentations on Unit 8 English activities based on the textbook	2	Extensive reading; Post-reading 1
第10回	Unit 9 Fashion: You mean you're wearing	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2	Extensive reading; Post-reading 1
第11回	Unit 9 Fashion: You mean you're wearing	English activities based on the textbook Presentations on Unit 9	2	Extensive reading; Unit 10 pre- 1
第12回	Unit 10 Graffiti: You call this ART?	English activities based on the textbook	2	Extensive reading; Post-reading 1
第13回	Unit 10 Graffiti: You call this ART?	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2	Extensive reading; Post-reading 1
第14回	Unit 10 Graffiti: You call this ART?	Presentations on Unit 10 Summary activities	2	Preparation for the summary 2
第15回	Summary of the semester		2	

担当者から

We mainly use Teams to communicate and give/submit assignments. If you have any questions about how to use it, please feel free to ask me. My office is A1-111 and email address is sakamoto.ki@office.usp.ac.jp

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	坂本 輝世
講義コード	1110782	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	201ENG204							

授業概要

Mainly through textbook-based exercises, students will engage in activities such as writing and speaking to improve their ability to communicate in English. They will also review the listening and reading skills they have learned so far. Since the topics in the textbook are potentially controversial, each student will do a brief research on the topic of each unit and practice constructing his or her own opinion in English. A group of students will be asked to give a short presentation on the theme of the unit as well. For weekly homework assignments, students will read a variety of books in very easy English to develop a sense of understanding English as it is.

到達目標

- (1) Students will learn to speak in English using proper pronunciation, intonation, and emphasis.
- (2) Students will learn to write a script for a presentation in English based on their own research and thinking.
- (3) Students will be able to understand English as it is by reading a variety of easy English books appropriate to one's level.
- (4) By practicing reading, listening, speaking, and writing in English, students will be able to put the skills they learn into practice.

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	Goal (1): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (2): Evaluated by individual English presentation. (15%) Goal (3): Evaluated by the activities of extensive reading. (15%)

As a general rule, students who are absent from more than one-third of the total classes will not be evaluated.

授業外学習

Work steadily on your weekly assignments.

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Burning Issues: Intermediate Level	Cheryl Pavlik, Shizuka Tetsuhito	Shohakusha / Cengage Learning	978-4-88198-694-3
2				
3				

Be sure to bring your English dictionary and textbook with you from the first class.

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	英語 B (展開コース) (人文)						担当教員	坂本 輝世		
講義コード	1110782	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演			
ナンバリング番号	201ENG204									

授業計画

回数	テーマ	概要	予習 / 復習				
第1回	Orientation	Introduction to the class English activities based on the textbook	2			Extensive reading; Unit 3 pre-	1
第2回	Unit 3 Internet dating: Is this	English activities based on the textbook	2			Extensive reading; Unit 3 post-	1
第3回	Unit 3 Internet dating: Is this	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2			Extensive reading; Unit 6 pre-	1
第4回	Unit 6 Advertising: We know what you	Presentations on Unit 3 English activities based on the textbook	2			Extensive reading; Post-reading	1
第5回	Unit 6 Advertising: We know what you	English activities based on the textbook	2			Extensive reading; Post-reading	1
第6回	Unit 6 Advertising: We know what you	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2			Extensive reading; Unit 11 pre-	1
第7回	Unit 11 Beauty: Mirror, mirror, on	English activities based on the textbook	2			Extensive reading; Post-reading	1
第8回	Unit 11 Beauty: Mirror, mirror, on	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2			Extensive reading; Unit 12 pre-	1
第9回	Unit 12 Anger: I'm not angry!	Presentations on Unit 11 English activities based on the textbook	2			Extensive reading; Post-reading	1
第10回	Unit 12 Anger: I'm not angry!	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2			Extensive reading; Post-reading	1
第11回	Unit 12 Anger: I'm not angry!	English activities based on the textbook Presentations on Unit 12	2			Extensive reading; Unit 13 pre-	1
第12回	Unit 13 Child Labor: Who made your	English activities based on the textbook	2			Extensive reading; Post-reading	1
第13回	Unit 13 Child Labor: Who made your	English activities based on the textbook Vocabulary quiz	2			Extensive reading; Post-reading	1
第14回	Unit 13 Child Labor: Who made your	Presentations on Unit 13 Summary activities	2			Preparation for the summary	2
第15回	Summary of the semester		2				

担当者から

We mainly use Teams to communicate and give/submit assignments. If you have any questions about how to use it, please feel free to ask me. My office is A1-111 and email address is sakamoto.ki@office.usp.ac.jp

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文a)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130090	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	1011NF102							

授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

到達目標

- (1) 本学演習室が利用できるように環境を整えること。
- (2) 情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
- (3) 情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
- (4) ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
- (5) 表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)。

授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文a)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130090	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	1011NF102							

授業計画							
回数	テーマ	概要		予習 / 復習			
第1回	講義概要	演習室利用上の注意、環境設定		2	1) タッチタイピングの練習		2
					1) 指示された課題を完成し、MS-		2
第2回	図書検索	文献検索の方法		2	1) タッチタイピングの練習		2
					1) 指示された課題を完成し、MS-		2
第3回	Windowsの基本	基本操作、タッチタイピング、日本語入力		2	1) タッチタイピングの練習		2
					1) 指示された課題を完成し、MS-		2
第4回	電子メール	電子メールのしくみ、マナー		2	1) タッチタイピングの練習		2
					1) 指示された課題を完成し、MS-		2
第5回	情報倫理（1）	インターネットの利用と安全性		2	1) タッチタイピングの練習		2
					1) 指示された課題を完成し、MS-		2
第6回	情報倫理（2）	著作権、研究倫理		2	1) タッチタイピングの練習		2
					1) 指示された課題を完成し、MS-		2
第7回	WORDによる文書作成（1）	基本操作		2	1) 前回の授業で指示された事前学		2
					1) 指示された課題を完成し、MS-		2
第8回	WORDによる文書作成（2）	書式		2	1) 前回の授業で指示された事前学		2
					1) 指示された課題を完成し、MS-		2
第9回	WORDによる文書作成（3）	表		2	1) 前回の授業で指示された事前学		2
					1) 指示された課題を完成し、MS-		2
第10回	WORDによる文書作成（4）	図		2	1) 前回の授業で指示された事前学		2
					1) 指示された課題を完成し、MS-		2
第11回	Excelによる表計算（1）	基本操作		2	1) 前回の授業で指示された事前学		2
					1) 指示された課題を完成し、MS-		2
第12回	Excelによる表計算（2）	書式		2	1) 前回の授業で指示された事前学		2
					1) 指示された課題を完成し、MS-		2
第13回	Excelによる表計算（3）	関数		2	1) 前回の授業で指示された事前学		2
					1) 指示された課題を完成し、MS-		2
第14回	Excelによる表計算（4）	グラフ		2	1) 前回の授業で指示された事前学		2
					1) 指示された課題を完成し、MS-		2
第15回	総合演習	WordとExcelの連携による文書作成		2	1) 前回の授業で指示された事前学		2
					1) 指示された課題を完成し、MS-		2
担当者から							

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文b)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130100	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101INF102							

授業概要

情報技術の習得は、我々の生活においても必要不可欠なファクターである。まして、大学で学問をしていく上で、情報処理のリテラシーを習得しておくことは今や必須である。そこで、本講では高年次で開講される講義や演習及び実習に必要な情報技術、すなわち、Webブラウザの操作と活用、電子メール、文書処理などをMS Windows環境で習得するとともに情報倫理についても学ぶ。さらに、レポートや学术论文の作成の基本を習得し、プレゼンテーションソフトなどにより、学术论文発表の手法を習得する。

到達目標

(1) 情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることともに、情報倫理についても取得すること。
(2) 学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		定期試験はせず、出席と課題等によって評価します。
レポート課題	50%	学术论文作成のため情報を検索で得た情報を加工し、統計処理し、プレゼンテーションソフト等によって発表でき、さらに、検索で得られた情報によりレポート作成や学术论文を作成する基本を習得すること。
上記以外	50%	情報ネットワークの活用によって学術情報の検索ができ、文献検索により学術図書や学術情報の検索ができることとともに、情報倫理についても取得すること。

出席状況と提出課題によって評価します。

授業外学習

図書館の書籍によって、事前に予習復習してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	情報学	勝木・亀田	多賀出版	
2	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
3				

教科書は毎回、持参してください。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリントを配布します。

前提学力等

初歩的な統計処理、Webによる情報検索、パソコンによる文書処理が前提

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文c)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130110	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	1011NF102							

授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本演習では今後学習や研究を行っていく上で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。使用するOSはWindowsとし、学習用のアプリケーションとしてはWord、Excelなどを用いる。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。

到達目標

- (1) 本学演習室が利用できるように環境を整えること。
- (2) 情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
- (3) 情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
- (4) ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
- (5) 表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席および演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)。

授業外学習

各回の演習課題が授業時間内に提出できなかった場合は、必ず、次回までに提出すること。また、進度に応じて宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回講義時に指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文c)						担当教員	山本 洋紀	
講義コード	1130110	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	101INF102								

授業計画										
回数	テーマ	概要				予習 / 復習				
第1回	講義概要	演習室利用上の注意、環境設定				2	1) タッチタイピングの練習	2		
							1) 指示された課題を完成し、MS-	2		
第2回	図書検索	文献検索の方法				2	1) タッチタイピングの練習	2		
							1) 指示された課題を完成し、MS-	2		
第3回	Windowsの基本	基本操作、タッチタイピング、日本語入力				2	1) タッチタイピングの練習	2		
							1) 指示された課題を完成し、MS-	2		
第4回	電子メール	電子メールのしくみ、マナー				2	1) タッチタイピングの練習	2		
							1) 指示された課題を完成し、MS-	2		
第5回	情報倫理(1)	インターネットの利用と安全性				2	1) タッチタイピングの練習	2		
							1) 指示された課題を完成し、MS-	2		
第6回	情報倫理(2)	著作権、研究倫理				2	1) タッチタイピングの練習	2		
							1) 指示された課題を完成し、MS-	2		
第7回	WORDによる文書作成(1)	基本操作				2	1) 前回の授業で指示された事前学	2		
							1) 指示された課題を完成し、MS-	2		
第8回	WORDによる文書作成(2)	書式				2	1) 前回の授業で指示された事前学	2		
							1) 指示された課題を完成し、MS-	2		
第9回	WORDによる文書作成(3)	表				2	1) 前回の授業で指示された事前学	2		
							1) 指示された課題を完成し、MS-	2		
第10回	WORDによる文書作成(4)	図				2	1) 前回の授業で指示された事前学	2		
							1) 指示された課題を完成し、MS-	2		
第11回	Excelによる表計算(1)	基本操作				2	1) 前回の授業で指示された事前学	2		
							1) 指示された課題を完成し、MS-	2		
第12回	Excelによる表計算(2)	書式				2	1) 前回の授業で指示された事前学	2		
							1) 指示された課題を完成し、MS-	2		
第13回	Excelによる表計算(3)	関数				2	1) 前回の授業で指示された事前学	2		
							1) 指示された課題を完成し、MS-	2		
第14回	Excelによる表計算(4)	グラフ				2	1) 前回の授業で指示された事前学	2		
							1) 指示された課題を完成し、MS-	2		
第15回	総合演習	WordとExcelの連携による文書作成				2	1) 前回の授業で指示された事前学	2		
							1) 指示された課題を完成し、MS-	2		
担当者から										

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文d)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130120	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101INF102							

授業概要

情報機器はありふれた存在になり、これらを活用し、効率的に仕事をこなしていくことが今後とも求められている。本講では今後高年次において開講される講義や演習で必要とされるレポート作成や論文作成に役立つ情報処理技術、すなわちワープロおよび表計算を中心とした情報処理技術の習得を目指す。また技術的な面だけでなく、情報化社会において必要な倫理観を養うことも目指す。
キーワード：電子メール、情報倫理、知的財産権、著作権、図書検索、Word、Excel

到達目標

- (1) 本学演習室が利用できるように環境を整えること。
- (2) 情報化社会における倫理について自分の考えが持てるようになること。
- (3) 情報を発信する際必要となるルールやマナーを身につけること。
- (4) ワープロの機能を活用し文書作成ができるようになること。
- (5) 表計算ソフトの仕組みを理解し、簡単なデータ集計ができるようになること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	各到達目標に関連する課題を課す。(1)は10%、(2)、(3)はそれぞれ20%、(4)、(5)はそれぞれ25%で評価する。

授業外学習

進度に応じ宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	30時間アカデミック 情報リテラシー Office2019	杉本くみ子、大澤栄子	実教出版	978-4-407-34833-0
2				
3				

初回講義には入学時に配布された「アカウント情報通知書」を必ず持参すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	インターネット社会を生きるための情報倫理	情報教育学研究会・情報倫理教育研究グループ	実教出版	978-4-407-33031-1
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	情報リテラシー（情報倫理を含む）(人文d)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130120	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	1011NF102							

授業計画							
回数	テーマ	概要			予習／復習		
第1回	講義概要説明	講義の進め方および演習室を利用する上での注意事項を説明する。また大学から貸与させるアカウントに関連する設定を行う。			2	入学時に配布されたアカウント情報シラバス、情報処理演習室利用の手4	
第2回	図書検索	本学図書館の司書より、図書館を効率よく利用するための検索方法を学ぶ。			2	本学図書館のホームページを確認す 本学図書館のマイページの登録作業4	
第3回	Windowsの基本操作	Windowsの基本操作を確認する。またタイピング速度を向上させるためのタッチタイピングの練習方法について学び、テキストエディタを			2	情報処理演習室利用の手引きp.4 - 情報処理演習室利用の手引きp.4 - 4	
第4回	電子メールの仕組みとマナー	電子メールの書式および配送方法の概要を説明し、本文を記述する上で考慮しなければならないマナーについて学ぶ。			2	情報処理演習室利用の手引p. 25 - 情報処理演習室利用の手引p. 25 - 4	
第5回	情報倫理	サイバー犯罪に関する意識を深め、遭遇した際にどのような振る舞いを取るべきかについて考える。			2	情報倫理ハンドブックの事前確認 情報倫理ハンドブックの熟読 4	
第6回	知的財産権	主に著作権法について学び、レポートを書く時の引用方法を正しく理解する。			2	情報倫理ハンドブックの事前確認 情報倫理ハンドブックの熟読 4	
第7回	Wordによる文書作成(1)	Wordの基本操作を復習し、各種段落設定のパラメータについて理解を深める。			2	教科書p. 18 - 33 教科書p. 35 実習02 4	
第8回	Wordによる文書作成(2)	Wordによる作表方法に慣れる。			2	教科書p. 36 - 45 教科書p. 47 - 49 実習04、05、06 4	
第9回	Wordによる文書作成(3)	特殊な書式設定および図の挿入方法について確認する。			2	教科書p. 50 - 57 教科書p. 59 実習08 4	
第10回	Wordによる文書作成(4)	数式入力を利用し論文を書くために必要なテクニックを学ぶ。			2	教科書p. 60 - 68 教科書p. 69 - 70 実習09、10 4	
第11回	Excelによる表計算(1)	Excelの基本操作、扱えるデータ型および簡単な数式入力について確認する。			2	教科書p. 88 - 99 教科書p. 100 実習13 4	
第12回	Excelによる表計算(2)	様々なセルの書式設定を確認し、直感的に見やすい表となるような書式設定の練習を行う。			2	教科書p. 102 - 118 教科書p. 120 - 121 実習16、17 4	
第13回	Excelによる表計算(3)	様々な関数およびそれらを組み合わせた数式の記述方法を学ぶ。			2	教科書p. 122 - 143 教科書p. 146 - 147 実習20、21 4	
第14回	Excelによる表計算(4)	与えられたデータからグラフを作成し、Wordに取り込む練習を行う。			2	教科書p. 148 - 155 教科書p. 156, 157, 159 実習22、 4	
第15回	総合問題演習	Excelの知識を応用した問題演習を行う。			2	教科書p. 168 - 173 教科書p. 174 - 175 実習28、29 4	

担当者から
本講義で学んだことを生かし、他の講義・演習・実験のレポートではWordやExcelを適宜活用してください。

講義名	情報科学概論(人文b)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130200	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	1011NF101							

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
- (2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得し、レポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

履修資格

講義名	情報科学概論(人文b)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130200	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101INF101							

授業計画							
回数	テーマ	概要			予習/復習		
第1回	情報社会と倫理	情報化社会の問題点と情報倫理			2	テキストの該当するページを読んで2 授業後、テキストで確認しておく。2	
第2回	フォルダー作成	データ処理とファイル処理			2	テキストの該当するページを読んで2 授業後、テキストで確認しておく。2	
第3回	データ処理の基本	研究の基本とデータ処理の基本			2	テキストの該当するページを読んで2 授業後、テキストで確認しておく。2	
第4回	レポート作成の基本	プレゼンテーションソフトの基本と作成			2	テキストの該当するページを読んで2 授業後、テキストで確認しておく。2	
第5回	レポート作成の応用	プレゼンテーションソフトの活用			2	テキストの該当するページを読んで2 授業後、テキストで確認しておく。2	
第6回	Webの基本	Webデザインの基本と理論			2	テキストの該当するページを読んで2 授業後、テキストで確認しておく。2	
第7回	Webの応用	Webデザインの応用と活用			2	テキストの該当するページを読んで2 授業後、テキストで確認しておく。2	
第8回	Webと画像	Webデザインの画像の応用と活用			2	テキストの該当するページを読んで2 授業後、テキストで確認しておく。2	
第9回	統計処理の基本	学術論文の概念と統計処理の基本			2	テキストの該当するページを読んで2 授業後、テキストで確認しておく。2	
第10回	統計データ処理	学術論文の書式と統計データ処理の基本			2	テキストの該当するページを読んで2 授業後、テキストで確認しておく。2	
第11回	グラフの処理	学術論文の書式と統計処理とグラフの処理			2	テキストの該当するページを読んで2 授業後、テキストで確認しておく。2	
第12回	回帰分析	学術論文の書式と回帰分析			2	テキストの該当するページを読んで2 授業後、テキストで確認しておく。2	
第13回	データの検定	学術論文の作成とデータの検定			2	テキストの該当するページを読んで2 授業後、テキストで確認しておく。2	
第14回	小論文の作成	課題レポートおよび小論文の作成			2	テキストの該当するページを読んで2 授業後、テキストで確認しておく。2	
第15回	論文作成のまとめ	課題レポートと論文作成のまとめ			2	テキストの該当するページを読んで2 授業後、テキストで確認しておく。2	
担当者から							

講義名	情報科学概論(人文a)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130210	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	1011NF101							

授業概要

コンピュータによる文章作成やインターネット操作などの基礎的な情報技術の習得の下に、さらに高年次での演習及び学術論文作成で必要となるデータ処理の基本的な手法について学ぶ。特に、インターネットなどから得られる各種統計データを表計算ソフトを利用して加工し、関数による計算処理や基礎的な統計手法などを用いて解析する技法について学ぶ。さらに、これらデータを活用した学術論文作成のための基本的な手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) 表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
(2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席及び演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)

授業外学習

毎回行う演習課題が授業時間内に終了しない場合、必ず、次回までに提出すること。また、適宜、宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Excelで学ぶ統計・データ解析入門	中村永友・山田智哉・金明哲	丸善出版	978-4-621-08297-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

Excelを用いた初歩的な表計算とグラフ作成能力。

履修資格

講義名	情報科学概論(人文c)						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130220	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	1011NF101							

授業概要

コンピュータによる文章作成やインターネット操作などの基礎的な情報技術の習得の下に、さらに高年次での演習及び学術論文作成で必要となるデータ処理の基本的な手法について学ぶ。特に、インターネットなどから得られる各種統計データを表計算ソフトを利用して加工し、関数による計算処理や基礎的な統計手法などを用いて解析する技法について学ぶ。さらに、これらデータを活用した学術論文作成のための基本的な手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) 表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
- (2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の出席及び演習課題の提出(80%)と最終課題の達成度(20%)

授業外学習

毎回行う演習課題が授業時間内に終了しない場合、必ず、次回までに提出すること。また、適宜、宿題を課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	Excelで学ぶ統計・データ解析入門	中村永友・山田智哉・金明哲	丸善出版	978-4-621-08297-3
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

Excelを用いた初歩的な表計算とグラフ作成能力。

履修資格

講義名	情報科学概論（人文c）						担当教員	山本 洋紀
講義コード	1130220	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	1011NF101							

授業計画								
回数	テーマ	概要		予習 / 復習				
第1回	エクセルの基本操作1	計算、数式	2	1)教科書の第0章に目を通してお 1)指示された課題を完成し、MS-	2			
第2回	エクセルの基本操作2	グラフ	2	1)前回の授業で指示された事前学 1)指示された課題を完成し、MS-	2			
第3回	データの抽出・集計1	データの並べ替え 集計	2	1)前回の授業で指示された事前学 1)指示された課題を完成し、MS-	2			
第4回	データの抽出・集計2	自動集計 クロス表	2	1)前回の授業で指示された事前学 1)指示された課題を完成し、MS-	2			
第5回	データの特徴をつかむ1	合計 比率	2	1)前回の授業で指示された事前学 1)指示された課題を完成し、MS-	2			
第6回	データの特徴をつかむ2	平均 モード	2	1)前回の授業で指示された事前学 1)指示された課題を完成し、MS-	2			
第7回	データの特徴をつかむ3	分散 標準偏差	2	1)前回の授業で指示された事前学 1)指示された課題を完成し、MS-	2			
第8回	量的データの関連性を見る1	散布図 相関係数	2	1)前回の授業で指示された事前学 1)指示された課題を完成し、MS-	2			
第9回	量的データの関連性を見る2	相関係数の定義 類似度	2	1)前回の授業で指示された事前学 1)指示された課題を完成し、MS-	2			
第10回	量的データの関連性を見る3	相関解析演習	2	1)前回の授業で指示された事前学 1)指示された課題を完成し、MS-	2			
第11回	質的データの関連性を見る1	クロス表とその視覚化 期待度数	2	1)前回の授業で指示された事前学 1)指示された課題を完成し、MS-	2			
第12回	質的データの関連性を見る2	カイ2乗値 統計検定	2	1)前回の授業で指示された事前学 1)指示された課題を完成し、MS-	2			
第13回	回帰分析と予測1	単回帰分析 残差と決定係数	2	1)前回の授業で指示された事前学 1)指示された課題を完成し、MS-	2			
第14回	回帰分析と予測2	時系列データの分析 回帰係数の計算	2	1)前回の授業で指示された事前学 1)指示された課題を完成し、MS-	2			
第15回	最終課題	実データを用いたクロス表分析、相関解析、回帰分析の演習	2	1)前回の授業で指示された事前学 1)指示された課題を完成し、MS-	2			
担当者から								

講義名	情報科学概論(人文d)						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130230	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	1011NF101							

授業概要

インターネットや電子メールなどの情報技術の基本的な技術の習得の下に、さらに高年次での講義や演習及び実習で必要となるデータ処理の手法について学ぶ。特にレポート作成や研究活動に必要なデータ処理について、表計算ソフトを利用して関数による計算処理や統計的な技法等について学ぶ。さらに、学術論文作成のためのデータ処理と論文発表の手法などについても学ぶ。

到達目標

- (1) Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得する。
- (2) データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50%	Webデザインと表計算ソフトの利用とデータ処理の基本を習得し、さらにデータの統計処理を習得し、レポート課題を提出する。
上記以外	50%	データや統計処理によって情報を加工し、学術論文作成に活用できること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	現代の情報処理	亀田彰喜	朝倉書店	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

初歩的な表計算処理、レポートと学術論文の基本概念と書式、コンピュータによる統計処理が前提

履修資格

講義名	情報科学概論（人文d）						担当教員	亀田 彰喜
講義コード	1130230	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101INF101							

授業計画							
回数	テーマ	概要			予習/復習		
第1回	情報社会と倫理	情報化社会の問題点と情報倫理			2	テキストの該当するページを読んで 授業後、テキストで確認しておく。2	
第2回	フォルダー作成	データ処理とファイル処理			2	テキストの該当するページを読んで 授業後、テキストで確認しておく。2	
第3回	データ処理の基本	研究の基本とデータ処理の基本			2	テキストの該当するページを読んで 授業後、テキストで確認しておく。2	
第4回	レポート作成の基本	プレゼンテーションソフトの基本と作成			2	テキストの該当するページを読んで 授業後、テキストで確認しておく。2	
第5回	レポート作成の応用	プレゼンテーションソフトの活用			2	テキストの該当するページを読んで 授業後、テキストで確認しておく。2	
第6回	Webの基本	Webデザインの基本と理論			2	テキストの該当するページを読んで 授業後、テキストで確認しておく。2	
第7回	Webの応用	Webデザインの応用と活用			2	テキストの該当するページを読んで 授業後、テキストで確認しておく。2	
第8回	Webと画像	Webデザインの画像の応用と活用			2	テキストの該当するページを読んで 授業後、テキストで確認しておく。2	
第9回	統計処理の基本	学术论文の概念と統計処理の基本			2	テキストの該当するページを読んで 授業後、テキストで確認しておく。2	
第10回	統計データ処理	学术论文の書式と統計データ処理の基本			2	テキストの該当するページを読んで 授業後、テキストで確認しておく。2	
第11回	グラフの処理	学术论文の書式と統計処理とグラフの処理			2	テキストの該当するページを読んで 授業後、テキストで確認しておく。2	
第12回	回帰分析	学术论文の書式と回帰分析			2	テキストの該当するページを読んで 授業後、テキストで確認しておく。2	
第13回	データの検定	学术论文の作成とデータの検定			2	テキストの該当するページを読んで 授業後、テキストで確認しておく。2	
第14回	小論文の作成	課題レポートおよび小論文の作成			2	テキストの該当するページを読んで 授業後、テキストで確認しておく。2	
第15回	論文作成のまとめ	課題レポートと論文作成のまとめ			2	テキストの該当するページを読んで 授業後、テキストで確認しておく。2	
担当者から							

講義名	人間探求学(生活デザイン)						担当教員	学科教員/印南 比呂志/宮本 雅子/ 森下 あおい/佐々木 一泰/藤木 庸介/ 横田 尚美/山田 歩/徐 慧
講義コード	1150360	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101HUM101							

授業概要

この講義は、学生自らが「人間」を探求し、新しい視点を発想・発見することを支援する。これは、対話型の少人数教育の機会を増やし、個々の学生の質や能力、理解度に応じた学習を支援するものである。学科の1年生を少人数グループ(3~4名)に分け、担当教員を割り当てる。学期を前半と後半に分け、各グループは前半と後半とでそれぞれ別の教員から指導を受ける。

到達目標

- (1)自らの考えを他者にわかりやすく説明する能力や、他者の考えをじっくり理解する能力を養う。
- (2)多様なコミュニケーション手段や自己表現活動によって発信し、応答し、共感し、批判しあえる能力を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の課題および授業への参加度

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書：担当教員が指示する。

前提学力等

履修資格

講義名	比較住居論～住まいがたえる世界のくらし～						担当教員	藤木 庸介
講義コード	1150460	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	101HUM1761, 33RED121, 135LAH206							

授業概要

世界には、生態や文化、社会の違いにより、地域に固有な（ヴァナキュラーな）さまざまな住まいが存在する。ヴァナキュラーな住まいの空間について、主に中国、東南アジアから西アジア、インド、アフリカ、ヨーロッパの事例を紹介しながら、その形式や技術、住まいに対する思想について解説するとともに、風土、歴史、文化、社会制度、生活様式など多様な観点から、その構成原理を考える。

到達目標

- (1) 世界の多様な住居のあり方を理解し、事例を挙げて説明ができる。
- (2) 人々の生活と住居構成に関する相関性を理解し、説明ができる。
- (3) 様々な居住文化のあり方に対して、自らの生活を相対化して位置づけられる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に挙げた(1)(2)(3)の内容を包含した小テストを2回行い評価する。成績への寄与率は小テストの合計を100%とし、60%以上を合格とする。

やむを得ない事由により小テストを欠席する場合には、必ず事前に申し出ること。
また、当日の急病等によって事前の申し出ができて欠席した場合には、病状に関する診断書を提出すること。
上記以外により小テストを欠席した者は、単位取得を認めない。

授業外学習

教科書、並びに授業で配布されるプリントを復読することが望ましい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	住まいがたえる世界のくらし	藤木庸介	世界思想社	ISBN978-4-7907-1689-1
2				
3				

教科書は第4回目の授業から使用する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書に記載の無い講義内容については、プリントを配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	建築法規							担当教員	戸川 勝紀
講義コード	1201270	単位数	2	開講期	後期集中	授業方法	講義		
ナンバリング番号	313ARC225, 333RED224								

授業概要

法治国家の目的は、正義及び公平の原則に従って、社会を規律し、かつ法的安定性をもたらすことであり、社会秩序を維持し、国民間の利害を調整して国民に経済的・文化的に人間に値する生活を営ませることである。そして、建築基準法の目的は、建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康及び財産の保護を図り、もって公共の福祉の増進に資することである。これらを踏まえて、都市デザイン、建築デザイン及び生活デザインを行うために、建築関係法令の役割及び規制の概説だけでなく、誘導及び取組み方も解説する。また、具体的な事例をもとに制限や可能性を解説し、都市、建築及び生活に取り巻く今日的課題と法整備の状況を解説する。

到達目標

(1) 法律制度を説明できる。(2) 建築法規の目的を説明できる。(3) 都市デザインを考える上で法規制の基礎を理解できる。(4) 建築デザインを考える上で法規制の基礎を理解できる。(5) 生活デザインを考える上で法規制の基礎を理解できる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	毎回講義開始及び講義終了時に試験を行う。試験は、教科書1（令和4年版建築基準法〔法令編〕）、教科書2（建築法規用教材2022）及び講義ノート（自身で記載したもの）を閲覧可能とするので、教科書への書き込み、講義ノートに記帳をすると非常に試験に有利である。故に初日から必ず教科書1及び教科書2を用意しておくこと。

講義中に質問を行うので正解した学生又は授業内容の習得に関する質問を行った学生について、一講義一回につき3点を成績に加点する。発言に対する減点はないので、恥ずかしく思うことなく果敢に発言を行い、講義内容を習得されたい。

授業外学習

（講義注意事項）
授業中の私語、妨害等を行った場合は 厳重に注意する。また、カンニングなどの不正行為も 厳罰に処する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	建築法規用教材2022	一般社団法人日本建築学会	丸善出版株式会社	
2	令和4年度版建築基準法令集【法令編】	国土交通省・一般社団法人日本建築学会	技法堂出版株式会社	
3				

教科書1及び教科書2は講義に必要となるので、必ず初日から持参すること。毎回試験中の閲覧が可能であることから、持参しない場合は単位取

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新しい建築法規の手引き 2022年版	矢吹茂郎・田中元雄・加藤健三	井上書院	
2	建築学の基礎 建築法規（第2版増補）	矢吹茂郎・加藤健三	共立出版	9784320077171
3	そこが分かれ目！公務員のための住民も納得の窓口対応	窓口法務研究会、山口 道昭	第一法規出版	978-4-474-05701-2

<http://www.utp.or.jp/book/b306188.html>

前提学力等

二年生が履修の年次となっているが、学習するには早い方が望ましい。令和2年3月1日改正建築士法が施行され、一級建築士の受検要件が大学卒業後2年の実務経験から大学卒業後に変更になった。それ故、学生時代に如何に勉強するかによって、一級建築士の合否に大きく影響する。一級建築

履修資格

講義名	大気環境学						担当教員	工藤 慎治
講義コード	1202510	単位数	2	開講期	後期	授業方法	授	
ナンバリング番号	211STR214							

授業概要

近代化、大量生産、大量消費によって生活が豊かになった一方で、私たちの生活環境では自然破壊や環境汚染といった問題が浮き彫りになってきた。特に、大気を媒体とした問題は人間の活動と深く関わっており、地球規模でのダイナミックな問題から都市地域で発生する問題にまで及んでいる。本講義では、大気環境問題の種類と性質について概観し、気候変動と大気汚染に関する基礎的な知識について説明する。これにより、大気環境中で発生するさまざまな問題について理解することを目的とする。

到達目標

- (1) 大気環境において問題となっている事柄を知り、その現象や原因を説明できるようになる。
- (2) 大気環境の保全に対する認識を持ち、人と環境との関わりについて自分なりの見解を述べることができる。
- (3) 自然現象による影響と人為的な影響を区別することができ、循環型社会の形成へ向けた考え方を身につけることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	70%	到達目標を達成できたかどうか、定期試験により評価する。
レポート課題		
上記以外	30%	各到達目標の達成を目的とした課題を実施し、評価する。

成績は毎回行う講義内課題（30%）および定期試験（70%）の結果をもとに、総合的に評価する。ただし、やむを得ず対面で試験が実施できない場合は、定期試験の代わりにレポート課題（70%）に変更する可能性がある。

授業外学習

初回到授業計画および参考図書を提示するので、適宜予習を行う。また、配布資料の他にノートを作成し、学習内容の定着を図ることが望ましい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は特に使用しない。授業時に資料を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	環境学入門 大気環境学	岩坂泰信	岩波書店	
2	エアロゾル用語集	日本エアロゾル学会 編	京都大学学術出版会	
3				

「地球環境学3 大気環境の変化」 安城ら、岩波書店

前提学力等

履修資格

講義名	固体物性基礎						担当教員	奥 健夫
講義コード	1300660	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	221MAT202							

授業概要

授業概要： 現代科学技術を支える様々な材料では、これらの物質中の原子配列・電子等の振る舞いが、材料の性質を支配している。材料科学の基礎事項である固体物性の基礎の理解が本講義のねらいである。本講義では、結晶の構造から格子振動、電子構造、金属、誘電体、磁性体、半導体、超伝導体などをとりあげ、さらに電磁場との相互作用、格子欠陥、拡散についてもふれる。

キーワード： 格子振動、誘電体、磁性体、エネルギーバンド、格子欠陥、固体内の拡散

到達目標

- (1) 結晶構造、回折、格子振動、電子構造の理解
- (2) 金属、半導体、誘電体の理解
- (3) 磁性体、超伝導体、格子欠陥、拡散等の理解

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30%	(1) 結晶構造、回折、格子振動、電子構造の理解 レポート6% (2) 金属、半導体、誘電体の理解 レポート15% (3) 磁性体、超伝導体、格子欠陥、拡散等の理解 レポート9%
上記以外	70%	(1) 結晶構造、回折、格子振動、電子構造の理解 筆記試験14% (2) 金属、半導体、誘電体の理解 筆記試験35% (3) 磁性体、超伝導体、格子欠陥、拡散等の理解 筆記試験21%

4回以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	一般構造						担当教員	佐々木 一泰
講義コード	1400070	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	233RED222							

授業概要

建築やインテリアに関する技術論。建築物を成立させている部位の構成や仕組みがどのようなものかを理解し、建築やインテリアを学ぶ上で知っておきたい基礎的な建築技術の概要や構造、架構の知識を身につける。

到達目標

- (1) 建築技術、構造の全体像を把握する。
- (2) 各種構造を把握する。
- (3) 建築やインテリアに携わる人が必要とする建築技術専門用語を修得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書該当ページを参照のこと

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	図説やさしい建築一般構造	今村仁美・田中美都 著	学芸出版社	978-4761524777
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	必携建築資料	柳原正人 他	実況出版株式会社	978-4-407-30782-5
2				
3				

前提学力等

建築やインテリアに関する技術論。技術に興味がある学生なら、分野を問わない。
2年次以降の履修が望ましい。

履修資格

講義名	インテリア計画論						担当教員	宮本 雅子
講義コード	1400080	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	233RED221							

授業概要

ここでは主に住居の内部空間の設計に必要な知識を習得することを目的とする。まず、インテリア計画のプロセスを説明した上で、住宅の構造、構法および住宅のインテリア構成要素について解説する。その上で、各室における機能とインテリア計画上の要点についてグループワークを交えながら講義する。

到達目標

- (1)住居のインテリアを構成している要素を理解し、説明できる。
- (2)平面計画から住生活を読み解く力をつける。
- (3)実際のインテリア空間を観察、評価できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	到達目標の(1)住居のインテリアを構成している要素を理解し、説明できる、については、期末試験35%、(2)平面計画から住生活を読み解く力をつける、については、期末試験15%
レポート課題	25	到達目標の(3)実際のインテリア空間を観察、評価できる、については、レポート25%で評価する。
上記以外	25	到達目標の(1)住居のインテリアを構成している要素を理解し、説明できる、については、レスポンスペーパー15%、(2)平面計画から住生活を読み解く力をつける、については、レスポンスペーパー10%

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	インテリアの計画と設計		彰国社	
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	インテリア計画論						担当教員	宮本 雅子
講義コード	1400080	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	233RED221							

授業計画								
回数	テーマ	概要					予習/復習	
第1回	インテリアとは	インテリア計画のプロセス					2	授業内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第2回	住宅の構造	住宅の構造と構法					2	授業内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第3回	内装材について	内装材の種類と性質					2	授業内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や5
第4回	床と壁	床、壁の性能と構法					2	授業内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第5回	天井と開口部	天井、開口部の性能と構法					2	授業内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第6回	照明方式	照明方式、光源の種類と特徴					2	授業内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第7回	照明計画	行為と照明との関係について					2	授業内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第8回	室内配色	配色パターンについて					2	授業内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や7
第9回	人と空間	人と空間のもつ意味、視線と空間の関わり					2	授業内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第10回	リビングルーム	団らん空間の計画					2	授業内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第11回	ダイニングルーム	食事空間・調理空間の計画					2	授業内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第12回	キッチン	作業空間・就寝空間の計画					2	授業内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第13回	ベッドルーム	和空間の計画					2	授業内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第14回	バリアフリー	バリアフリーとユニバーサルデザイン 高齢者の住宅改修事例					2	授業内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第15回	まとめ	全体まとめ					2	授業内容について事前に調べる。1 15回分の復習を行う。8
担当者から								

講義名	インテリアコーディネート概説						担当教員	藤木 庸介
講義コード	1400088	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	333RED222							

授業概要

生活に関わるデザイン現場において、インテリアコーディネートに対する基礎知識は今や必須の要件と言えよう。ここでは特に、店舗や住宅におけるインテリアコーディネートの実践について、実社会やデザイン現場で必要不可欠、且つ、有用な知識を習得する。尚、本演習で習得する知識は、公益社団法人インテリア産業協会が主催する「インテリアコーディネーター資格試験」に応用可能な知識と成り得る。

到達目標

- (1) インテリアコーディネートの基礎知識を習得し、実社会において応用する事ができる。
- (2) 公益社団法人インテリア産業協会が主催する「インテリアコーディネーター資格試験」の合格に必要な知識を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に記載した(1)(2)の内容を包含した小テスト3回により評価。成績への寄与率は小テストの合計を100%とし、60%以上を合格とする。

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

インテリアコーディネーター資格試験の合格を目指す者は、継続的な自主勉強が必要であり、予習復習が必須である。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	インテリアコーディネーター1次試験合格教本 上巻・下巻		ハウジングエージェンシー	
2	インテリアコーディネーター資格試験問題集		井上書院	
3				

初回は合格教本と問題集を持参しなくてよい。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	インテリアコーディネート概説					担当教員	藤木 庸介		
講義コード	1400088	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	333RED222								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習
第1回	イントロダクション	本演習の内容と目的、演習の進め方、評価方法について解説する。	2	
第2回	インテリアに関する基礎知識	インテリアに関する基礎知識について解説の上、設問解答によって知識の定着を目指す。	2	
第3回	インテリアに関する販売知識	インテリアに関する基礎知識について解説の上、設問解答によって知識の定着を目指す。	2	
第4回	インテリア情報	インテリア情報について解説の上、設問解答によって知識の定着を目指す。	2	
第5回	販売に関する法規の基礎知識 1	販売に関する法規の基礎知識について解説の上、設問解答によって知識の定着を目指す。	2	
第6回	インテリアコンサルティングに関する基礎知識	インテリアコンサルティングに関する基礎知識について解説の上、設問解答によって知識の定着を目指す。	2	
第7回	インテリア構成材の基礎知識	インテリア構成材の基礎知識について解説の上、設問解答によって知識の定着を目指す。	2	
第8回	住宅の構造に関する基礎知識	住宅の構造に関する基礎知識について解説の上、設問解答によって知識の定着を目指す。	2	
第9回	室内環境に関する基礎知識	室内環境に関する基礎知識について解説の上、設問解答によって知識の定着を目指す。	2	
第10回	販売に関する法規の基礎知識	販売に関する法規の基礎知識について解説の上、設問解答によって知識の定着を目指す。	2	
第11回	インテリア計画に関する基礎知識	インテリア計画に関する基礎知識について解説の上、設問解答によって知識の定着を目指す。	2	
第12回	表現技法に関する基礎知識	表現技法に関する基礎知識について解説の上、設問解答によって知識の定着を目指す。	2	
第13回	インテリア基礎に関する法規	インテリア基礎に関する法規について解説の上、設問解答によって知識の定着を目指す。	2	
第14回	インテリアの歴史	インテリアの歴史について解説の上、設問解答によって知識の定着を目指す。	2	
第15回	まとめ	インテリアコーディネートの基礎を総括し、総合的な設問解答によって知識を確かなものへ導くことを目指す。	2	

担当者から

インテリアコーディネーター資格試験の合格を目指す者は、相応の学習が必要であることから、本気で勉強する覚悟を以て演習を行うことを求める。

講義名	環琵琶湖文化論実習（生活デザイン）						担当教員	学科教員/印南 比呂志/宮本 雅子/ 森下 あおい/佐々木 一泰/藤木 庸介/ 横田 尚美/山田 歩/徐 慧
講義コード	1400340	単位数	2	開講期	通年	授業方法	実習	
ナンバリング番号	133LVD101							

授業概要

滋賀県の歴史、文化、生活をその対象として実習をおこなう。各学科ごとに地域、テーマ別に班編成をし、事前学習、実地調査の実習、さらに実習後の報告書の作成をおこなう。

到達目標

- (1)地域の歴史、文化、生活に対する意識を高め、滋賀県内の地域資源を抽出する。
- (2)フィールドワークによって調査方法、データの収集方法を習得する。
- (3)収集したデータの分類整理方法、報告書の編集方法の技術を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		なし
レポート課題	20	毎回の調査レポート、プレゼンの内容により評価する。
上記以外	80	到達目標の(1)フィールドワークをおこなうことによって、地域の歴史、文化、生活に対する意識を高める、については、実習への参加・貢献40%、(2)調査の手法、報告書のまとめかた等の技術を習得する、については、事前学習への貢献40%、事後学習への貢献20%で評価する。

授業外学習

滋賀県内の地域資源を調査するために、日々、授業で扱われたもの、人、歴史に関連する場所を訪れ、ヒアリング等を行うこと。可能であれば、他の近江学士などの副専攻の履修、近江楽座への参加、近江の美の履修などにより、地域活動への興味を高めて欲しい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	近江楽座のススメ	滋賀県立大学学生委員会	ラトルズ社	
2				
3				

テキスト：各班担当の教員の指示による

前提学力等

履修資格

講義名	基礎設計製図						担当教員	藤木 庸介 / 未定 *
講義コード	1400430	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	133RED221							

授業概要

建築設計製図に必要な基本的な製図技術と技法を習得する。建築家による設計図面のトレースや、模型の制作によって、製図や模型制作の基礎を学ぶ。アクソメトリックやインテリアパースの作成によって空間の視覚的な表現力を身に付ける。建築の基礎的な表現技法を学ぶとともに、図面を通して空間を想像し把握する力を養う。小規模な空間を自身で設計することで、空間的思考力と計画力、製図能力を習得する。

到達目標

- (1) 建築製図の基本的なルールを理解し、製図技法を習得する。
- (2) 建築模型の製作技法を習得する。
- (3) 小規模空間を計画し、破綻のない設計が出来るようになる。
- (4) 自身の制作物や設計のプレゼンテーションが出来るようになる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	課題の提出物 (80%) 講評会でのプレゼンテーション (20%)

全課題の提出が単位認定の最低条件とする（一つでも課題未提出がある場合は単位不認定）
成績は全ての課題作品評価の合計点に、講評会でのプレゼンテーション評価を加えて算出する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	初歩からの建築製図	藤木庸介・柳沢究	学芸出版社	ISBN978-4-7615-25587-3
2				
3				

第3回目授業までに指定した教科書を用意すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	基礎設計製図						担当教員	藤木 庸介 / 未定 *		
講義コード	1400430	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習			
ナンバリング番号	133RED221									

授業計画										
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

回数	テーマ	概要					予習 / 復習				
第1回	ガイダンス	授業の進め方、諸注意などを説明。第 1 課題出題。					4				
第2回	第 1 課題の講評	第 1 課題の講評					4				
第3回	第 2 課題「線の練習」	製図用具の使い方の講義と実習									
第4回	第 3 課題「RC住宅」の 図面トレース	「RC住宅」の図面トレース					4				
第5回	第 3 課題「RC住宅」の 図面トレース	「RC住宅」の図面トレース					4				
第6回	第 4 課題「アクソメの 作成」	「アクソメ」に関する講義と実習					4				
第7回	第 5 課題「インテリア パースの作成」	「インテリアパース」に関する講義と実習					4				
第8回	第 6 課題「模型の作成」	「模型作成」に関する講義と実習					4				
第9回	図面基礎の復習テスト	図面基礎の復習テスト					4				
第10回	第 7 課題「6メートル 立方の空間」	第 7 課題についての説明と実習					4				
第11回	第 7 課題「6メートル 立方の空間」	コンセプトのチェック					4				
第12回	第 7 課題「6メートル 立方の空間」	スケッチのチェック					4				
第13回	第 7 課題「6メートル 立方の空間」	プレゼンテーション作成					4				
第14回	第 7 課題「6メートル 立方の空間」	プレゼンテーション作成					4				
第15回	第 7 課題「6メートル 立方の空間」	「6メートル立方の空間」の作品講評会					4				

担当者から

本演習では、基本的な製図用具を各自で用意する必要があります。
用意すべき製図用具は授業内で説明します。

講義名	基礎服飾デザイン						担当教員	横田 尚美 / 森下 あおい
講義コード	1400440	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	133FSD261							

授業概要

服飾デザインの基礎知識として、デザイン画の基本的な技法を修得させ、人体のプローションと着装の関係を把握させる。また、服飾デザインに必要な服づくりの基本的な知識を得るための実習を指導する。また次年度で服を製作する準備として、アイロン掛けや、手縫の基本を学ばせる。それとともに、これまで意識して来なかった各自の衣生活について見直すきっかけを与える。

到達目標

- (1) 基本的なデザイン画の技法を理解できる。
- (2) 服づくりについての最低限の専門用語を知り、最低限の商品知識を持つことができる。
- (3) 基本的なアイテムの構造について理解できる。
- (4) 手縫の基礎を身に付けることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100%	到達目標(1)～(4)について、毎回の提出物と実習のレポートによって評価する

特に学年末のまとめの時期の、特段の理由のない遅刻や欠席は、評価の上で重視するので、よく注意するように。

授業外学習

前半のデザイン画の描き方の習得のためには、服や素材を普段から観察することと、実際にデザイン画を描き続けることが大事です。授業時間だけでなく自習を惜みず取り組んでください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	授業中に適宜プリントを配布する			
2				
3				

(前半)鉛筆HBを持参する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業内で適宜紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	基礎服飾デザイン						担当教員	横田 尚美 / 森下 あおい	
講義コード	1400440	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演		
ナンバリング番号	133FSD261								

授業計画

回数	テーマ	概要	予習/復習
第1回	前半のオリエンテーション	前半の授業の説明 デザイン画の目的と種類を知る。	1. 普段、何気なくみている人のからだ 5 基本のプロポーシヨンの描き方を復
第2回	基本ポーズの描き方	服の着装のための主なポーズの特徴、重心の変化を学ぶ。	1. ファッション雑誌を参考として、服 5 主な着装ポーズの正面向きから、変
第3回	着装画の描き方(シルエット)	服の種類と形状の描き方、しわや影の描き方を学ぶ。	1. ファッション雑誌を参考として、 5 服の着装状態の観察のポイント、か
第4回	着装画の描き方(細部と素材表現)	さまざまな素材の表現方法、デザインの細部の見かた、表現方法を学ぶ。	1. 服の素材、特にテキスタイルの種類 5 細部と素材表現を復習する。
第5回	着装画の描き方(着色)	デザインを伝えるために必要で、効果的な着色方法を、色鉛筆、水彩、ポスターカラー、サインペンなど、道具による表現の違いから学	1. デザイナーやイラストレータが描い 5 デザインに対して効果的な着色表現
第6回	着装画から平面画へ(構造の理解)	平面画の役割と描き方を学ぶ。	1. 自分の服を観察して、1着の服の構 5 正確な平面画を描き、読み取れるよ
第7回	着装画の描き方(まとめ)	テーマに応じて、着装画と平面画により、一枚に構成する。	1. 与えられたテーマについて調べてお 5 デザイン画をまとめる方法について
第8回	後半のオリエンテーション	後半の説明をする。 東京コレクション(2023年春夏シーズン)について、映像を観なが	2 Rakuten JFW 2023SS Tokyo
第9回	服づくりの基礎	アイロンの使い方、縫い方の基礎を学ぶ。(実習) ハンカチから布の特性を知る。	2 裁縫道具セットの中身を確認し、な 1 シャツやスカート、ズボンの洗濯表
第10回	服の構造(シャツ、ブラウス)1	引き続き、シャツやブラウスの構造を学ぶ。(実習) シャツやブラウスの商品知識を身に着ける。	2 家にあるシャツやブラウスを並べ 1 授業で得た知識を基に、再度、家に
第11回	服の構造(シャツ、ブラウス)2	引き続き、シャツやブラウスの構造を学ぶ。(実習) シャツやブラウスの商品知識を身に着ける。	2 基本的なシャツを選び、どのような 1 シャツやブラウスの様々な種類、
第12回	服の構造(スカート、パンツ)1	スカートやパンツの構造を学ぶ。(実習) スカートやパンツの商品知識を身に着ける。	2 家にあるスカートやパンツを並べ 1 授業で得た知識を基に、再度、家に
第13回	手縫の基本1	手縫の基本の確認(実習)。	2 家庭科の教科書やインターネット 1 晒などを用意し、並縫いを繰り返
第14回	手縫の基本2	手縫の実習を通して、制作物を完成させる(実習)。	2 手拭いを準備する。 1 実習を振り返り、一度、糸をほどい
第15回	合評会	デザイン画と制作物について、プレゼンテーションし合い、評価し合う。	2

担当者から

デザイン画の課題時には、ファッション雑誌、着色道具を持参してもらおう。
後半については、裁縫道具のセットを持参してもらおう。

講義名	近代デザイン史						担当教員	佐々木 一泰 / 印南 比呂志 / 横田 尚美
講義コード	1400570	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	233LVD202							

授業概要

近代になって、産業革命、市民社会の成立、科学技術の発展などによって、社会は大きく変化した。なかでも、合理主義・機能主義により、われわれの生活空間は、徐々にモダニズムのデザインにおおわれてきた。そして現代、豊かさ、情報化、都市化、グローバル化によって、我々の生活や意識（価値観、美意識、家族観）も変りつつある。このようななかで、近代はじめより現代にいたるまでの間の生活デザイン、主として、建築、空間、インテリア、道具、服飾、グラフィックなどのデザインにおいて、どのような変革の試みがなされてきたのかを、具体例を通して概観し、相互分野間の比較を行うことで、近代のデザインを理解する。

到達目標

- (1) モダンデザインの流れの全体像をつかむ。
- (2) 種々のデザイン運動グループの位置付けと特徴を知る。
- (3) 有名デザイナーの名とその作品に親しむ。
- (4) デザイナーの作品の特徴や他との影響関係を調べ、文章や図にまとめることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80	各回の講義のレポートを評価する。
上記以外	20	最終の総合レポート課題を評価する。

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象としない。

授業外学習

適宜レポート課題を行います。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	カラー版・世界デザイン史	阿部公正(監)	美術出版社	978-4-568-40084-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	生きのびるためのデザイン	V. パパネック・阿部公正訳	晶文社	ISBN-13: 978-4794971852
2	口紅から機関車まで	R. ローウイ・藤山愛一郎訳	鹿島出版会	ISBN-13: 978-4306060166
3	ヴィジュアルコミュニケーションの歴史	W. アイヴィンス・白石和也訳	晶文社	ISBN-13: 978-4794956767

上記以外にも、普遍的な歴史書は多くあるので、一元的なデザインの視点にならないように多様な書物を読んでおくこと。

前提学力等

履修資格

講義名	空間デザイン論						担当教員	佐々木 一泰
講義コード	1400580	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	333RED223							

授業概要

この授業では空間に関するデザインについて学ぶ。空間のデザインは建築やグラフィックなどの視覚伝達手法や、社会や風土の文化的背景、人の行動などの心理的影響から成り立つ。前半は近現代の西洋の空間デザインについて学び、次にその日本への影響を踏まえて、近現代の日本の空間デザインについて学ぶ。後半は社会や風土の文化的背景を踏まえた上、視覚伝達の仕組みや、人間の行動とデザインの関係について学ぶ。

到達目標

- (1) 空間に対する理解や設計、デザインを行う際の、思考の助けとなる様な基礎知識を習得する。
- (2) デザインに関しての論理的フレームを、構成理論や技術に基づいて理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

あらかじめ配布されたプリントを授業までに読解し、背景を理解したうえで授業に臨むこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	作家たちのモダニズム	黒田智子 他	学芸出版社	4-7615-2307-7
2	近代日本の作家たち 建築をめぐる空間表現	黒田智子 他	学芸出版社	4761523794
3				

授業中プリント配布

前提学力等

履修資格

講義名	空間デザイン論						担当教員	佐々木 一泰
講義コード	1400580	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	333RED223							

授業計画

回数	テーマ	概要	予習/復習	
第1回	イントロダクション：デザインは何からつく	本講義の内容と目的、講義の進め方、評価の方法等の解説を行う。風土・感性・社会の文化的背景を踏まえた空間デザインの理解を目的と	1. 授業内プリントおよび参考書を参照 5 授業内プリントおよび参考書を参照	1. 1. 3. 3.
第2回	西洋の空間デザインの理解1	西洋の風土特性とデザインとの関係について解説を行う。ロシア・ドイツ・フランスとの相互影響や、多様性・社会変革・造形の仕組みに	1. 授業内プリントおよび参考書を参照 5 授業内プリントおよび参考書を参照	1. 1. 3. 3.
第3回	西洋の空間デザインの理解2	西洋の風土の特性とデザインとの関係について解説を行う。イメージと理論、技術の関係について理解する。	1. 授業内プリントおよび参考書を参照 5 授業内プリントおよび参考書を参照	1. 1. 3. 3.
第4回	西洋の空間デザインの理解3	西洋の風土の特性とデザインとの関係について解説を行う。イメージと技術、理論と情報の関係について理解する。	1. 授業内プリントおよび参考書を参照 5 授業内プリントおよび参考書を参照	1. 1. 3. 3.
第5回	西洋の空間デザインの理解4	西洋の風土特性とデザインとの関係について解説を行う。日本への影響と応用について理解する。	1. 授業内プリントおよび参考書を参照 5 授業内プリントおよび参考書を参照	1. 1. 3. 3.
第6回	日本の空間デザインの理解1	第二次世界大戦までの日本における西洋からの文化輸入と、日本の空間デザインのアイデンティティの確立について理解する。	1. 授業内プリントおよび参考書を参照 5 授業内プリントおよび参考書を参照	1. 1. 3. 3.
第7回	日本の空間デザインの理解2	戦前から戦後における、日本の空間デザインのアイデンティティの確立について理解する。	1. 授業内プリントおよび参考書を参照 5 授業内プリントおよび参考書を参照	1. 1. 3. 3.
第8回	日本の空間デザインの理解3	戦後における、日本の空間デザインのアイデンティティの確立と、日本にあった技術革新と造形について理解する。	1. 授業内プリントおよび参考書を参照 5 授業内プリントおよび参考書を参照	1. 1. 3. 3.
第9回	日本の空間デザインの理解4	戦後から現代の、日本の空間デザインのアイデンティティの確立について理解する。	1. 授業内プリントおよび参考書を参照 5 授業内プリントおよび参考書を参照	1. 1. 3. 3.
第10回	視覚伝達の仕組み1	絵画や写真などの事例を基に、構図や視線誘導の仕組みを理解する。	1. 授業内プリントおよび参考書を参照 5 授業内プリントおよび参考書を参照	1. 1. 3. 3.
第11回	視覚伝達の仕組み2	タイポグラフィやグラフィックの手法を理解する。	1. 授業内プリントおよび参考書を参照 5 授業内プリントおよび参考書を参照	1. 1. 3. 3.
第12回	視覚伝達の仕組み3	平面で展開された視覚伝達の仕組みを、空間に応用する手法を理解する。	1. 授業内プリントおよび参考書を参照 5 授業内プリントおよび参考書を参照	1. 1. 3. 3.
第13回	人間の行動とデザインの関係1	商業空間の事例を基に、購買行動に繋げる空間の仕組みを理解する。	1. 授業内プリントおよび参考書を参照 5 授業内プリントおよび参考書を参照	1. 1. 3. 3.
第14回	人間の行動とデザインの関係2	空間の事例を基に、行動を誘発する空間の仕組みを理解する。	1. 授業内プリントおよび参考書を参照 5 授業内プリントおよび参考書を参照	1. 1. 3. 3.
第15回	まとめ	本講義を総括し、空間デザインの意義について考察を行う。	1. 授業内プリントおよび参考書を参照 5 授業内プリントおよび参考書を参照	1. 1. 3. 3.
担当者から				

講義名	現代産業デザイン論						担当教員	磯部 孝文
講義コード	1400640	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	333TLD201							

授業概要

現代の産業デザインにおいてデザイナーの求められる職能は「モノ」と「コト」の両面において非常に多岐に渡る。炊飯器やスマートフォンなどの日用品やコンビニエンスストアに並ぶ商品のパッケージ。工場で稼働する産業機器やトラクターなどの工作機械。趣味のためのバイクや通勤のための電車などの様々な乗り物。街中のバス停や、広場にある照明柱やベンチ等、日常に目にする全ての「モノ」は誰かがデザインしたものである。さらにアプリによってコミュニケーションを潤滑にする仕組み、街中で迷わないようにわかりやすく情報を伝えたり誘導する仕組み、科学技術によって人と人の心をつなぐ仕組みなど、目に見えない多くの「コト」もまた誰かがデザインしたものである。本講義においては、現在総合デザイン事務所に勤務している本講師が、現在進行形の事例や実務経験を元に、現代の産業デザインの現状や課題、デザイナーに求められる専門性や職能などを紹介し、我々デザイナーは一体「何をデザインしているのか？」を伝えたい。さらに、これからの時代に「デザインをする」とはどういうことかを一緒に考える講義としたい。

到達目標

- (1) デザインとは何か、デザイナーの考えていることを知ることができる
- (2) 現在進行形のデザインについて知ることができる
- (3) 様々なデザイン領域の専門性や職能について考えることができる
- (4) デザイナーになるということはどういうことか考えることができる
- (5) デザインに対して自分なりの考え方が持てる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0%	
レポート課題	50%	毎回の授業でのレスポンスシート(レポート)により評価する。
上記以外	50%	全講義の内2回程デザインについて調べ・考察し・話しあう「デザインワーク」を行い、その際の発表内容を評価する。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

毎週の講習テーマに関するモノやコトを事前に調べ自分なりに考察しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて、資料を配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	デザインの本質	田中一雄	ライフデザインブックス	4908492883
2	インダストリアル・デザイン 環境形成をめざして	ウィルヘルム・ブラウン・フェルドウエグ(著), 阿部公正(著)	彰国社	4395050700
3	GK Report	GK Deisgn Group	社内広報物	

前提学力等

2年次以降の履修が望ましい

履修資格

講義名	建築計画論						担当教員	藤木 庸介
講義コード	1400705	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	233RED223							

授業概要

世界には建築に対する多様な考え方や表現があり、これらを概観する事は、建築を理論的、且つ、感覚的に理解する上での必須要件と言えよう。本講義では建築に対する議論や設計を巡る思考の助けとなる様な基礎知識、あるいは最低限知っておくべき論理的フレームを“Architectural Design”という言葉の上に広く捉えつつ、これらの知見をわかりやすく解説する。

到達目標

- (1) 建築に対する議論や設計を巡る思考の助けとなる様な基礎知識を習得する。
- (2) 建築計画に関する、最低限知っておくべき論理的フレームを“Architectural Design”という言葉の上において理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標に記載した(1)(2)の内容を包含した小テスト3回により評価。成績への寄与率は小テストの合計を100%とし、60%以上を合格とする。

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書の講義対象部分を事前・事後において通読することが望ましい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	テキスト建築意匠	平尾和洋・末包伸吾	学芸出版社	ISBN4-7615-3146-0
2				
3				

第2回目授業までに教科書を用意すること。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	建築計画論							担当教員	藤木 庸介
講義コード	1400705	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	233RED223								

授業計画										
回数	テーマ	概要				予習 / 復習				
第1回	イントロダクション	本講義の内容と目的、講義の進め方、評価の方法等を解説する。				2				
第2回	力の流れと表現(1)	基礎的な建築構造の考え方について解説する。				2				
第3回	力の流れと表現(2)	基礎的な建築構造の考え方について解説する。				2				
第4回	近代の建築(1)	基礎的な近代建築理論について解説する。				2				
第5回	近代の建築(2)	基礎的な近代建築理論について解説する。				2				
第6回	現代の建築(1)	基礎的な現代建築理論について解説する。				2				
第7回	現代の建築(2)	基礎的な現代建築理論について解説する。				2				
第8回	建築表記の射程(1)	建築表記の実践とその意義について解説する。				2				
第9回	建築表記の射程(2)	建築表記の実践とその意義について解説する。				2				
第10回	建築の原点(1)	建築の原点とその意義について解説する。				2				
第11回	建築の原点(2)	建築の原点とその意義について解説する。				2				
第12回	建築の要素(1)	建築を構成する様々な要素について解説する。				2				
第13回	建築の要素(2)	建築を構成する様々な要素について解説する。				2				
第14回	光について	建築と光の関係について解説する。				2				
第15回	まとめ	本講義を総括し、建築計画の意義について考察を行う。				2				
担当者から										

講義名	考現学概論						担当教員	印南 比呂志 / 徐 慧
講義コード	1400730	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	133LVD109-C							

授業概要

生活を捉える基本的な方法論としての考現学について解説する。日本において創始された考現学は、生活のありようをとらえる有効な方法であるばかりか、生活実態に即したデザインの発想をうながし、現在まで多くの生活研究者・デザイン実務家によって発展・継承されている。考古学者が発掘した遺構・遺物から過去の生活相を復元し想定するように、考現学では、現在の生活を観測、観察、記録して、その生活相の変化を明らかにし、新しい生活をデザインするための立脚点とする。本講義では、考現学の創始者・今和次郎（1888～1973）から現在にいたる考現学的生活研究の系譜を論じ、さまざまな考現学的調査手法を事例を交えて解説する。グループワークによる調査体験、授業期間終了後の個人調査・レポート制作を含む。

到達目標

実際の調査体験を通して、生活文化をとらえるための考現学的観察・記録の方法と視点を修得する。（１）過去の考現学調査の方法と視点を理解し、自分なりの感想や意見を述べる事ができる。（２）グループワークに参加し協調して調査を計画・実行できる。（３）個人で調査を計画・実行し、その結果を文章や図解にまとめることができる。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	0	なし
レポート課題	70	個人調査レポート（毎回の講義で課題を出す）
上記以外	30	フィールドワークでのレポート、最終プレゼン。

個人調査レポートは毎回の授業テーマを元に宿題とする。フィールドワークの成果のまとめかたを評価する。

授業外学習

次回授業テーマについての予習と授業後の課題（宿題）調査レポートを毎回課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	考現学入門	今和次郎	ちくま文庫	4-480-02115-9 C0136
2				
3				

考現学入門・今和次郎

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	路上観察入門	赤瀬川原平	ちくま文庫	4480028188
2	超芸術トマソン	赤瀬川原平	筑摩書房	4480021892
3	看板建築昭和の商店と暮らし（味なたてもの探訪）	萩野正和	トゥーヴァージンズ	4908406278

授業中にプリントなどの資料を配布する

前提学力等

履修資格

講義名	構造計画（生活デザイン）						担当教員	森 隆寿
講義コード	1400820	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	233RED224							

授業概要

建物を計画するということは、機能性、安全性を把握しさらに芸術性を盛り込む総合的な作業である。建物を成立させるためには、建物に作用する力の種類と流れを掌握し、構造材料の特性を活かして架構することが必要である。本講義では建物に作用する外力に対して使用する構造材料の特性を活かし効率の良い構造計画を習得することと、小規模木造建物の計画について講義する。

到達目標

- ((1)建物に作用する力の種類と流れをに対し、建物の安全性を確保するための基本的な架構計画を習得する。
(2)小規模木造建物を設計する能力を身に着けること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	記述試験を行なう。
レポート課題	0	
上記以外	30	毎回復習小テストを行なう。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

構造計画は普段街を歩いている時に工事現場に興味をもち、今はどのような作業をしているかを自分で学び取ることが一番の復習・予習になると考えます。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	やさしい建築一般構造	今村仁美・田中美都	学芸出版	978-4-7615-2477-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	図説 やさしい建築数学	今村仁美・大谷一翔	学芸出版社	9784761525149
2	改訂版図説 やさしい建築材料	松本進	学芸出版社	9784761527273
3				

前提学力等

数学、物理の基礎知識を有していること

履修資格

講義名	構造計画 (生活デザイン)						担当教員	森 隆寿	
講義コード	1400820	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	233RED224								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習
第1回	構造計画とは	建築物の構造計画概要、必要性を講義	2	身近な建物や、ネットなどで興味を 予習で興味を持った建築物が何造 2
第2回	建築物に作用する力と 荷重条件	建築物に作用する力、荷重条件を講義	2	テキストの1章 建物にはたらく力 2 講義を聞いて、理解が不十分な箇所 2
第3回	建築構造の材料概要	建築物を構成する材料の特性概要について講義	2	テキスト2章の1木造の特徴、3章 2 自分なりに 木造、 鉄骨造、 鉄 2
第4回	各構造の基礎知識	木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造についての基礎知識を講義	2	テキスト2章の2木構造の基礎知 2 自分なりに 木構造、 鉄骨造、 2
第5回	各構造の基礎知識	木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造についての基礎知識を講義	2	テキスト2章の2木構造の基礎知 2 自分なりに 木構造、 鉄骨造、 2
第6回	木造軸組工法 基礎	木造軸組工法の基礎・地業部分について講義	2	テキスト3章の3 基礎・地業と6 2 基礎の種類、接地圧の求め方を整理 2
第7回	木造軸組工法 軸組	木造軸組工法の軸組部分について講義	2	木造軸組みの部材名称、その役割を 2 力(荷重)の流れを意識しながら、 2
第8回	木造軸組工法 壁量計算	木造軸組工法の壁量計算について講義	2	テキストの耐力壁の壁量計算、配置 2 テキストの例題を回答を見ずにチャ 2
第9回	木造軸組工法 小屋組	木造軸組工法的小屋組部分について講義	2	小屋組の種類、各部材名称、役割を 2 和小屋組と洋小屋組の違いを整理し 2
第10回	木造軸組工法 床組	木造軸組工法の床組部分について講義	2	1階床組みと2階床組みの違いを理解 2 床組みを構成する部材名称、配置、 2
第11回	木造軸組工法 接合部 その他	木造軸組工法の接合部分その他について講義	2	継ぎ手、仕口、ほぞの違い、釘、ボ 2 1面せん断、2面せん断、引張耐力、 2
第12回	木造枠組壁工法・丸太 組工法	木造枠組壁工法、丸太組工法について講義	2	テキスト内の木造枠組壁工法につい 2 枠組壁工法の部材名称、配置につい 2
第13回	鉄筋コンクリート造構 造計画	鉄筋コンクリート造の構造計画について講義	2	テキスト4章を事前に目を通し、鉄 2 鉄筋とコンクリートの特徴を整理 2
第14回	鉄骨造構造計画	鉄骨造の構造計画について講義	2	ボルト、溶接などの接合方法や、 2 接合方法の整理、各部材の構造的な 2
第15回	まとめ(到達確認テ ストおよび解説、事後説	全体の復習、おさらい	2	テキスト、ノートを見直して、自分 2 到達確認テストで不安な部分につい 2
担当者から				

講義名	構造力学（生活デザイン）						担当教員	森 隆寿
講義コード	1400830	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	333RED321							

授業概要

建築空間を構成するためには、建物に作用する力の種類と流れ、および建物を構成する部材に作用する力とそれに対する架構の挙動を理解することが不可欠である。本講義では、基礎的な構造力学を学習する。

到達目標

- (1) 静定構造物を対象とした建築構造力学の基礎知識を習得する。
- (2) 簡単な骨組構造を対象として力学の基礎原理を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70	記述試験を行なう。
レポート課題		
上記以外	30	毎回復習小テストを行なう。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

構造力学は自然の摂理を数字で表現することです。普段の生活の中で感じる「物に作用する力」を意識することで授業の内容が身近なものに感じることができます。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	やさしい構造力学	浅沼清昭	学芸出版	978-4-7615-2349-7
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	図説やさしい建築数学	今村仁美・大谷一翔	学芸出版社	9784761525149
2	やさしい建築構造力学演習問題集	浅野清昭	学芸出版社	9784761513689
3				

前提学力等

数学の基礎知識を有していること

履修資格

講義名	構造力学（生活デザイン）						担当教員	森 隆寿	
講義コード	1400830	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	333RED321								

授業計画										
回数	テーマ	概要				予習 / 復習				
第1回	構造力学概論	構造力学についての概論説明				2	テキスト第1章構造力学に必要な算	2		
第2回	力の流れの理解	構造物の力の流れと力のつり合いを講義				2	前回の第2章力の基礎、第3章力の	2		
第3回	支点反力の計算	構造物の支点に生じる力を講義				2	第4章反力部分の熟読と練習問題	2		
第4回	単純梁の部材に生じる力(1)	単純梁に生じる力の計算方法を講義				2	単純梁の部材に生ずる力が、理解で	2		
第5回	単純梁の部材に生じる力(2)	単純梁に生じる力の計算方法を講義				2	単純梁の部材に生ずる力が、理解で	2		
第6回	単純梁の部材に生じる力(3)	単純梁に生じる力の計算方法を講義				2	単純梁の部材に生ずる力が、理解で	2		
第7回	片持ち梁の部材に生じる力	片持ち梁に生じる力の計算方法を講義				2	第5章5-3片持ち梁に生ずる力を	2		
第8回	跳ね出し梁の部材に生じる力	跳ね出し梁に生じる力の計算方法を講義				2	第6章6-4実戦例題 例題6.5	2		
第9回	ラーメン部材に生じる力	ラーメン部材に生じる力の計算方法を講義				2	第6章6-4実戦例題リ ラーメン	2		
第10回	トラス部材に生じる力	トラス部材に生じる力の計算方法を講義				2	第7章 トラスにて 節点法、図	2		
第11回	部材断面の考え方	部材断面特有の係数についての講義				2	第8章の図心、断面2次モーメン	2		
第12回	断面に生じる力(1)	断面に生じる応力度の計算方法を講義				2	第9章の軸応力度、曲げ応力度、せ	2		
第13回	断面に生じる力(2)	断面に生じる応力度の計算方法を講義				2	第9章の許容応力度、許容曲げモー	2		
第14回	座屈とたわみ	座屈、たわみの特性について講義				2	第10章 座屈、第11章 たわみ	2		
第15回	まとめ(到達確認テストおよび解説、事後説)	全体の復習、おさらい				2	テキスト、ノートを見直して、自分	2		
担当者から										

講義名	サステナブルデザイン論						担当教員	
講義コード	1400910	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	133LVD108							

授業概要

生活デザイン学科3年生向け講義です。

2022年度は開講しません。

デザイン学科で1,2年次に学んだ基礎的なスキルとパソコンソフト(illustrator/photoshop/CG)のプレゼンテーション技術を使った課題を課します。

大量消費、大量生産によって経済発展を遂げ、支えられてきた二十世紀。現在、その豊かさの代償に様々な弊害や歪みが生じている。様々な仕組みを見直す時がきている。デザインの力がどのように社会に貢献できるのかを考察する。デザインとは何か。デザインの基礎的な話から、現在世の中で変わりつつあるデザインの役割、持続可能な社会にサステナブルなものづくり、社会システムのあり方を先端事例を交えて考える。

到達目標

デザイナーの職能と、デザインの果たす役割、デザインの可能性について様々な見地からの知識を深める。
内容は変更の予定あり。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

必要に応じて課題を課する。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書はなし。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	世界を変えるデザイン	シンシア・スミス	英治出版	4-86276-058-9
2	Balance in design 美しくみせるデザインの原則	Kimberly Elam	ビー・エヌ・エヌ新社;	4861007933
3				

前提学力等

生活デザイン学科3年次に向けた内容となっている。

履修資格

講義名	サステナブルデザイン論						担当教員	
講義コード	1400910	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	133LVD108							

授業計画

回数	テーマ	概要	予習/復習
第1回	ガイダンス	デザインに込められた意味や形の考え方。シンボルマークを事例に解説。	
第2回	自然が生み出したデザイン	バイオミクリーを事例に、自然から応用されたデザインについて。	
第3回	広告やグラフィックにおけるデザイン	広告やグラフィックにおけるデザインについて、事例を通して学ぶ。	
第4回	電気やエネルギーとデザイン	日本と世界を比較し電気やエネルギーとデザインについて。	
第5回	ブランディングデザイン	ブランドとは何か事例を通して、様々なブランディングについて。	
第6回	クラフトとデザイン	クラフトと手工業とデザインについて。	
第7回	リサイクルとデザイン	ゴミとリサイクルとデザインの関係について。	
第8回	アフォーダンスとデザイン	行為を誘発するデザインについて。	
第9回	地域デザイン	地域を舞台に活躍するデザイナーについて。	
第10回	ロングライフデザイン	何年も前からずっと変わらないロングライフなデザインについて。	
第11回	建築におけるサステナブルデザイン	持続可能な建築とは何か？現代の住宅などについて。	
第12回	乗物におけるサステナブルデザイン	持続可能な乗り物や自転車などのデザインについて。	
第13回	世界を変えるデザイン	今、世界でデザインの果たす役割について。	
第14回	途上国とデザインについて	フェアトレード、マイクロクレジットなど途上国とデザインについて。	
第15回	まとめ	サステナブルデザインまとめ 大学時代に何をすべきか	

担当者から

--

講義名	サブカルチャー交流論						担当教員	金 悠進
講義コード	1400911	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	3371LA308							

授業概要

サブカルチャーとは何か、そして文化とは何かについて講義をおこなう。特に欧米や東南アジア、日本の事例を中心に取り上げる。講義内では、音源や写真、映像資料を用いて「文化」のあり方について分かりやすく提示する。また、実際に映画や動画作品などを地域・歴史横断的に分析し、現代におけるサブカルチャーについて考える。毎授業時に提出してもらったコメントペーパーを通じて、受講者間での関心や疑問点を共有し、講義の中でも取り上げる。

到達目標

講義を通じて、「文化」とは何か、「サブカルチャー」とは何かということについて地域・歴史的な文脈を踏まえて理解を深めるほか、文化の存在意義について自ら意見を表明できるようになることが、講義の到達目標である。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	60	授業内容を理解しているか、自分の力で論理的に文章を書くことが出来ているかを評価する。
上記以外	40	毎授業時のコメントペーパーの内容に基づいて評価をおこなう。

授業外学習

授業外でも、文芸作品や音楽、映画などの鑑賞を通じて講義内容を振り返りながら考えを深めること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	サブカルチャー交流論						担当教員	金 悠進
講義コード	1400911	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	3371LA308							

授業計画								
回数	テーマ	概要					予習 / 復習	
第1回	イントロダクション	「サブカルチャー」や「文化」をめぐる定義について近年の事例を交えつつ概論的に説明する。					1.5	
第2回	サブカルチャーと社会構造	特定の文化を嗜好する「趣味の要因」について講じる。						
第3回	都市のサブカルチャー	どのように趣味嗜好が街の形成と深く結びついているのかについて講じる。						
第4回	サブカルチャーと世代	「90年代サブカル」について「渋谷系」を事例に講じる。						
第5回	サブカルチャーと抵抗	不良文化の行動様式と社会化について講じる。						
第6回	サブカルチャーと政治	文化と政治 が孕む複雑な関係性について講じる。						
第7回	サブカルチャーと社会運動	社会運動やデモとサブカルチャーの関係性について「ネット右翼」を事例に講じる。						
第8回	サブカルチャーとナショナリズム	伝統の創造とサブカルチャーの関係性について「演歌」「日本スゴイ」「愛国ソング」を事例に講じる。						
第9回	サブカルチャーの越境	アジアにおける文化の越境について「韓流ブーム」を事例に講じる						
第10回	サブカルチャーの越境	アイドルやポップスなどの越境性についてK-POPやジャニーズを事例に講じる。						
第11回	サブカルチャーとハイカルチャー	欧米圏におけるサブカルチャーがいかに東南アジアで受容されたのかについて講じる。						
第12回	1960年代のサブカルチャー	映画で学ぶヒッピーカルチャー、カウンターカルチャー						
第13回	グローバル化のなかのサブカルチャー	メディアの発展によって越境する「文化」について「ワールドミュージック」を例に講じる。						
第14回	Z世代にとってのサブカルチャー	メディアの発展によって越境する「文化」について「シティポップ」を例に講じる。						
第15回	総括	これまでの講義内容を振り返り、総括をおこなう。						
担当者から								
講義中の私語は厳に慎んで欲しい。								

講義名	色彩学						担当教員	宮本 雅子
講義コード	1400930	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	233LVD204							

授業概要

現代は生活の質が求められる時代となり、生活のさまざまな場面で色彩の果たす役割は大きくなっている。しかし、騒色という言葉があるように色彩が人に悪影響を及ぼすこともある。そこで、生活デザインにおける快適な色彩計画のための基礎知識を得ることをねらいとし、色の表示方法や色彩調和論等について講義する。

到達目標

- (1) 色彩の表示方法について習得する。
- (2) 配色技法について理解し、生活の中での配色事例について分析できる
- (3) 生活の中の色彩について基本的な知識を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標の(1)色知覚について理解し、色彩の表示方法について習得する、については、期末試験10%、(2)色彩調和、配色技法について理解し、生活の中での配色事例について分析できる、については、期末試験10%、(3)生活の中の色彩についての基本的な知識を習得する、については、期末試験20%
レポート課題	15	到達目標の(1)色知覚について理解し、色彩の表示方法について習得する、については、課題5%、(2)色彩調和、配色技法について理解し、生活の中での配色事例について分析できる、については、課題10%
上記以外	45	到達目標の(1)色知覚について理解し、色彩の表示方法について習得する、については、小テスト15%、レスポンスペーパー5%、(2)色彩調和、配色技法について理解し、生活の中での配色事例について分析できる、については、小テスト15%、レスポンスペーパー5%、(3)生活の中の色彩についての基本的な知識を習得する、については、レスポンス

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	色彩：カラーコーディネーター入門		日本色研事業	978-4-901355-27-8
2				
3				

副教材として「新配色カード199a」を使用

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	色彩学						担当教員	宮本 雅子
講義コード	1400930	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	233LVD204							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習/復習
第1回	生活と色彩	身近な色について考える	2	授業の内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第2回	色知覚について	眼の構造と色知覚	2	授業の内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第3回	色の表示方法 1	色名による表示方法およびマンセル表色系について	2	PCCSの色票を体系的に貼り付ける作3 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第4回	色の表示方法 2	オストワルト表色系、NCS表色系、PCCS等について	2	授業の内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第5回	色の測定方法	色と光の三原色と混色、色の測定法（視感測色法、分光測色方法、刺激値直読方法）	2	授業の内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や5
第6回	照明と色彩	小テスト、照明と色彩	2	授業の内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第7回	色のイメージ	色の単色イメージと連想	2	授業の内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第8回	色の好み	年齢や国による嗜好色の違いについて	2	授業の内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第9回	色の視覚効果	様々な色の視覚効果について	2	授業の内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や5
第10回	色彩調和論 1	小テスト オストワルト、ムーン&スペンサーの色彩調和論	2	授業の内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第11回	色彩調和論 2	シュプルール、ルード、ジャッドの色彩調和論、PCCSによる配色	2	授業の内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第12回	配色技法	様々な配色技法	2	授業の内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や4
第13回	色彩と文化	各時代の日本の色彩について	2	授業の内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第14回	色彩計画の実際	Webに使用される色彩について 実際の空間やモノに色彩計画する際のプロセスについて	2	授業の内容について事前に調べる。1 授業を振り返り、疑問に思った点や2
第15回	まとめ	全体まとめ	2	1 15回の授業の復習を行う。8
担当者から				

講義名	色彩学演習						担当教員	宮本 雅子
講義コード	1400940	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	233LVD205							

授業概要

色彩感情や調和理論についての認識を深めるためにポスターカラーやパーソナルコンピュータによる画像処理を利用した色彩表現を行う。また、すべての色はシステム化された記号や数字で示し、各種色度図上に表現できることを理解するため機器類を使用して測色を行う。さらに、生活の中に見られる色彩について興味関心を持ち、評価できる力をつける。

到達目標

- (1) 色料の3原色の混色による色彩表現ができる。
- (2) 色彩の測定方法を理解する
- (3) 実際のモノ、空間の配色について調査し、評価できる。
- (4) 問題のある配色について、コンセプトに基づいた好ましい配色の提案ができる。
- (5) 感覚だけではなく理論に基づいた色彩計画ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	到達目標の(1)色料の3原色の混色による色彩表現ができる、については、課題作品15%、(2)色彩の測定方法を理解する、については、課題作品10%、(3)実際のモノ、空間の配色について調査し、評価できる、については、プレゼンテーション10%、レポート10%、(4)問題のある配色について、コンセプトに基づいた好ましい配色の提案ができる、

課題の提出期限は厳守
授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

「配色カード199a」を色彩調査に使用する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

「デジタル色彩マニュアル」「建築の色彩設計法」等、演習の中で適宜紹介

前提学力等

色彩の表示方法や配色技法について理解していること。色彩学を履修済みであること。

履修資格

講義名	色彩学演習						担当教員	宮本 雅子
講義コード	1400940	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演	
ナンバリング番号	233LVD205							

授業計画								
回数	テーマ	概要				予習 / 復習		
第1回	色料の3原色による混色	色料の3原色(C.M.Y)、白および黒相互間の混色により色票を作成する				2	課題のための宿題	1
第2回	グラデーションを利用したデザイン	コンセプトを設定し、作成した色票のグラデーションを使用してデザイン化する				2	課題のための宿題	1
第3回	測色1	3種類の測色方法をローテーションで行う 測色1 標準色票による測色(Hv/c)				2	課題のための宿題	1
第4回	測色2	測色2 色彩色差計による物体色の測定(XYZ値、Yxy値、L*a*b*値、Hv/c値)、色差の算出				2	課題のための宿題	1
第5回	色彩調査の説明	街並み、道具、服飾の色彩の調査(好ましい配色と好ましくない配色)について説明する				2	課題のための宿題	1
第6回	中間発表	どのような調査の視点で調査をしているのかについて説明				2	課題のための宿題	1
第7回	プレゼンテーション	調査結果のプレゼンテーションと講評を行う				2	課題のための宿題	1
第8回	学外実習	伝統的町並の屋外広告物の色彩調査を行う				2	課題のための宿題	1
第9回	カラーシミュレーションの手順について	フォトショップを利用したカラーシミュレーションの手順について説明する				2	課題のための宿題	1
第10回	カラーシミュレーション	好ましくないと評価した配色に対しての改善案をフォトショップを利用して作成する				2	課題のための宿題	2
第11回	プレゼンテーション	プレゼンテーションと講評を行う				2		
第12回	キャッスルロードのアクセントカラーデザイン	「古い街並みにあったアクセントカラーデザイン」課題の説明				2	課題のための宿題	2
第13回	現状分析およびデザイン要素について	現地の現状分析およびそこから考えられるデザイン要素について各自説明する				2	課題のための宿題	2
第14回	プレゼンテーション	プレゼンテーションと講評を行う				2		
第15回	卒業研究発表会への参加	卒業研究発表会に参加し、様々なデザインに触れる機会とする				2		
担当者から								

講義名	社会調査方法論						担当教員	大野 光明
講義コード	1401130	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	230SOC204, 233MKD281, 235SOC203							

授業概要

本講義では、社会調査の企画・設計から資料・データの収集と整理までの具体的な過程と方法を学び、自分で調査できるだけの具体的な調査技術を身につけることを目的とする。
 社会調査は大きく分ければ、量的調査と質的調査に分けることができる。本講義では、(1)量的調査については、調査票を用いた調査の方法を修得することに重点を置く。具体的には、調査の企画・設計、仮説構成、調査方法の選定(全数調査と標本調査)、標本抽出(無作為抽出、標本数・標本誤差の理解)、調査票と質問文の作成、調査の実施(調査票の配布・回収の方法)、収集されたデータの整理(エディティング、コーディング、データクリーニング)について学ぶ。また、(2)質的調査については、インタビュー調査およびフィールドワークの方法の具体を学び、フィールドワークの作成方法なども修得する。
 講義では、グループワークやグループディスカッションを積極的に取り入れる。

到達目標

- (1) 調査目的・方法・手順および調査問題の選択と仮説の設定について理解することができる。
- (2) 社会調査によって資料やデータを収集し、分析しうる形まで整理していく具体的な方法が理解できる。
- (3) 質問紙の作成についての技術と能力を身につけることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50%	到達目標(1)、(2)、(3)について、最終試験を実施して評価する。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ、課題に替える可能性がある。
レポート課題		
上記以外	50%	到達目標(1)と(2)について、授業中に2回の小課題を設定し、評価する。

小課題(2回)と最終試験を実施する。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染状況をふまえ、最終試験を課題に切り替えることがある。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しない。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	社会調査の基礎	篠原清夫ほか	弘文堂	978-4335551338
2	入門・社会調査法	轟亮・杉野勇	法律文化社	978-4589038173
3	質的社会調査の方法ー他者の合理性の理解社会学	岸政彦ほか	有斐閣	978-4641150379

参考書はその都度紹介する。授業中にレジュメや資料を配布する。

前提学力等

グループワークやグループディスカッションに積極的に参加できる人、苦手であってもチャレンジしてみようという人の参加をお待ちしています。

履修資格

講義名	社会調査論						担当教員	中井 治郎
講義コード	1401140	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	130SOC103, 133LVD107, 135SOC202							

授業概要

社会調査とは、社会事象を人間の社会的な生活連関における意味に即して調査することをいう。本講義では、現代社会において社会的現実を知る有力な手段である社会調査の概要、歴史、種類、問題点など、基本的事項を概説するとともに、その意義について考える。

到達目標

- (1) 社会調査の分類や倫理に関する基本的事項が理解できる。
- (2) 社会調査の歴史や手法に関する知識と理解力を身につけることができる。
- (3) 国勢調査の特徴と課題について自らの考えを述べるができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	学期末に論述式試験を行う。
レポート課題		
上記以外	30%	受講生の理解度を測るために、1～2回程度授業中に小レポートを実施する。

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。ただし、正当な理由があると認められる場合は考慮するので、事前または事後にその旨申し出ること。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用しない。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書はその都度紹介する。必要に応じて授業中にプリント等の資料を配布する。

前提学力等

履修資格

講義名	住環境設計演習						担当教員	佐々木 一泰 / 藤木 庸介
講義コード	1401210	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	233RED225							

授業概要

初歩的な設計演習の第一歩として、構造を意識した木造住宅の設計を学ぶ。
 第1課題では日本の戦後住宅の作品分析と、それをもとにした住宅の設計を行う。特に日本において中心的な構法である木造建築の知識と理解を深め、木造住宅の設計手法を高める。課題である住宅作品を理解したうえで、家族構成やテーマを新たに与え、条件にあった住空間を設計し、新たに増築する。
 第2課題は、ショート課題として小規模な住宅の設計と、そのプレゼンテーションの作成を行う。

到達目標

- (1) それぞれの構造の特徴を理解した住空間の設計ができる。
- (2) 平面図、断面図、立面図を作成することができる。
- (3) 模型による素材や形、空間の表現ができる。
- (4) 構想・設計・プレゼンテーションスキルをトータルに身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	出題課題による評価

授業外学習

課題にあたっての事前調査、エスキースチェック前に各自予め事前作業を行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1	実務初心者からの木造住宅設計図・詳細図の描き方	是永 美樹 他	彰国社	978-4395320059
2	コンパクト建築設計資料集「住居」	日本建築学会	丸善	978-4621076880
3	新しい建築の製図	「新しい建築の製図」編集委員会	学芸出版社	978-4-7615-2375-6

前提学力等

基礎設計製図を履修していること

履修資格

講義名	住環境設計演習						担当教員	佐々木 一泰 / 藤木 庸介	
講義コード	1401210	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	233RED225								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習	
第1回	第0課題：週末住宅の設計-1	週末住宅の設計： 課題出題・フィールドサーベイ，見学（計測+調査），敷地調査・ディスカッション	3		
第2回	第0課題：週末住宅の設計-2	エスキースチェック・ワークショップ	3		
第3回	第0課題：週末住宅の設計-3	エスキースチェック・ワークショップ	3		
第4回	第0課題：週末住宅の設計-4	提出講評 第1課題出題	3		
第5回	第1課題：木造住宅の増築設計-1	住居見学 - レポート課題	3		
第6回	第1課題：木造住宅の増築設計-2	エスキースチェック・ワークショップ , 調査課題+トレース課題	3		
第7回	第1課題：木造住宅の増築設計-3	エスキースチェック・ワークショップ , 調査課題+トレース課題	3		
第8回	第1課題：木造住宅の増築設計-4	中間発表	3		
第9回	第1課題：木造住宅の増築設計-5	住居見学 - レポート課題	3		
第10回	第1課題：木造住宅の増築設計-6	クリティック	3		
第11回	第1課題：木造住宅の増築設計-7	クリティック ・プレゼンチェック	3		
第12回	第1課題：木造住宅の増築設計-8	第1課題講評会 第2課題出題	3		
第13回	第2課題：小規模な住宅課題-2	クリティック	3		
第14回	第2課題：小規模な住宅課題-3	クリティック ・プレゼンチェック	3		
第15回	第2課題：小規模な住宅課題-4	第2課題講評会	3		

担当者から

講義名	住環境設計演習						担当教員	藤木 庸介 / 宮本 雅子
講義コード	1401220	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	233RED321							

授業概要

インテリア空間、並びに、地域や環境を考慮した住空間の設計課題を行う。
必要に応じて、設計の方法、製図の方法、模型制作の方法などを学習する。
随時、具体的な実例を参照し、設計に資する。

到達目標

- (1) 各自で設定したコンセプトに基づいた住空間の設計ができる。
- (2) 空間の各寸法に対する意味を理解する。
- (3) 平面図、展開図、透視図を作成することができる。
- (4) 模型による素材や形の表現ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	課題の成果として提出される図面・模型等およびプレゼンテーションによって評価する(課題 : 50% , 課題 : 50%)。 到達目標の(1)については20%、(2)については20%、(3)については30%、(4)については20%で評価する。

単位取得には、すべての課題を提出することが前提条件となる。
授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初歩からの建築製図	藤木庸介・柳沢究(編著)	学芸出版社	ISBN978-4-7615-2587-3
2				
3				

参考書は授業内に適宜紹介する他、必要に応じてプリントを配布する

前提学力等

基礎設計製図、住環境設計演習 を履修していること

履修資格

講義名	住環境設計演習							担当教員	藤木 庸介 / 宮本 雅子		
講義コード	1401220	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習				
ナンバリング番号	233RED321										

授業計画											
回数	テーマ	概要						予習 / 復習			
第1回	課題 : 集合住宅のリフォーム	課題説明、ベース図面の作図						4			
第2回	課題 : 集合住宅のリフォーム	展開図のトレース、エスキースチェック・ワークショップ						4			
第3回	課題 : 集合住宅のリフォーム	コンセプトの提出、エスキースチェック・ワークショップ						4			
第4回	課題 : 集合住宅のリフォーム	透視図のトレース、図面制作						4			
第5回	課題 : 集合住宅のリフォーム	模型制作説明、図面・模型制作						4			
第6回	課題 : 集合住宅のリフォーム	図面の提出・模型制作						4			
第7回	課題 : 集合住宅のリフォーム	模型制作						4			
第8回	課題 : 集合住宅のリフォーム	課題 講評会・課題 出題						4			
第9回	課題 : 地域や環境を考慮した住空間	地域の調査・ワークショップ						4			
第10回	課題 : 地域や環境を考慮した住空間	エスキースチェック・ワークショップ						4			
第11回	課題 : 地域や環境を考慮した住空間	エスキースチェック・ワークショップ						4			
第12回	課題 : 地域や環境を考慮した住空間	プレゼンテーション制作 ・チェック						4			
第13回	課題 : 地域や環境を考慮した住空間	プレゼンテーション制作 ・チェック						4			
第14回	課題 : 地域や環境を考慮した住空間	プレゼンテーション制作 ・チェック						4			
第15回	課題 : 地域や環境を考慮した住空間	課題 講評会						4			
担当者から											

講義名	住環境設計演習						担当教員	佐々木 一泰 / 藤木 庸介 / 木村 博昭
講義コード	1401230	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	333RED322							

授業概要

住空間においてより広い視野を養う。第1課題では居住空間と公共性をもつ非居住空間を併用した建築物を計画する。それぞれの空間の特性を理解し、それぞれの設計条件を考慮した空間を考える。第2課題では、より社会性をもつ住空間として、社会性を反映した空間の設計を行う。地域や様々な家族構成、利用者のスケールを観察・理解し、周囲の外構空間や共用空間、個別空間に反映させる

第1課題では、フィールドサーベイ・住宅設計・店舗設計・ビジュアルコミュニケーションデザインを、第2課題では、上記に加え社会性のある課題をテーマに据え、さらに実務的な設計手法を学ぶ。それぞれの課題では、構想・設計・プレゼンテーションスキルをトータルに身につけることを目指す。

近年、資格関連の受験科目も住宅のみの出題に留まらず、店舗や施設の併用住宅の出題が多い。また、住宅メーカーも住宅から非住宅の建設や設計に幅を拡げつつある。この演習では、より社会的な視点で住空間を中心としながら、それぞれの空間を構想し、より広い視点で地域や社会の中の住環境を構想する。

到達目標

- (1) それぞれの構造の特徴を理解した住空間の設計が出来る。
- (2) 周辺環境を理解した住空間の提案が出来る。
- (3) 平面図、断面図、立面図を作成することができる。
- (4) 模型による素材や形、空間の表現ができる。
- (5) 構想・設計・プレゼンテーションスキルをトータルに身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	提出課題による評価

授業外学習

課題にあたっての事前調査、エスキースチェック前に各自予め事前作業を行う。また適宜、小課題を出題し、授業時間内に完成させる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初めての建築設計ステップ・バイ・ステップ	川北 健雄 他	彰国社	978-4395241217
2	コンパクト建築設計資料集「住居」	日本建築学会	丸善	978-4621076880
3				

前提学力等

基礎設計製図、住環境設計演習を履修していること。

履修資格

講義名	住環境設計演習							担当教員	佐々木 一泰 / 藤木 庸介 / 木村 博昭
講義コード	1401230	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	333RED322								

授業計画								
回数	テーマ	概要					予習 / 復習	
第1回	課題1-1：公共性をもつ住空間	課題出題，敷地調査					3	
第2回	課題1-2：公共性をもつ住空間	ディスカッション： 敷地カルテ・ボリュームスタディ					3	
第3回	課題1-3：公共性をもつ住空間	エスキスチェック： ボリュームスタディ，敷地模型制作					3	
第4回	課題1-4：公共性をもつ住空間	エスキスチェック： 個室のデザイン提出					3	
第5回	課題1-5：公共性をもつ住空間	エスキスチェック					3	
第6回	課題1-6：公共性をもつ住空間	クリティック： 最終提出図面・模型制作					3	
第7回	課題1-7：公共性をもつ住空間	クリティック： プレゼンチェック					3	
第8回	課題1-8：公共性をもつ住空間： 講評	公共性をもつ住空間：講評会 公共性をもつ住空間：課題出題、説明					3	
第9回	課題2-2：公共性をもつ住空間	敷地見学＋講義					3	
第10回	課題2-3：公共性をもつ住空間	ディスカッション					3	
第11回	課題2-4：公共性をもつ住空間	草案・敷地模型製作					3	
第12回	課題2-5：公共性をもつ住空間	草案					3	
第13回	課題2-6：公共性をもつ住空間	草案					3	
第14回	課題2-7：公共性をもつ住空間	プレゼン製作チェック					3	
第15回	課題2-8：公共性をもつ住空間	公共性をもつ住空間：講評会					3	
担当者から								
後半は関西で活躍する建築家が非常勤講師として演習を進めます。								

講義名	住環境論						担当教員	宮本 雅子
講義コード	1401250	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	333RED221							

授業概要

超高齢社会に突入した今日、建築の分野では高齢者・障害者にとって好ましい住環境について理解することは避けて通れない。そこで、まず高齢社会における住宅の考え方を理解し、高齢者・障害者に対応した住まいの条件について知る。また、住環境の中でも室内の物理的環境である熱、空気、光を取り上げ、人間と物理量との関係から快適な居住環境をつくりだすための条件を導き出すとともに、自然環境を積極的に利用した室内の環境づくりについて講義する。

到達目標

- (1)空間デザインの中に活かせる知識を得る。
- (2)環境条件の評価ができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標の(1)空間デザインの中に活かせる知識を得る、については、期末試験40%
レポート課題	10	到達目標の(2)環境条件の評価ができるについては、レポート10%
上記以外	50	到達目標の(1)空間デザインの中に活かせる知識を得る、については、レスポンスペーパー20%、(2)環境条件の評価ができるについては、小テスト30%

レポート1回、小テスト2回、宿題を課すことがある。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	図説建築環境	松原斎樹他	学芸出版社	9784761526634
2	コンパクト建築設計資料集バリアフリー	日本建築学会編	丸善	9784621070109
3				

講義の中で適宜紹介。

前提学力等

履修資格

講義名	消費科学						担当教員	松永 伸洋 / 永野 暁 / 上田 良行 / 佐藤 忠義
講義コード	1401350	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	233FSD262							

授業概要

繊維に関する基礎知識（繊維、糸、布地、染色加工）および衣料品の企画・設計・製造・苦情事例と解析に関する基本事項を習得する。

到達目標

- (1) 繊維製品の企画および使用に係る問題を考察するための基礎的能力を養う。
(2) 望ましくは、繊維製品品質管理士（TES）の資格試験における当該科目の問題に対応できる程度の能力を身につけること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	60%	定期試験および下記講義後の小テストの合計点（最終評価点）が、満点の60%以上の得点を合格点とする。
レポート課題		レポート課題の得点を定期試験の一部に組み込むこともある。
上記以外	40%	各講義の後で小テストを行う。（1～2時限に1回程度）

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキストは各講師が作成し、講義前に配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	繊維製品の基礎知識シリーズ新訂4版 第1,2,3部	日本衣料管理協会刊行委員会編	日本衣料管理協会	
2	繊維製品の品質問題究明ガイドPart 1	日本衣料管理協会出版部編	日本衣料管理協会	
3	繊維製品品質管理士試験問題集(2019-2021年度)	日本衣料管理協会刊行委員会編	日本衣料管理協会	

TES受験にあたり、役に立ちます。受験される場合は

前提学力等

履修資格

講義名	消費科学						担当教員	松永 伸洋 / 永野 暁 / 上田 良行 / 佐藤 忠義		
講義コード	1401350	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義			
ナンバリング番号	233FSD262									

授業計画											
回数	テーマ	概要					予習 / 復習				
第1回	繊維・糸・布地に関する基礎知識	繊維に関する基礎知識	天然繊維について			90分					
第2回	繊維・糸・布地に関する基礎知識	繊維に関する基礎知識	化学繊維について			90分					
第3回	繊維・糸・布地に関する基礎知識	繊維に関する基礎知識	繊維の一般的性質			90分					
第4回	繊維・糸・布地に関する基礎知識	糸に関する基礎知識	紡績糸の作り方			90分					
第5回	繊維・糸・布地に関する基礎知識	糸に関する基礎知識	加工糸の概要			90分					
第6回	繊維・糸・布地に関する基礎知識	布地に関する基礎知識	織物組織と特徴			90分					
第7回	繊維・糸・布地に関する基礎知識	布地に関する基礎知識	ニット、不織布について作り方と特徴			90分					
第8回	染色加工	染色加工	準備・染色について			90分					
第9回	染色加工	染色加工	色合わせ・仕上げ加工について			90分					
第10回	色に関する苦情事例解析	色に関する苦情事例解析	事例紹介と解説			90分					
第11回	色に関する苦情事例解析	色に関する苦情事例解析	実物を用いた解析			90分					
第12回	衣料品の企画・設計	衣料品の企画・設計	アパレルの商品企画			90分					
第13回	衣料品の製造	衣料品の製造	縫製工程について			90分					
第14回	縫製・安全性・表示等に関する事例解析	縫製・安全性・表示等に関する事例解析	事例紹介と解説			90分					
第15回	縫製・安全性・表示等に関する事例解析	縫製・安全性・表示等に関する事例解析	繊維製品の表示に関する解説			90分					
担当者から											

講義名	消費科学						担当教員	松永 伸洋 / 永野 暁 / 上田 良行	
講義コード	1401360	単位数	2	開講期	前期前半	授業方法	講義		
ナンバリング番号	333FSD361								

授業概要

消費科学 に引き続き、繊維製品の品質管理、要求品質とその評価方法ならびに消費者行動、消費者問題、家庭用繊維製品の流通・消費過程、消費者苦情・環境問題について学習する。さらに消費者苦情事例から苦情原因の究明、改善・再発防止対策を考え、また繊維産業・繊維製品に関する時宜を得た話題について、論文の実践的な書き方を学習する。

到達目標

- (1) 繊維製品、主として衣料品の品質管理の実施、要求品質・性能の内容ならびに流通・消費者問題について理解できるようにする。
- (2) 繊維製品品質管理士 (T E S) の資格試験を受験できるレベルに到達するように学習する。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験	60%	定期試験と小テスト (「 上記以外 」 参照) の得点を 6 : 4 の割合で総合評価し、60 点以上を合格とする。
レポート課題		事例問題、論文については小テストに代えてレポート提出で評価するが、得点は小テストに繰り入れる。
上記以外	40%	原則として、各講義の後に小テストを行う。事例研究や論文については、小テストに代えてレポート提出で評価する。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講師が作成したテキストを使用する。テキストは初回の授業で配布する。その他必要に応じてプリントを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	繊維製品の基礎知識シリーズ 新訂4版第1,2,3部	日本衣料管理協会刊行委員会編	日本衣料管理協会	
2	繊維製品の品質問題究明ガイドPart 1	日本衣料管理協会	日本衣料管理協会	
3	試験問題集 (註 : 過去3年分の問題と解答)	日本衣料管理協会	日本衣料管理協会	

TES受験にあたり上記3

前提学力等

履修資格

講義名	消費科学					担当教員	松永 伸洋 / 永野 暁 / 上田 良行		
講義コード	1401360	単位数	2	開講期	前期前半	授業方法	講義		
ナンバリング番号	333FSD361								

授業計画										
回数	テーマ	概要				予習/復習				
第1回	品質管理と品質保証	品質管理とは				90分				
第2回	品質管理と品質保証	品質管理の手法				90分				
第3回	衣料品などの消費性能と試験方法	耐久性(初期性能の持続性) 丈夫さ、寸法安定性(収縮、伸び、変形)、変退				90分				
第4回	衣料品などの消費性能と試験方法	取扱い利便性 洗濯、アイロンがけ、保管				90分				
第5回	衣料品などの消費性能と試験方法	快適性(着心地のよさ) 肌触り・風合い、被服圧				90分				
第6回	衣料品などの消費性能と試験方法	特殊性能 難燃性、撥水撥油性、紫外線カット性、耐薬品性、制電性、抗菌				90分				
第7回	消費者行動とその調査方法	消費者はどのような動機で買い物をするか 商品の分類				90分				
第8回	消費者問題と消費者行政	不当景品類および不当表示防止法 家庭用品品質表示法				90分				
第9回	経済変化と衣料の流通・消費	繊維産業(製造・流通)の実態 販売業種、販売業態など				90分				
第10回	衣料品の消費と消費者苦情	衣料品の消費と損耗過程 家庭洗濯、商業クリーニングの実態と苦情				90分				
第11回	衣料品の消費と消費者苦情	消費者苦情の実態と発生要因 品質表示(取扱い絵表示)とサイズ表示				90分				
第12回	衣料品の環境問題	廃棄物処理とリサイクルの推進 環境問題に対する製造、加工技術の取り組み				90分				
第13回	損傷・形態変化などに関する苦情事例	衣料の破れ、収縮、伸び、しわ、ピリングなどの苦情事例につて、原因の究明と再発予防対策を学習する。				90分				
第14回	繊維産業、繊維製品に関する論文の書き方	時宜を得た問題を提示して、簡潔で要旨一貫した論文の書き方を学習する。				90分				
第15回	事例問題・論文の添削、解説	全体結果の講評				90分				
担当者から										

講義名	行動デザイン論[消費者行動論]						担当教員	山田 歩
講義コード	1401370	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	333MKD281							

授業概要

「〇〇してください」や「〇〇禁止」などと呼びかけても、人はなかなか行動を変えてくれません。思い通りに動かない相手（顧客、住民、生活者）を無理なく自然に動かすにはどのように働きかけたらよいのでしょうか。社会心理学や行動経済学などから得られる行動インサイトと、生活者調査から得られる生活者インサイトを組み合わせながら、「人を動かす」コミュニケーションの理論と応用を学びます。

到達目標

1. 行動デザインの考え方を理解する。
2. 行動デザインの知識をもちいて、現実の生活課題や社会課題を分析できる。
3. 行動デザインの知識をもちいて、現実の生活課題や社会課題を解決できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業課題への取り組み（事例収集・事例分析・提案などの報告課題があります）

3回以上欠席した者は評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	選択と誘導の認知科学	山田歩	新曜社	
2	ナッジ・行動インサイト ガイドブック	白岩裕子・池本忠弘・荒川歩・森祐介	勁草書房	
3	実践 行動経済学	セイラー・サンスティーン	日経BP社	

前提学力等

履修資格

講義名	行動デザイン論[消費者行動論]						担当教員	山田 歩
講義コード	1401370	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	333MKD281							

授業計画							
回数	テーマ	概要			予習 / 復習		
第1回	仕掛け学(1)	仕掛け学の基本について概説する			2	下記指定文献を読み、事前知識を得 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2	
第2回	仕掛け学(2)	仕掛け学の仕組みについて概説する			2	下記指定文献を読み、事前知識を得 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2	
第3回	仕掛け学(3)	仕掛けの発想法について概説する			2	下記指定文献を読み、事前知識を得 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2	
第4回	仕掛け学(4)	仕掛けを考える1：受講生によるアイデアの発表			2	生活課題を見つけ、それを解決する 発表に対するコメントをふまえ、ア2	
第5回	仕掛け学(5)	仕掛けを考える2：受講生によるアイデアの発表			2	生活課題を見つけ、それを解決する 発表に対するコメントをふまえ、ア2	
第6回	行動インサイト(1)	行動インサイトの説明1			2	下記指定文献を読み、事前知識を得 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2	
第7回	行動インサイト(2)	行動インサイトの説明2			2	下記指定文献を読み、事前知識を得 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2	
第8回	行動インサイト(3)	行動インサイトの使い方：EAST			2	下記指定文献を読み、事前知識を得 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2	
第9回	行動インサイト(4)	行動インサイトの使い方：EAST			2	下記指定文献を読み、事前知識を得 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2	
第10回	行動インサイト(5)	行動インサイトの使い方：EAST			2	下記指定文献を読み、事前知識を得 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2	
第11回	行動インサイト(6)	行動インサイトの使い方：EAST			2	下記指定文献を読み、事前知識を得 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2	
第12回	行動インサイト(7)	行動インサイトをめぐる問題			2	下記指定文献を読み、事前知識を得 2	
第13回	行動インサイト(8)	行動インサイトで課題を解決する1			2	生活課題を見つけ、それを解決する 発表に対するコメントをふまえ、ア2	
第14回	行動インサイト(9)	行動インサイトで課題を解決する2			2	生活課題を見つけ、それを解決する 発表に対するコメントをふまえ、ア2	
第15回	行動インサイト (10)	行動インサイトで課題を解決する3			2	生活課題を見つけ、それを解決する 発表に対するコメントをふまえ、ア2	
担当者から							

講義名	心理学基礎						担当教員	谷口 友梨
講義コード	1401540	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	133LVD105, 134NUT106, 135PSY201							

授業概要

現代心理学の基本的なテーマについて解説する。人間の行動の仕組みや行動の予測、制御のメカニズム、人間発達の原理や人格形成の理論などのテーマをとりあげる。心理学的なアプローチにより人間を理解しようとするための基礎的な知識や考え方を身に着けることを目的とする。

到達目標

- (1) 人の思考や行動、社会生活などを支える心の仕組みの基礎について理解を深める。
- (2) 人の心の仕組みを明らかにし、社会に活かそうとする科学的なアプローチについて理解を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	70%	授業でとりあげたトピックについての課題認識および心理学の多様な内容と方法への理解によって評価する。
レポート課題		
上記以外	30%	授業の内外で提出を求める課題によって、受講者なりの理解や問題設定ができているかを評価する。

授業時に実験や質問紙調査などの心理学的な研究手法の体験学習をとりいれることがあるので、積極的な参加を求める。

授業外学習

参考書や授業中に紹介する資料・ウェブサイト等を読み、授業内容についてより深く理解できるように努めることが望ましい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	心理学・入門 - 心理学はこんなに面白い - 改訂版	サトウタツヤ・渡邊芳之	有斐閣	9784641221383
2				
3				

授業中に講義資料を配布し、それを使用しながら授業を展開する。また、各回のテーマごとに、適宜、授業中に参考書を紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	心理学基礎						担当教員	谷口 友梨
講義コード	1401540	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	133LVD105, 134NUT106, 135PSY201							

授業計画

回数	テーマ	概要	予習/復習	
第1回	心理学とは	心理学の歴史や、領域・研究手法の多様性について学ぶ。	2	「心理学」とはどのような学問であ 次回授業までに、講義資料を通読
第2回	感覚・知覚	人が外界からの刺激をどのように受け取っているかを学ぶ。	2	「感覚・知覚」について、参考書な 次回授業までに、講義資料を通読
第3回	記憶	記憶に関わる諸現象と、それらの現象を支える心の仕組みについて学 ぶ。	2	「記憶」について、参考書などを 次回授業までに、講義資料を通読
第4回	情報処理の特徴	人間の情報処理の特徴について学ぶ。	2	「ATISモデル」「スキーマ」につい 次回授業までに、講義資料を通読
第5回	思考	人の推論、判断、意思決定の特徴について学ぶ。	2	「思考」について、参考書などを 次回授業までに、講義資料を通読
第6回	学習	生物の行動の仕組みの基礎について学ぶ。	2	「学習」について、参考書などを 次回授業までに、講義資料を通読
第7回	複雑な学習	生物の行動が経験を通じて変化する仕組みについて学ぶ。	2	「高次条件づけ」について、参考書 次回授業までに、講義資料を通読
第8回	感情	感情が喚起される仕組みや、機能について学ぶ。	2	「感情」について、参考書などを 次回授業までに、講義資料を通読
第9回	言語	人の言語活動を支える心の仕組みについて学ぶ。	2	「言語」について、参考書などを 次回授業までに、講義資料を通読
第10回	人格（パーソナリティ）	人の個人差を記述し、理解しようとする心理学の試みについて学ぶ。	2	「人格（パーソナリティ）」につい 次回授業までに、講義資料を通読
第11回	環境と心	人の行動を決定する要因について学ぶ。	2	「アイヒマン実験」について、参考 次回授業までに、講義資料を通読
第12回	集団・社会	集団・社会生活を行う中で生じる現象を理解しようとする心理学の試 みについて学ぶ。	2	「集団」について、参考書などを 次回授業までに、講義資料を通読
第13回	発達	発達に伴って変化していく人の心の特徴について学ぶ	2	「発達」について、参考書などを 次回授業までに、講義資料を通読
第14回	心理臨床	心の病理を理解し、治療に役立てようとする心理学の試みについて学 ぶ。	2	「心理臨床」について、参考書など 次回授業までに、講義資料を通読
第15回	まとめ	講義で扱った様々な概念の関係性について俯瞰しつつ、発展的な学習 に向けた紹介を行う。	2	第1回～第14回までの講義資料につ これまでの講義資料の内容を通読
担当者から				

講義名	生活経営論/						担当教員	山田 歩
講義コード	1401560	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	333MKD282, 234NUT371, 335LAH308							

授業概要

私たちを取りまく生活環境を学び、私たちの生活をよりよくマネジメントする力とそれらを改善する力を身につけます。授業の前半では、ソーシャルデザインの考え方を事例を通して学びます。後半では、実際に身の回りの生活課題を見つめ直すとともに、それらを解決するアイデアを自ら考えます。

到達目標

1. 私たちを取りまく生活環境を理解したか
2. 生活者が抱える課題を発見し、それらを解決する力を身につけたか

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100	社会や生活者が抱える課題を発見する力、また、それらを解決する力について評価する。
上記以外		

3回以上欠席した場合、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	アイデアは地球を救う。希望をつくる仕事 ソーシャルデザイン	ソーシャルデザイン会議実行委員会	宣伝会議	
2	Communication Shift	並河進	羽鳥書店	
3	ソーシャルデザイン	グリーンズ	朝日出版社	

前提学力等

履修資格

講義名	生活経営論/							担当教員	山田 歩
講義コード	1401560	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	333MKD282, 234NUT371, 335LAH308								

授業計画										
回数	テーマ	概要							予習/復習	
第1回	アイデアの作り方	ソーシャルデザインの発想法を解説							2	下記指定文献を読み、事前知識を得 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2
第2回	環境	地球環境 消費社会							2	下記指定文献を読み、事前知識を得 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2
第3回	環境	地球環境 消費社会							2	下記指定文献を読み、事前知識を得 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2
第4回	家族	人口と世帯の変化 結婚・夫婦関係							2	下記指定文献を読み、事前知識を得 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2
第5回	家族	人口と世帯の変化 結婚・夫婦関係							2	下記指定文献を読み、事前知識を得 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2
第6回	家族	人口と世帯の変化 結婚・夫婦関係							2	下記指定文献を読み、事前知識を得 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2
第7回	健康	健康 悩み							2	下記指定文献を読み、事前知識を得 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2
第8回	健康	健康 悩み							2	下記指定文献を読み、事前知識を得 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2
第9回	地域社会	地域や人とのかかわり方 地域の安全・安心対策							2	下記指定文献を読み、事前知識を得 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2
第10回	地域社会	地域や人とのかかわり方 地域の安全・安心対策							2	下記指定文献を読み、事前知識を得 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2
第11回	プレゼンテーション	生活課題・社会課題の改善策について提案する							2	自ら社会課題を見つけ、それを解決 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2
第12回	プレゼンテーション	生活課題・社会課題の改善策について提案する							2	自ら社会課題を見つけ、それを解決 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2
第13回	プレゼンテーション	生活課題・社会課題の改善策について提案する							2	自ら社会課題を見つけ、それを解決 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2
第14回	プレゼンテーション	生活課題・社会課題の改善策について提案する							2	自ら社会課題を見つけ、それを解決 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2
第15回	プレゼンテーション	生活課題・社会課題の改善策について提案する							2	自ら社会課題を見つけ、それを解決 講義を踏まえ、発展的学習を行う。2
担当者から										

講義名	生活デザイン基礎演習[生活造形基礎演習]						担当教員	印南 比呂志/森下 あおい/佐々木 一泰/ 横田 尚美/山田 歩/徐 慧
講義コード	1401580	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	133LVD202							

授業概要

あらゆるデザイン活動の基礎となる「観察力」「表現力」を、制作と作文を通して学ぶ。思考から制作に至るまでのプロセスや柔軟な発想と表現力を身につける。確かな基礎造形力を身につけることで、その後の専門性を最大限に高めてゆくことを目指す。

到達目標

(1) 発想力、(2) 構成力(3) 表現力を習得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回での課題成果を評価する。レポート的な課題も含まれる。

3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。未提出がある場合は不認定。

授業外学習

授業時間外での制作が必要となる課題もあるため、計画的な時間の使い方が必要となる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	生活デザイン基礎演習[生活造形基礎演習]						担当教員	印南 比呂志/森下 あおい/佐々木 一泰/ 横田 尚美/山田 歩/徐 慧	
講義コード	1401580	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	133LVD202								

授業計画										
回数	テーマ	概要				予習/復習				
第1回	オリエンテーション	ものを企画、アイデア、造形構築を行うためのプロセスや発想方法をゲーム方式でトレーニングする。				3	文章を書く、絵を描く、モノをつくる 授業で行った内容を振り返って、検			1 2
第2回	デザイン・ライティングA	ライターはデザイナーと似ている。「ひと・もの・こと」を観察、分析・再定義し、新しい視点から表現をおこなう。本演習は、デザイン				3	本、新聞記事、キャッチコピーなど 授業で行った内容を振り返って、検			1 2
第3回	デザイン・ライティングB	ライターはデザイナーと似ている。「ひと・もの・こと」を観察、分析・再定義し、新しい視点から表現をおこなう。本演習は、デザイン				3	本、新聞記事、キャッチコピーなど 授業で行った内容を振り返って、検			1 2
第4回	ヴィジョンインモーション課題A	線のスタディ（線による表現力を鍛える） ：筆と炭を使って、一本の線の様々な表情を作る。				3	周りの線を観察する。 線の表情を覚える。			1 2
第5回	ヴィジョンインモーション課題B	点のスタディ（距離感を観る目を鍛える） ：1mmの点をピンセットで移動してグラデーションを作る。				3	印刷物の文字の間隔などを観察す 配置する際の距離の感覚を覚える。			1 2
第6回	モデリング課題A	立体は住居・服飾・道具に関わる仕組みであり、立体物を理解することは、デザインを理解する事につながる。演習では立体物を観察、計				3	事前プリントをよく読み、理解して 授業内容を理解し、検証して、			1 2
第7回	モデリング課題B	理解した立体物の仕組みに、着色し、素材や色彩の効果を確認し理解する。同じ立体物でも素材や色彩効果によって、受ける印象が異なる				3	事前プリントをよく読み、理解して 授業内容を理解し、検証して、			1 2
第8回	デザイン・リサーチA	良いデザイナーは良いリサーチャーでもある。フィールド調査や文献調査によって、情報を収集・整理・分析することは、良いデザイン実				3	滋賀県立大学の建築や大学周辺の環 授業で行った内容を振り返って、検			1 2
第9回	デザイン・リサーチB	良いデザイナーは良いリサーチャーでもある。フィールド調査や文献調査を通して、情報を収集・整理・分析することは、良いデザイン実				3	前回の演習の成果をもとに、「滋賀 授業で行った内容を振り返って、			1 2
第10回	ヴィジュアルコミュニケーション課題A	形のスタディ（異なる図形間による距離や強弱を表現する力を鍛える）				3	周りの形を観察する。 形を構成する要素を覚える。			1 2
第11回	ヴィジュアルコミュニケーション課題B	色のスタディ：色の差異を見極める力を鍛える ：印刷物（雑誌、新聞、チラシなど）の色から、同じ明度のかたまり				3	印刷物の色を観察する。 色の明度を覚える。			1 2
第12回	空間構成課題A	空間は住居だけにあるものではない。平面や立体、服飾や道具にも共通する概念である。この課題では空間構成を行うことで、空間の仕組				3	事前プリントをよく読み、理解して 授業内容を理解し、検証して、			1 2
第13回	空間構成課題B	作成した空間構成の表現は、空間を二次元に置き換える作業ともいえる。空間の表現を通じて、空間の仕組みを学び、空間の効果について				3	事前プリントをよく読み、理解して 授業内容を理解し、検証して、			1 2
第14回	総合造形課題A	生活デザインを取り巻く多彩な手法について学んできた。この課題ではこれまでの手法や知識を基に、総合的に造形する課題を行う。				3	事前プリントをよく読み、理解して 授業内容を理解し、検証して、			1 2
第15回	総合造形課題B	生活デザインを取り巻く多彩な手法について学んできた。この課題ではこれまでの手法や知識を基に、総合的に造形する課題を行う。				3	事前プリントをよく読み、理解して 授業内容を理解し、検証して、			1 2
担当者から										
全ての課題は、一人で行う作品づくりではなく、多くの人の意見を聴きながら考察する造形感覚を鍛えるトレーニングです。										

講義名	生活素材論						担当教員	東山 幸央
講義コード	1401620	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	233FSD261							

授業概要

私達消費者の立場で衣服を着用する場合、1. デザイン 2. 色柄 3. 着心地 が悪くなければ気に入る。しかし、それだけでよいのだろうか。デザインしたり、制作したりする立場では、素材をよく知り、それを十分に生かす使い方のできる能力が要求される。そこで、本講義では、生活に多く用いられる素材である繊維に焦点をあて、繊維の種類、構造、性能の概要を解説する。

到達目標

- (1) 商品を開発する上で、「素材（材料）」の特徴を「デザイン」に活かす必要性・重要性を理解することができる。
- (2) 衣服などの繊維製品の素材がどのような意味を持って使われているのかを知ることができる。
- (3) 繊維原料から布地になるまでの工程を理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	80	講義内容から特に重要な項目を出題。採点の80/100とレポート点を合算して成績評価を行う。
レポート課題	20	出題テーマについて、講義で学んだ知見が生かされているかなどの観点から採点を行い、定期試験点数と合算して成績評価を行う。
上記以外		

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない

授業外学習

身の回りにある素材を題材にした講義です。予習や復習を積極的に行って頂く必要はありませんが、講義で習ったことを日常生活の中で意識することが最大の復習になります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	生活デザイン学外演習						担当教員	学科教員/印南 比呂志/宮本 雅子/ 森下 あおい/佐々木 一泰/藤木 庸介/ 横田 尚美/山田 歩/徐 慧
講義コード	1401630	単位数	2	開講期	通年集中	授業方法	演習	
ナンバリング番号	233LVD207-C							

授業概要

地域や社会において、よりよい生活環境を実現するために何が問題なのかを明らかにする。問題に取り組む意識や立場、有効な手法を議論し、その解決方法を検討し、レポートの作成、具体的な提案や発表、制作等を行う。授業は具体的な課題やテーマに即し、フィールドワークを中心として行われる。

到達目標

地域、社会に関わる問題について専門的視点から分析、考察し、解決・提案できる総合的な生活デザイン能力の習得をめざす。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

--

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時間内に適宜紹介

前提学力等

--

履修資格

--

講義名	木匠塾（生活デザイン）						担当教員	佐々木 一泰
講義コード	1401635	単位数	2	開講期	通年集中	授業方法	演習	
ナンバリング番号	233RED226							

授業概要

日本は国土の約7割を森林が占めている森林国であり、日本には木を生活の中に活かしコントロールする技術がある。しかし現在日本の森林は大きな問題を抱えている。そこで、木-山-木造について、広い視野に立ち、実地に学ぶことを目指す。ここでは木材等の生物材料を中心として用いることで木材の知識・技術・歴史背景などを学び、構築物を学生主体で設計・制作することによって、素材の特性、利用方法、加工技術、木組み、ディテール（収まり）などを総合的に学習する。活動拠点となる地域は、加子母（岐阜県中津川市）、川上村（奈良県）、多賀町（滋賀県）の中から選択する。主な実施製作の期間は、夏季2週間程度を予定しているが、活動拠点によっては、その他の時期でも活動を行う。制作のための設計は、地元の方々と協力交流を行いながら進め、指導も受けることができる。また木匠塾には、他大学の学生の参加もあり、大学を超えた活動も期待できる。

到達目標

- (1)木造の知識・技術・歴史背景を理解し、基本的な設計技術を習得する。
- (2)地域に必要とされる構築物の設計を提案できる。
- (3)木材加工のための工具を巧みに使用できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100	成績評価は、設計と制作での取り組み態度（パフォーマンス）によって評価し、到達目標で示す(1)については30%、(2)については30%、(3)については40%で評価する

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	木匠塾(生活デザイン)						担当教員	佐々木 一泰
講義コード	1401635	単位数	2	開講期	通年集中	授業方法	演習	
ナンバリング番号	233RED226							

授業計画							
------	--	--	--	--	--	--	--

回数	テーマ	概要	予習 / 復習				
第1回	ガイダンス	活動拠点を、加子母、川上村、多賀の各木匠塾の中から選択し、決定する。	3				
第2回	第2～10回	現地視察・制作物の内容検討・基本設計・ 現地関係者へのプレゼン。	27				
第25回	第25～30回	報告書の作成・全体報告会による発表。	18				

担当者から							
生活デザイン学科科学生用、各活動場所には定員があり抽選の場合もあるので注意。							

講義名	生活デザイン論						担当教員	学科教員/印南 比呂志/宮本 雅子/ 森下 あおい/佐々木 一泰/藤木 庸介/ 横田 尚美/山田 歩/徐 慧
講義コード	1401640	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	233LVD201							

授業概要

生活デザイン学科では道具・住居・服飾という3分野を中心に学んでいる。この授業では生活におけるデザインの役割について、各分野それぞれにテーマを設け、生活の中にあるさまざまなデザインや知恵、技術を拾い出す。また、これからの生活デザインと各分野のあり方について考察を行い、ひとつの分野からは見えにくい横断的な視点を養う。また各分野ごとにゲストを招聘して講義を行う。

到達目標

- (1) 生活におけるデザインの役割という視点での知識を深め、その背景、価値を理解できるようにする。
- (2) 生活に関わるデザインの各分野について基礎的な知識を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業参加度とレポート課題

授業外学習

事前に各講義テーマで発表される事前情報を収集し、講義後生活デザインのあり方についての考察を行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

なし

履修資格

講義名	生活デザイン論						担当教員	学科教員/印南 比呂志/宮本 雅子/ 森下 あおい/佐々木 一泰/藤木 庸介/ 横田 尚美/山田 歩/徐 慧
講義コード	1401640	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	233LVD201							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習/復習	
第1回	授業概要・ガイダンス	生活デザイン論の概要	2		1 2
第2回	ガイダンス2	生活デザイン学科について			
第3回	住居-1	住居分野について 1			
第4回	住居-2	住居分野について 2			
第5回	住居-3	住居分野について 3			
第6回	住居-4	住居分野について 4			
第7回	学外見学	住まいの設備を見学			
第8回	マーケティング-1	マーケティング分野について 1			
第9回	道具-1	道具分野について1			
第10回	道具-2	道具分野について2			
第11回	道具-3	道具分野について3			
第12回	服飾-1	服飾分野について 1			
第13回	服飾-2	服飾分野について 2			
第14回	服飾-3	服飾分野について 3			
第15回	まとめ	生活デザイン論まとめ			
担当者から					

講義名	生活デザイン論演習						担当教員	学科教員/印南 比呂志/宮本 雅子/ 森下 あおい/佐々木 一泰/藤木 庸介/ 横田 尚美/山田 歩/徐 慧
講義コード	1401690	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	333LVD302							

授業概要

学生各自の卒業制作・卒業論文に向けて、生活デザインのそれぞれの分野に関して既存の成果を概観するとともに、研究方法、制作方法、調査方法などを修得し、必要な文献や資料を集め、また必要な現地調査などを行うなど、各自の課題や問題に応じて演習を行う。

到達目標

卒業研究で取り組むべき課題の意義について述べることができる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時間内に適宜紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	生活デザイン論演習						担当教員	学科教員 / 印南 比呂志 / 宮本 雅子 / 森下 あおい / 佐々木 一泰 / 藤木 庸介 / 横田 尚美 / 山田 歩 / 徐 慧
講義コード	1401701	単位数	3	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	333LVD303							

授業概要

学生各自の卒業制作・卒業論文に向けて、生活デザインのそれぞれの分野に関して既存の成果を概観するとともに、研究方法、制作方法、調査方法などを修得し、必要な文献や資料を集め、また必要な現地調査などを行うなど、各自の課題や問題に応じて演習を行う。

到達目標

- (1) 卒業研究で取り組む課題領域についての知識を深める。
- (2) 課題を達成するための研究方法、制作方法、調査方法などを修得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業時間内に適宜紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	卒業研究・制作／論文（生活デザイン）						担当教員	学科教員／印南 比呂志／宮本 雅子／森下 あおい／佐々木 一泰／藤木 庸介／横田 尚美／山田 歩／徐 慧
講義コード	1401802	単位数	4	開講期	前期研究	授業方法	卒業	
ナンバリング番号	433LVD401							

授業概要

卒業制作と卒業論文の課題については、生活デザイン専門分野の中から学生自身が担当教員の指導の下に決定し、それぞれの課題に従って制作あるいは論文の作成を行う。卒業制作を行う学生は、制作の他にその内容を説明し、補強する研究報告を同時に提出しなければならない。研究は以下のような手順を進める。
担当教員の指導により、卒業研究のテーマをかためて研究をすすめる。
研究発表会で、卒業研究の中間発表を行う。

到達目標

各自がそれぞれ課題としたテーマについて自信を持って発表できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

指導教員が適宜指示する

前提学力等

履修資格

講義名	卒業研究・制作／論文（生活デザイン）						担当教員	学科教員／印南 比呂志／宮本 雅子／森下 あおい／佐々木 一泰／藤木 庸介／横田 尚美／山田 歩／徐 慧
講義コード	1401805	単位数	4	開講期	後期研究	授業方法	卒業	
ナンバリング番号	433LVD402							

授業概要

卒業制作と卒業論文の課題については、生活デザイン専門分野の中から学生自身が担当教員の指導の下に決定し、それぞれの課題に従って制作あるいは論文の作成を行う。卒業制作を行う学生は、制作の他にその内容を説明し、補強する研究報告を同時に提出しなければならない。最終的には卒業研究の成果を発表する展示および口頭発表会を開催し、成果をまとめた卒業研究報告集を刊行する。

研究は以下のような手順で進める。

担当教員の指導により、また前期研究発表会での学科教員の助言に沿って、研究をすすめる。

設定された期限までに、規定の内容の論文（作品）を提出する。

展示・口頭発表会、卒業研究報告集で成果を発表する。

到達目標

各自がそれぞれ課題としたテーマについて自信を持って発表できる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

指導教員が適宜指示する

前提学力等

履修資格

講義名	テキスタイルデザイン						担当教員	内丸 もと子
講義コード	1402206	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	233FSD266							

授業概要

この授業ではテキスタイルデザインの基礎的スキルを身につけることを目的とする。テキスタイル素材は加工方法によって多彩にその表情を変えることができる。実際の素材を見ながらテキスタイルデザインの後加工のさまざまな表現を学ぶ。さらにコンセプト作成から製品デザインへの落とし込み等を学び、実際に企画立案をすることによって、より実践的なテキスタイルデザインの企画提案方法を体験する。また、循環型社会に向けての繊維リサイクルのあり方、サーキュラーデザインについても考察していく。

到達目標

- (1) テキスタイルデザインの過程とさまざまな技法を理解することができる。
- (2) テキスタイルデザインを企画立案、プレゼンテーションできる。
- (3) 循環型社会に向けて繊維製品のあり方について考察できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としません。

授業外学習

興味があるもの素敵だと感じるものを日々スケッチしてください。またサスティナブルなモノ作りとは何かを模索してください。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要なプリントは授業中に配布します。

前提学力等

Illustrator及びPhotoshopのある程度の知識やスキルがあることが望ましい。最終課題では、PowerPointまたはKeynote使用。

履修資格

講義名	テキスタイルデザイン						担当教員	内丸 もと子
講義コード	1402206	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	233FSD266							

授業計画							
回数	テーマ	概要		予習 / 復習			
第1回	イントロダクション テキスタイルと素材	それぞれの繊維素材の原料が何なのか? どこからくるのか? 素材の総まとめ	2				
第2回	テキスタイルの後加工	実際のテキスタイル素材でさまざまな後加工を学ぶ。	2				
第3回	テキスタイルの後加工	実際のテキスタイル素材でさまざまな後加工の表現方法を学ぶ。	2				
第4回	素材とデザイン	ブランド紹介。 柄を作ってみる。	2				
第5回	テキスタイルプリント	テキスタイルデザイン作成での基礎的なリピート方法を学ぶ。	2				
第6回	テキスタイルプリント と色彩によるイメージ	色彩によるデザインイメージの変換を学ぶ。	2				
第7回	トレンドとデザイン提案	世界の素材トレンドを発信する展示会。 テキスタイル提案事例。	2				
第8回	繊維リサイクル	SDGs、循環型社会に向けて、繊維リサイクルのあり方を考察。 また、ものを作る側としてサーキュラーデザインを思考する。	2				
第9回	コンセプトの作成	デザイン提案の課題	2				
第10回	テキスタイル素材のデザイン	デザイン提案の課題	2				
第11回	テキスタイル製品への シミュレーション	デザイン提案の課題	2				
第12回	提案の構成	デザイン提案の課題	2				
第13回	提案のブラッシュアップ	デザイン提案の課題	2				
第14回	提案のブラッシュアップ	デザイン提案の課題	2				
第15回	まとめ・プレゼンテーション	デザイン提案の課題(最終課題)のプレゼンテーション	2				
担当者から							

講義名	デッサン法						担当教員	富原 仁美
講義コード	1402260	単位数	1	開講期	前期	授業方法	実技	
ナンバリング番号	133LVD201							

授業概要

造形表現の基礎となる描写力を習得する。
基本形態を正確に描写するための物の見方、考え方、技術を学ぶ。また、応用へと進むための力をつける。
全回実技の授業。

到達目標

基本的～複雑な形態を空間的に把握し、平面に正確に描写することが出来る。
遠近感・空間・明暗・素材感などの造形要素を理解して、それらを的確に描写表現することが出来る。
色彩を体系的に理解することが出来る。また求められる色を絵具を用いて作り出すことが出来る。
他者への伝達ツールとしての描写表現が出来る。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標 (1)30%、(2)30%、(3)10%、(4)10%、及び 授業の取り組み姿勢20%

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。

授業外学習

大切なことは、実際に物を見て考え、実際に描くことです。
描写力を習得するためには時間が必要となります。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	カラーコーディネーター入門 色彩	大井義男・川崎秀昭	日本色研事業	
2				
3				

初回授業での説明の後に校内購買部で購入。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	基礎から身につくはじめてのデッサン	梁取文吾	西東社	
2				
3				

特にデッサン未経験者の方に勧めます。授業の予習復習の際にも役立ちます。

前提学力等

履修資格

講義名	デッサン法							担当教員	富原 仁美		
講義コード	1402260	単位数	1	開講期	前期	授業方法	実技				
ナンバリング番号	133LVD201										

授業計画											
回数	テーマ	概要						予習 / 復習			
第1回	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> この授業で学ぶデッサンについての説明 必要購入品の説明と確認 						3	鉛筆 (三菱UNIまたはSTAEDTLER)		
第2回	基本形態の描写	<ul style="list-style-type: none"> 直方形を描くための説明 手順、遠近法について 						3			
第3回	基本形態の描写	<ul style="list-style-type: none"> 円筒形を描くための説明 手順、遠近法について 						3			
第4回	色彩について	<ul style="list-style-type: none"> テキストを使用 基本的な項目について 						3			
第5回	基本形態の描写	<ul style="list-style-type: none"> 第2,3回授業内容の復習 基礎的なポイントを実技の中で習得し理解する 						3			
第6回	基本形態の描写	<ul style="list-style-type: none"> 第2,3回授業内容の復習 基礎的なポイントを実技の中で習得し理解する 						3			
第7回	基本形態の描写	<ul style="list-style-type: none"> 第2,3回授業内容の復習 基礎的なポイントを実技の中で習得し理解する 						3			
第8回	描写と着彩	<ul style="list-style-type: none"> 透明水彩絵具の使用方法を学ぶ 形態と色彩 						3			
第9回	描写と着彩	<ul style="list-style-type: none"> 透明水彩絵具の使用方法を学ぶ 形態と色彩 						3			
第10回	描写と着彩	<ul style="list-style-type: none"> 透明水彩絵具を使用 形態と色彩 						3			
第11回	描写と着彩	<ul style="list-style-type: none"> 透明水彩絵具を使用 形態と色彩 						3			
第12回	描写	<ul style="list-style-type: none"> 様々な形態、素材のモチーフを描く 						3			
第13回	描写	<ul style="list-style-type: none"> 様々な形態、素材のモチーフを描く 						3			
第14回	描写	<ul style="list-style-type: none"> 様々な形態、素材のモチーフを描く 						3			
第15回	描写	<ul style="list-style-type: none"> 様々な形態、素材のモチーフを描く 						3			
担当者から											
授業の進め方は、その都度進行状況により変更することがあります。また、個別に目標を設定して課題内容を変更することもあります。											

講義名	道具計画論						担当教員	印南 比呂志
講義コード	1402290	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	333TLD243-C							

授業概要

道具の起源、必然性、その創造方法、使用方法について考えていく。日常生活で身の周りにある道具やその環境、社会性に着目して、毎週一つのテーマ・視点で考えていく。毎回の講義に対してレポート・即日設計・調査課題などを出す予定である。毎回の課題により評価を行い、定期試験は行わない。

到達目標

道具という視点で世の中に存在するさまざまなモノの価値を理解し、消費者的視点、製作者的視点、社会的視点で付き合えるようになることを目指している。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	80	毎回の講義でのレポートにより評価する。
上記以外	20	即日設計課題や、調査課題などの宿題を適宜課す。

授業回数の3分の1(4回)を欠席したものは評価の対象としない。

授業外学習

事前に毎週の講義テーマに関する事前学習を収集しておく。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	生きのびるためのデザイン	ヴィクター・パパネック	晶文社	
2	デザインのイデオロギーとユートピア	ゲルト・ゼレ	晶文社	
3	ものが生まれる産地、ものを輝かせるデザイン	影山和則	ラトルズ	

前提学力等

履修資格

講義名	道具計画論							担当教員	印南 比呂志	
講義コード	1402290	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義			
ナンバリング番号	333TLD243-C									

授業計画									
回数	テーマ	概要	1h	5h	予習/復習	1h			
第1回	オリエンテーション・概論	道具はなぜ必要か、その起源と創造方法について考える。	1.5h	講義「道具とは何か」に対する知見を深め、道具の必然性について考察する	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	1h			
第2回	日常に潜む数値	生活の中で繰り広げられる様々な行為に潜む数値的ルールや秩序について考える。	1.5h	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	1h			
第3回	寸法について	もののヒューマンスケールについて考える。人体計測、感覚による計測方法。	1.5h	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	1h			
第4回	距離について	環境・空間における距離感覚、移動距離について考える。	1.5h	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	1h			
第5回	時間について	時を測る行為、測る道具について考える。	1.5h	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	1h			
第6回	寿命について	時間の流れによる道具の機能寿命・劣化・風化などについて考える。	1.5h	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	1h			
第7回	速度について	速さとかたち、速さと感性、刺激、快感について考える。	1.5h	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	1h			
第8回	愛着と嗜好について	人はなぜモノを集めるのか。モノの魅力を考える。	1.5h	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	1h			
第9回	安全と信頼について	道具の使用方法、使用目的、使用場所に適応したルールと安全性について考える。	1.5h	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	1h			
第10回	災害。犯罪について	災害における危機管理、犯罪などから守る、犯罪を誘発する道具について考える。	1.5h	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	1h			
第11回	能力について	道具を使うための技術、能力、トレーニングなどについて考える。	1.5h	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	1h			
第12回	共有・シェアについて	道具を共有する、公共の道具について考える。	1.5h	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	1h			
第13回	無機能について	機能のないもの、なぜ必要なのか、モノの必然性を考える。	1.5h	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	1h			
第14回	最小限の生活について	最小限住宅・断捨離生活・移動生活など、ものを持たない究極の生き方とは	1.5h	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	講義テーマに関する情報を収集して講義によって得られた知見、視点、	1h			
第15回	総論（レポート課題）	道具に対する総合的な知見をレポートにする	1.5h	講義全体を振り返っておくこの講義で得られた知見を深める		1h			

担当者から
実際の道具を手にとりて使用したり、感じたりして授業を進める。

講義名	道具デザイン演習						担当教員	印南 比呂志 / 佐藤 延弘
講義コード	1402300	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	233TLD241							

授業概要

半期を通して、 道具デザイン、グラフィックデザイン、素材開発、プレゼンテーションの基礎を習得する。

illustrator、photoshopでプレゼンパネルを制作するので、パソコンとソフトが必要。

前半 印南担当分

道具（プロダクト）デザインやブランディングデザインの基礎となるアイデア、企画立案から、モデル製作、図面制作、ロゴなどのグラフィックデザイン、写真撮影、プレゼンテーションパネルの製作、印刷物制作のための編集術までの基礎を習得する。

後半 佐藤担当分

到達目標

道具デザイン、プロダクトデザイン、パッケージデザイン、ブランディングデザインなどのプレゼンテーションの基本的な技術を習得する。

- (1)商品のストーリー/ブランドコンセプトとは何か理解を深め、一般的な理解と自分の考えを説明できるようになる。
- (2)商品を製造・販売するために、どのような技術や知識が必要かを考え、自分で調べることができる。
- (3)生産数や製作環境に適した材料や加工技法についての知識を深め、実践することができる。
- (4)自分の作品（商品）の魅力や、多くの人に正しく伝える表現方法を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	課題作品	「最終課題の完成度の評価50%」+「各回レポート及び提出物の評価 30%」+「製作過程での問題解決能力の評価10%」+「授業への参加意欲の評価10%」を基本。 各回提出課題は未完成であっても考えが見える状態であれば必ず提出すること。レポート（写真）は次回授業の開始ま

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。
課題が締め切りに間に合っていないものは、評価の対象としない。

授業外学習

身の回りのモノや風景、デザインされた物品へ関心を持つ。できるだけ多くの時間を手を動かす時間に費やして下さい。また、他の人の考えや作ったものに

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	特になし			
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

Adobe illustratorとphotoshopを使用します。各自用意か学部情報室のパソコンを使用。
デジタルカメラ機能のある携帯電話、デジタルカメラ、フィルムカメラなど撮影機能のあるものを持参すること。

履修資格

講義名	道具デザイン演習						担当教員	印南 比呂志 / 佐々木 一泰 / 徐 慧
講義コード	1402310	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	233TLD341							

授業概要

前期授業の道具デザイン演習 で習得した技術、技法を基礎として、製品デザイン開発の方法をさまざまなものづくりの業界の現場に関わりながら学んでいく。

架空もしくは実際の企業の商品計画やCI（コーポレートアイデンティティ）計画などの実践的な課題を通して進めていく。またこれらの成果をわかりやすく表現するための提案パネルや模型などの制作を通して、プレゼンテーションの方法も学んでいく。商品開発からブランディングまで含めた課題が多くなる。

到達目標

- (1)ものづくりの現場調査の方法。つまりインタビューやドキュメンテーションの方法を修得する。
- (2)デザイン提案物の簡単なモデリングやパネルプレゼンテーション技術を修得する。
- (3)コンピュータのを使ってプレゼンテーションできる。（パワーポイント、CGなど）

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	提出課題による評価：50%
上記以外	50	課題作業のプロセスにおける取り組みによる評価50%

3週～4週毎にデザイン制作課題を課す。
授業時間数の1/3以上欠席したものは評価対象にしない。

授業外学習

時間外での課題制作もある。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	編集デザインの教科書	工藤強勝監修	日経デザイン刊・日経BP社	978-4822235048
2				
3				

前提学力等

Adobe illustratorとphotoshopを使用します。デジカメも使用します。
制作のための素材調達、外注含めた制作方法についての知識が必要となる。

履修資格

講義名	道具デザイン演習						担当教員	印南 比呂志 / 佐々木 一泰 / 徐 慧
講義コード	1402310	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	233TLD341							

授業計画							
回数	テーマ	概要				予習 / 復習	
第1回	オリエンテーション 道具演習課題A-1	道具デザインに関するテーマの出題 担当：佐々木				3h	
第2回	道具演習課題A-2	デザインサーベイ・エスキース・スケッチ・スタディモデリング 担当：佐々木				3h	
第3回	道具演習課題A-3	モデル制作・写真撮影・プレゼンボードの制作 担当：佐々木				3h	
第4回	道具演習課題A-4	講評 担当：佐々木				3h	
第5回	道具演習課題B-1	課題デザインチェック デザインサーベイ、コンセプト、エスキース、スケッチ					
第6回	道具演習課題B-2	課題デザインチェック スタディモデリング					
第7回	道具演習課題B-3	課題デザインチェック ファイナルモデリング・プレゼンテーション制作					
第8回	道具演習課題B-4	課題デザインチェック 講評プレゼンテーション					
第9回	道具演習課題C-1	課題デザインチェック デザインサーベイ、コンセプト、エスキース、スケッチ					
第10回	道具演習課題C-2	課題デザインチェック スタディモデリング					
第11回	道具演習課題C-3	課題デザインチェック ファイナルモデリング・プレゼンテーション制作					
第12回	道具演習課題C-4 道具演習課題D-1	講評プレゼンテーション 担当：ゲスト講師					
第13回	道具演習課題D-2	課題デザインチェック デザインサーベイ、コンセプト、エスキース、スケッチ					
第14回	道具演習課題D-3	課題デザインチェック ファイナルモデリング・プレゼンテーション制作					
第15回	道具演習課題D-4	講評プレゼンテーション 担当：印南					
担当者から							

講義名	道具デザイン演習						担当教員	印南 比呂志 / 徐 慧
講義コード	1402320	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	333TLD341-C							

授業概要

道具の計画・デザインにおいて必要な知識・考え方と技術を修得する。道具デザイン演習 ～ で学んだ技術と知識を基礎として、生活関連分野の製品およびそれらを含んだ生活空間についての具体的な計画・デザインの課題を課す。また、地域の伝統産業や、企業からの依頼による課題制作も行う。
担当の印南と徐が適宜分担して講義を進める。

到達目標

(1) 基礎的調査・構想、(2) 企画立案、(3) 造形、(4) 立体モデル制作、(5) プレゼンテーションパネル制作、(5) プレゼンテーションまでの作業を修得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	20	課題作業のプロセスにおける調査報告(20%)
上記以外	80	完成提出作品とそのプレゼンテーション(80%)

企業や地域からの要望による課題などを中心に行うため、評価は外部審査、クライアント審査なども考慮して総合的に行う。

授業外学習

作業は授業中では完成しない。学生には課題の進行に沿って授業時間以外での作業が要求される。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回の課題に適した資料等を指示する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

毎回の課題に適した資料等を指示する。

前提学力等

道具デザイン演習 ・ をすでに履修していること。

履修資格

講義名	道具デザイン演習						担当教員	印南 比呂志 / 徐 慧
講義コード	1402320	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	333TLD341-C							

授業計画							
回数	テーマ	概要		予習 / 復習			
第1回	オリエンテーション・開発課題の設定	商品開発プロセスについての基礎	3h				
第2回	商品開発課題（課題の発見・コンセプト）	地域の産業から課題を得て、新たな商品開発やブランディングを提案する。	3h				
第3回	商品開発課題（アイデアスケッチ）	ブレーストーミング、デザインサーベイにより、アイデアスケッチを進める。	3h				
第4回	商品開発課題（スタディモデル）	スタディモデルを使って発表し基本設計を進める。	3h				
第5回	商品開発課題（実施設計）	最終のデザインを決定し、実施設計により、制作を進める。	3h				
第6回	商品開発課題（プレゼンテーション）	講評 完成したものをプレゼンテーションし提出する。	3h				
第7回	ブランディング課題（コンセプト・アイデ	マーケティング調査分析を行う。コンセプト、アイデアスケッチ。	3h				
第8回	ブランディング課題（スタディモデル）	スタディモデルを使って発表し基本設計を進める。	3h				
第9回	ブランディング課題（実施設計）	最終のデザインを決定し、実施設計を進める。	3h				
第10回	ブランディング課題（プレゼンテシ	講評 完成したものをプレゼンテーションし提出する。	3h				
第11回	地域産業課題（課題の発見・コンセプト）	地域の産業から課題を得て、新たな商品開発やブランディングを提案する。	3h				
第12回	地域産業課題（アイデアスケッチ）	デザインサーベイ、企画立案、アイデアスケッチを進める。	3h				
第13回	地域産業課題（スタディモデル）	スタディモデルを使って発表し基本設計を進める。	3h				
第14回	地域産業課題（実施設計）	最終のデザインを決定し、実施設計、制作を進める。	3h				
第15回	地域産業課題（プレゼンテーション）	講評 完成したものをプレゼンテーションし提出する。	3h				
担当者から							

講義名	デジタルデザイン演習 A						担当教員	徐 慧 / 森下 あおい / 小杉 美穂子
講義コード	1402331	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	233LVD208							

授業概要

グラフィックデザイン・イラストレーションのソフトであるAdobe PhotoshopとAdobe Illustratorを用いて、デジタルデザインのリテラシーから操作技術の基礎から応用までを学ぶ。

到達目標

PCを用いたデザイン作業の知識を深める

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	50	授業中に貸した課題を次週までに復習完成させるなど、技術の習得度を評価する。
上記以外	50	授業中の取り組み、態度などを評価する。

授業外学習

授業における課題の理解度、および毎回の授業内で作成する課題を持ち帰り復習して次週の提出する。基本的に授業内で終了できる程度の課題内容による演習を行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	デジタルデザイン演習 A						担当教員	徐 慧 / 森下 あおい / 小杉 美穂子	
講義コード	1402331	単位数	1	開講期	前期	授業方法	演習		
ナンバリング番号	233LVD208								

授業計画

回数	テーマ	概要	予習 / 復習
第1回	ガイダンス、Adobe Photoshopの紹介	演習説明，機器などの使用にあたっての注意事項。Adobe Photoshopでできることについて。	1. Adobe Photoshopで作られた作品を 5h Adobe Photoshopの機能を覚える。 0.1h
第2回	Adobe Photoshopツールの学習－1	画像の調整・加工・合成の演習－1	1. 画像の調整・加工・合成で作られた 5h 画像の調整・加工・合成のスキルを 0.1h
第3回	Adobe Photoshopツールの学習－2	画像の調整・加工・合成の演習－2	1. 画像の調整・加工・合成で作られた 5h 画像の調整・加工・合成のスキルを 0.1h
第4回	Adobe Illustratorの紹介	Adobe Illustratorでできることについて。	1. Adobe Illustratorで作られた作品 5h Adobe Illustratorの機能を覚え 0.1h
第5回	Adobe Illustratorツールの学習－1	線や図形を組み合わせたイラストの演習－1	1. 線や図形を組み合わせたイラスト作 5h 線や図形を組み合わせたスキルを覚 0.1h
第6回	Adobe Illustratorツールの学習－2	線や図形を組み合わせたイラストの演習－2 (パターンデザイン)	1. 線や図形を組み合わせたパターンデ 5h パターンデザインのスキルを調べ 0.1h
第7回	Adobe Illustratorツールの学習－3	テキストと画像を組み合わせたレイアウトの演習－1 (パナーデザイン)	1. テキストと画像を組み合わせた作 5h テキストと画像を組み合わせたスキ 1h
第8回	Adobe Illustratorツールの学習－4	テキストと画像を組み合わせたレイアウトの演習－1 (3つ折りリーフレットデザイン)	1. テキストと画像を組み合わせたレイ 5h テキストと画像を組み合わせたレイ 1h
第9回	illustrator photoshopを使ったファッション	集中講義として行う(日時はオリエンテーション時に説明する)	1. 0.1h 5h 1h
第10回	illustrator photoshopを使ったファッション	集中講義として行う(日時はオリエンテーション時に説明する)	1. 0.1h 5h 1h
第11回	illustrator photoshopを使ったファッション	集中講義として行う(日時はオリエンテーション時に説明する)	1. 0.1h 5h 1h
第12回	illustrator photoshopを使ったファッション	集中講義として行う(日時はオリエンテーション時に説明する)	1. 0.1h 5h 1h
第13回	illustrator photoshopを使ったファッション	集中講義として行う(日時はオリエンテーション時に説明する)	1. 0.1h 5h 1h
第14回	illustrator photoshopを使ったファッション	集中講義として行う(日時はオリエンテーション時に説明する)	1. 0.1h 5h 1h
第15回	illustrator photoshopを使ったファッション	集中講義として行う(日時はオリエンテーション時に説明する)	1. 0.1h 5h 1h
担当者から			

講義名	デジタルデザイン演習 B						担当教員	佐々木 一泰 / 高杉 昭吾
講義コード	1402332	単位数	1	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	233LVD209							

授業概要

CADや画像処理，ドローイングソフトなどを用いて，デジタルデザインのリテラシーから操作技術の基礎から応用までを学ぶ。

到達目標

PCを用いたデザイン作業の知識を深める。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

授業外学習

授業における課題の理解度，および毎回の授業内で作成する課題を持ち帰り復習精査して次週に提出し評価。基本的に授業時間内に終了できる程度の課題内容による演習を行う。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	cinema4D Beginners	阿部司	BNN	978-4-86100-850-4
2				
3				

テキスト：なし。適宜プリントを配布する。指定図書：授業内に適宜紹介する。参考書：授業内に適宜紹介する。

前提学力等

前期・後期を通じてで3分野のデジタルスキルを網羅する。

履修資格

講義名	統計学基礎						担当教員	高梨 克也
講義コード	1402360	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	133LVD106, 134NUT107, 135PSY203							

授業概要

最近ではパソコンやソフトウェアのおかげで、実用的な統計は数式を意識しなくても気軽に扱えるようになってきた。にもかかわらず、いざデータを手にとると、どこから分析を始めればいいのかとまどう人が多い。あるいは、データをとってしまってから、データのとり方について後悔することもある。実はこうした問題はたとえ数式を暗記していても解決しない。では、そもそもなぜそのデータに対して統計的分析を行なう必要があるのか。そのデータにはどんな性質があり、どのような手法を用いるべきか。どんな手法を使うとどんな結果を得ることができるのか。本講義では、これらの疑問点を意識しながら、統計学の基本的な考え方や概念から出発して、推定や検定といった、多く用いられる統計学の手法の考え方の基礎を理解するところまで到達することを目指す。

注意

定員は原則150名までとする。定員を超える受講希望者があった場合には、抽選により受講者の選考を行う（前年度の受講登録者数は143名だったので、必ず抽選になるとは限らない）
 抽選の場合、科目の性質上、学年の若い学生（特に1年生）と社会調査士資格取得希望者を優先する。
 一部の登録者には新入生の受講登録締切後すぐの時期にメールで連絡する可能性があるため、メールに注意しておくこと。
 抽選が行われた場合、選考結果は4/22(金)までに掲示、並びに、USPに掲載するとともに、抽選に外れた学生にはメールでも個別に連絡する。

到達目標

- (1) 記述統計の基本的な使い方を習得する。
- (2) 母集団と標本の概念を理解する。
- (3) 推定と検定の基本的な考え方や手順を身に付ける。
- (4) 日常生活で用いられる統計学的な考え方に興味を持ち、検証する態度を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	0	
上記以外	100%	小テストまたはレポート（随時）：各回で扱った統計学的知識を理解できているかを問う。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	統計学わかりません!!	五十嵐中・佐條麻里	東京図書	978-4489023392
2	統計嫌いのための心理統計の本：統計のキホンと統計手法の選び方	白井祐浩	創元社	978-4422116259
3	よくわかる心理統計	山田剛史・村井潤一郎	ミネルヴァ書房	978-4623039999

前提学力等

履修資格

講義名	統計学基礎							担当教員	高梨 克也
講義コード	1402360	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	133LVD106, 134NUT107, 135PSY203								

授業計画										
回数	テーマ	概要				予習 / 復習				
第1回	イントロダクション	この授業の狙いと進め方の特徴				2	統計について各自が知っていること		1	
							次回授業までに、講義資料の内容を		3	
第2回	尺度	データの性質の違いによって用いる手法が異なることを知る				2	世の中にあるさまざまな数値の例を		1	
							次回授業までに、講義資料の内容を		3	
第3回	要約統計量：代表値と散布度	データの傾向を1つの値で表現する				2	平均値や中央値などの代表値について		1	
							次回授業までに、講義資料の内容を		3	
第4回	適切なグラフの選択	データの性質と伝達目的を考慮する				2	高校までに習ったグラフやテレビや		1	
							次回授業までに、講義資料の内容を		3	
第5回	さまざまなグラフを読み解く	さまざまなタイプのグラフから情報を的確に読み取る				2	前回の授業で紹介したのと同じ種類		1	
							次回授業までに、講義資料の内容を		3	
第6回	確率論の基礎	推定や検定に必要な基礎知識を確認する				2	確率について、高校までに習った内		1	
							次回授業までに、講義資料の内容を		3	
第7回	推測統計と標本抽出	推定や検定に必要な基礎知識を導入する				2	標本抽出について、各自がこれまで		1	
							次回授業までに、講義資料の内容を		3	
第8回	ヒストグラムと正規分布	ヒストグラムと正規分布の性質を理解する				2	TVや新聞などでヒストグラムの事例		1	
							次回授業までに、講義資料の内容を		3	
第9回	標本抽出と正規分布	「標本データから推理する」という考え方を理解する				2	第7回の標本抽出と第8回の正規分布		1	
							次回授業までに、講義資料の内容を		3	
第10回	仮説検定と帰無仮説	統計的仮説検定の基本的な考え方と手順を理解する				2	各自が生活の中で実際に経験したこ		1	
							次回授業までに、講義資料の内容を		3	
第11回	クロス集計とカイニ乗検定	質的変数の差と関連性を知る方法				2			0	
							次回授業までに、講義資料の内容を		4	
第12回	平均の差の検定	質的変数と量的変数の間の関連性を確かめる方法				2			0	
							次回授業までに、講義資料の内容を		4	
第13回	相関係数と偏相関係数	量的変数同士の関連性を調べる方法				2			0	
							次回授業までに、講義資料の内容を		4	
第14回	回帰分析の基礎	収集したデータに基づく予測や説明を試みる				2			0	
							次回授業までに、講義資料の内容を		4	
第15回	変数のコントロール	変数の関連性に影響する他の変数を考慮する				2			0	
							1週間以内に、講義資料の内容を再		4	

担当者から
この授業では、多くの人を持っているであろう「統計学 = 数学」というイメージを覆すことを目指しています。ですので、数式を暗記したり、たくさんの計算をしたりということはしません。統計学の中の基本的な手法を取り上げて、「何のためにその方法があるのか」や「その方法はどのよう

講義名	人間工学						担当教員	中村 孝之
講義コード	1402510	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	233LVD203							

授業概要

社会の変化に伴って生じる、人間と、製品や環境のあり方のギャップを埋めて行くための手がかりとなるのが人間工学である。ここでは、生理、心理、身体、そして行動など、人間の基本的特性を理解し、プロダクト、インテリア、建築などの生活環境構成要素を取り上げて、安全性や使いやすさにおいて、人間との最適な関係を考えた計画やデザインを行う手法について学ぶ。
授業計画について、時期は前後するものとする。

到達目標

- (1) 人間工学の目的とすることを理解し、基本的な知識を習得する
- (2) 生活環境やプロダクト製品に関する、人間生活工学の視点を養う
- (3) インテリアやプロダクトデザインの際に、人間からのアプローチができるようになる

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	40	到達目標(1)について、人間工学の基本的な知識を評価する。
レポート課題	60	到達目標(2)を身につけた上で、到達目標(3)として、具体的な製品や環境に対する分析力と、アイデア展開力を評価する。
上記以外		

3分の1以上欠席した場合、評価の対象としないことがある。

授業外学習

配布プリントにより授業を行う。授業中にノートをとることで短期記憶をつくり、復習することで長期記憶にする。そして設計やデザインの場面で応用することによって身につくものである。参考書を紹介するので、どれか1冊を読むことが予習となる。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書の指定はなし。プリントを配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	初めて学ぶ人間工学	岡田明、後藤 義明、八木 佳子、山崎 和彦、吉武 良治	理工図書	9784844608417
2	デザイン人間工学の基本	山岡俊樹	武蔵野美大出版局	978-4-86463-032-0
3	建築人間工学 空間デザインの原点	岡田光正	理工学社	0784274050473
4	新装 インテリアの人間工学	渡辺秀俊他	ガイアブックス	4866540109

前提学力等

履修資格

講義名	人間工学実習						担当教員	森下 あおい / 宮本 雅子
講義コード	1402520	単位数	1	開講期	前期	授業方法	実習	
ナンバリング番号	333LVD301							

授業概要

生活に関わるデザインの多くは、人体のサイズや形態を基準に設計されている。この授業では体形把握のために必要な人体計測法と、その基準となる人体各部の計測点を、実際の計測を通じて学ぶとともに、服飾、道具、住居分野のデザインを行う際に必要とする体形特徴や、動作や姿勢によって生じる体形の変化などと関係する設計条件を実験によって把握する。また計測値をデザインに活用するための統計手法を学ぶ。

到達目標

- (1) デザインに必要な人体形態の理解
- (2) 衣服型紙と人体寸法の関係の理解
- (3) 計測値の統計処理法の習得
- (4) 人間とモノとの関係について分析する能力の習得

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	到達目標の(1)デザインに必要な人体形態の理解、については、レポート30%、(2)衣服型紙と人体寸法の関係の理解、については、レポート10%、(3)計測値の統計処理法の習得については、レポート10%、(4)人間とモノとの関係について分析する能力の習得、については、レポート50%で評価する。

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。
実習課題ごとにレポートが課せられる。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

テキスト：配布資料によって授業を行います

前提学力等

履修資格

講義名	人間文化論 A						担当教員	中井 直也 / 印南 比呂志 / 森下 あおい / 京樂 真帆子 / 福渡 努 / 松嶋 秀明 / 佐々木 一泰 / 上野 有理 / 中村 好孝 /
講義コード	1402540	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講	
ナンバリング番号	133LVD102, 134NUT102, 135LAH2011, 37BAC102							

授業概要

2015年9月に開催された「国連持続可能な開発サミット」において、「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択された。そこで掲げられたのが「持続可能な開発目標（SDGs）」である。「誰一人取り残さない」社会の実現のため、17の目標を設定し2030年に向けて実行することが宣言された。

本講義では、このSDGsをキーワードとし、人間文化学部を構成する5学科（地域文化学科、生活デザイン学科、生活栄養学科、人間関係学科、国際コミュニケーション学科）に所属する専門領域の異なる教員同士の対談や、学科を超えた学生同士の議論等を行う。これらの取り組みを通して、自身の専門とする学問領域と他の学問領域との関連性や相違点を確認しながら、自身の専門とする学問領域の独自性や可能性を探りつつ、総合的かつ多角的な視野から「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて考察を深める機会を提供する。

到達目標

- (1) 自身の専門とする学問領域と他の学問領域との関連性と相違点を検討することができる。
- (2) 自身の専門とする学問領域の独自性や可能性を探ることができる。
- (3) 総合的かつ多角的な視野から「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて考察することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	35	ワークショップ課題（詳細については講義中に説明する）
上記以外	65	講義中に提出するレスポンスペーパー（詳細については各回の担当教員より説明する）

追加の情報等がある場合には講義中に説明するので、必ず確認すること。

授業外学習

特にワークショップ関連の予習・復習にしっかり取り組むこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

教科書は使用せず、適宜、必要な資料を授業中に配布する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

適宜、授業中に紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	人間文化論B						担当教員	櫻井 悟史 / John Rippey / 木村 可奈子 / 高木 純一 / 未定*
講義コード	1402550	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	133LVD103, 134NUT103, 135LAH2021, 37BAC103							

授業概要

テーマ：「交流する文化、交差するまなざし」
 文化は、さまざまな歴史的な要因によって他の文化と交流し、受容や反発の複雑なプロセスを経ながらそのオリジナルな形を変容させてゆく。本講義では、5人の教員がオムニバス形式で、それぞれ具体的な文化現象をとりあげて、その交流や変容の問題について論じる。
 本年度の担当教員とその講義内容は以下の通りである。

到達目標

文化の交流や変容の諸相について理解すること。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	100%	ミニレポートもしくは小テストに対する採点
上記以外		

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特になし

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

その都度、紹介する

前提学力等

履修資格

講義名	人間文化論B						担当教員	櫻井 悟史 / John Rippey / 木村 可奈子 / 高木 純一 / 未定*	
講義コード	1402550	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義		
ナンバリング番号	133LVD103, 134NUT103, 135LAH2021, 37BAC103								

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習
第1回	漢字と東アジア世界	日本人にとっては日々当たり前を使う漢字。中国で生まれたこの表意文字は長く東アジア世界の共通の書き言葉であり、異なる言葉を母語	2	漢字が使われたことがある国を調べ 今回の授業内容を復習する。 2
第2回	朝鮮通信使	江戸時代の朝鮮通信使と日本人の交流や、通信使来日によって起きた朝鮮ブームで生み出されたモノや影響について見ていく。(木村可奈)	2	朝鮮通信使について概要を調べる。 今回の授業内容を復習する。 2
第3回	交流と「情」	今より国外への旅が容易ではない時代、異国の人々との別れに際し人々は「どのように」感情を現したのだろうか。感情の表し方から見	2	自分が旅先で出会った人との別れに 今回の授業内容を復習する。 2
第4回	コミュニケーションの社会学(1)友人関係	現代日本社会における友人関係について、社会学の視点から取り上げる。(櫻井悟史)	2	・自身の友人関係について考察して ・講義内容を自分の言葉でまとめな 1 3
第5回	コミュニケーションの社会学(2)恋愛	現代日本社会における恋愛について、社会学の視点から取り上げる。(櫻井悟史)	2	・講義の終わりに次の回で扱うト ・講義内容を自分の言葉でまとめな 1 3
第6回	コミュニケーションの社会学(3)メディア・	現代日本社会におけるメディア・コミュニケーションについて、社会学の視点から取り上げる。特にSNSやネット炎上を扱う。(櫻井悟)	2	・講義の終わりに次の回で扱うト ・講義内容を自分の言葉でまとめな 1 3
第7回	「異文化交流」としての日本中世史	数百年前の「日本人」は、私たち現代の「日本人」とはまったく異なる価値観・世界観を持ち、まったく異なる社会を作り上げていた。彼	2	事前に指定する文献を熟読する。 講義内容をノート等にまとめる。 2
第8回	宣教師の見た戦国日本	時は大航海時代。日本には多くの宣教師たちが渡来し新たな文物をもたらした。宣教師と日本人との「文化交流」や、宣教師たちが戦国日	2	事前に配布する文献を熟読する。 講義内容をノート等にまとめる。 2
第9回	流浪の公家が見た戦国社会	戦国時代になると、貴族たちは荒廃した都を離れて列島を流浪した。各地の戦国大名や民衆との「文化交流」や、貴族たちが彼らに対して	2	事前に配布する文献を熟読する。 講義内容をノート等にまとめる。 2
第10回	日米詩比較(1)	Let's read and share our impressions of traditional Japanese winter haiku, and translate them into English. (John Rippey)	2	Consider haiku which you are Review the learning materials 1 3
第11回	日米詩比較(2)	Let's read and share our impressions of well-known English poems of winter, and translate them into Japanese. (John	2	Consider English poems which you Review the learning materials 1 3
第12回	日米詩比較(3)	Let's write and share our own original poetry of winter! (John Rippey)	2	Consider and begin writing two Review the learning materials 1 3
第13回	言語と言語学(1)	人間のコミュニケーションについて学んで考えます。(吉田悦子)	2	1 3
第14回	言語と言語学(2)	人間のコミュニケーションについて学んで考えます。(吉田悦子)	2	1 3
第15回	言語と言語学(3)	人間のコミュニケーションについて学んで考えます。(吉田悦子)	2	1 3

担当者から

講義名	人間文化論 C						担当教員	宮本 雅子 / 松嶋 秀明 / 中村 好孝 / 遠藤 弘史 / 横田 尚美 / 未定 *
講義コード	1402560	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講	
ナンバリング番号	133LVD104, 134NUT104, 135LAH203							

授業概要

人間文化論Cでは「人間を取り巻く生活環境」に焦点をあて、生活環境に関わる諸問題について考える機会とする。生活環境は、人間の生活と生存にかかわる人的・社会的・自然的諸条件等からとらえることができる。そこで生活文化系3学科(生活デザイン・生活栄養・人間関係)教員のそれぞれの視点から、人間が心身ともに健康で快適に生活していくための諸条件について論じる。
この授業では、まず、住生活・衣生活における快適な環境条件について5回講義する(宮本・横田)。次に、現代の「食と栄養」を取り巻く様々な問題点を取りあげながら、健康を維持・増進するための食生活について5回講義する(生活栄養学科教員)。さらに、人間にとっての最小の共同体である家族がどのようになるとしているかという現代家族論を5回講義する(松嶋・中村)。

到達目標

(宮本・横田)(1)住宅の中の暮らしとその変化について理解すること。(2)自分が身に着ける衣服とからだの関係や、ファッション産業がもたらす人体を含む環境への影響に関心を持つことができる。
(生活栄養学科教員) 現代の「食と栄養」を取り巻く様々な問題点を踏まえ、健康を維持・増進するための食生活について理解することができる。
(松嶋・中村)(1)家族をみるための視点を身につけることができる。(2)現代的社会問題を家族との関連で理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

各教員がそれぞれ授業中に課題を出すことがある。
授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象にしない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	比較衣装論						担当教員	横田 尚美
講義コード	1402630	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	133FSD161							

授業概要

衣食住の中の衣は、生活デザインを構成する重要な要素である。文明が生まれてから今日までの服飾文化を時代ごとに比較しながら論じることで、それぞれの時代の服飾の必然を知る。そのことが現在を理解する鍵となり、未来を考えるヒントになる。時代時代の歴史やデザインとともに論じるので、デザインのインスピレーション源にもなる。服飾を通じて、生活デザイン全般や世界の歴史を理解する一助とする。

到達目標

- (1) 歴史の流れを把握できる。
- (2) 服飾の変化を歴史の中に意味づけられる。
- (3) 服飾の変化のポイントが理解できる。
- (4) 時代ごとの他のデザイン分野との関わりが理解できる。
- (5) 各回ごとのポイントが理解できる。
- (6) 現在や未来の社会の動きに関心を持つことができるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上を特段の理由なく欠席した場合は、評価の対象としない。定期試験の結果とリアクションペーパーの内容に基づいて、100点満点中60点以上を合格とする。

授業外学習

この授業専用のノートを準備し、板書したことなどを書いたら、次回までにそれを毎回確認しておく。講義の終わりに、次回の内容に関する質問を出し、それについて次回までに考えをまとめてくるように指示する場合がある。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ヨーロッパ史入門 原形から近代への胎動	池上俊一	岩波ジュニア新書	978-4-00-500945-9
2				
3				

ノート(担当者から一言を参照)

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	カラー版世界服飾史	深井晃子	美術出版社	978-4-568-40077-9
2	20世紀からのファッション史	横田尚美	原書房	978-4-562-04773-4
3				

高校の社会科学の教科書や資料集などを参考にしてほしい。

前提学力等

高校で世界史を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	比較道具論						担当教員	印南 比呂志
講義コード	1402680	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	133TLD141							

授業概要

社会と住環境の実態を背景に、人間が関わってきた道具が生まれた起源やそれらを作ってきた歴史、制作方法などに注目して、その道具をとりあげて文化的、民族的、社会的な存在理由を比較しながら講義をすすめる。身の回りの生活道具の多様性を理解するため、日常の生活用具をとりあげる。その製品の歴史、市場、変遷、社会的価値についてさまざまな視点から考察を試みる。また、ものづくりとして製品開発における企画設計プロセス、市場での流通やマネージメントに至るまでの実際を学ぶ。趣味的、嗜好的なものから、コレクション、ブランドなど社会性を考察しながら、毎回ひとつのテーマで実際のモノ・道具を観察・触れながら講義を進める。テーマによっては外部講師として専門家を招聘して講義を行う。

到達目標

生活文化と道具デザインの密接な関係についての認識を深める。(1) 授業内容を理解し要点をまとめられる。(2) 授業内容に対して自分の意見や感想を述べる事ができる。(3) 授業に関係する文献を読み、内容をまとめ、考察を加えることができる。(4) 1つの道具について自分で調べ、その結果を文章にまとめることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	
レポート課題	80	毎回の講義レポート。
上記以外	20	最終レポート、および調査課題による。

授業時間数の3分の1以上欠席した者は評価対象としない。

授業外学習

毎回の授業テーマについて事前に予習しておくこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中に簡単な資料を配布する

前提学力等

履修資格

講義名	服飾文化論						担当教員	横田 尚美
講義コード	1402780	単位数	2	開講期	前期	授業方法	板書	
ナンバリング番号	233FSD265							

授業概要

服飾文化について、服飾文化史、社会と服飾産業という観点から紹介する。
現在のファッションの原点を知る。
ファッションとは異なる服飾文化の側面に気付かせる。
特に第2次世界大戦後については、ファッションビジネスの変化についても注目する。
時代時代の歴史やデザインとともに論じるので、デザインのインスピレーション源ともなる。

到達目標

- (1) 20世紀から現在に至る歴史の流れを把握できる。
- (2) ファッションの変化を歴史の中に意味づけられる。
- (3) 20世紀初めから現在のファッションに至る過程が、社会の変化とともに理解できる。
- (4) 時代ごとの他のデザイン分野との関わりが理解できる。
- (5) 各回ごとのポイントが理解できる。
- (6) 現在とこれからの社会や文化の変化に関心が持てるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

3分の1以上を特段の理由なく欠席した場合は、評価の対象としない。
定期試験の結果とリアクションペーパーの内容に基づいて、100点満点中60点以上を合格とする。

授業外学習

この授業のノートを準備し、板書などメモした内容を、次回までにまとめてくることを毎回の課題とする。
講義の終わりに、次回の内容に関する質問を出し、それについて次回までに考えをまとめてくるように指示することがある。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ヨーロッパ史入門 市民革命から現代へ	池上俊一	岩波ジュニア新書	978-4-00-500946-6
2				
3				

ノートを準備（比較衣装論のノートで良い）

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	カラー版世界服飾史	深井晃子	美術出版社	978-4-568-40077-9
2	20世紀からのファッション史	横田尚美	原書房	978-4-562-04773-4
3				

高校の社会科の教科書や資料集などを参考にしてほしい。

前提学力等

比較衣装論、近代デザイン史を受講していることが望ましい。

履修資格

講義名	服飾心理学						担当教員	横田 尚美
講義コード	1402800	単位数	2	開講期	後期	授業方法	板	
ナンバリング番号	333FSD262							

授業概要

様々な服飾、服飾に関わる人間の行為などを通して、服飾と人間の関係について考える。服飾、またはファッションが人間の心理に与える影響を自覚し、社会を理解する一助とする。講義が主だが、コロナの影響がなければ、ディスカッションや体験も行う。

到達目標

- (1) それぞれのテーマに問題意識を持つことができる。
- (2) 服飾が持つ心理的力を客観的かつ総合的に分析し、理解することができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	90	冬休みと期末に、レポート課題を課す。 (2)についてと、レポートの書き方について評価する。
上記以外	10	(1)については、リアクションペーパーによって計る。

3分の1以上を特段の理由なく欠席した場合は、評価の対象としない。
レポートとリアクションペーパーの内容に基づいて、100点満点中60点以上を合格とする。

授業外学習

授業の内容について具体的なテーマを与え、事前に考えてくるように指示することがある。毎回、様々な展覧会を紹介するので、自主的かつ積極的に足を運んでほしい。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	ファッションを考える	横田尚美	丸善出版	4-621-07250-1
2	20世紀からのファッション史	横田尚美	原書房	978-4-562-04773-4
3	身体の大衆文化	安井眞奈美他編	KADOKAWA	978-4-04-400566-5

前提学力等

比較衣装論、服飾文化論、近代デザイン史を履修していることが望ましい。

履修資格

講義名	服飾造形論							担当教員	森下 あおい
講義コード	1402830	単位数	2	開講期	前期後半	授業方法	講義		
ナンバリング番号	333FSD261								

授業概要

この授業では、衣服の基本的な服種について、その作図を理解することで、服のデザインと構造との関係を学ぶ。特に、人体を覆う衣服の立体性について、全体の形状と部分の形状の特徴を知ること、体形に対する意識を深め、着衣するために必要なデザインの在りかたを理解する。これらの知識を実践につながる各回の課題によって習得する。

到達目標

- (1) 体形と衣服パターン形状の相互関係の理解
- (2) デザインに対するパターン展開の理解

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	各回の課題 50% 授業内テスト50%

授業の3分の1以上欠席したものは評価の対象としない。

授業外学習

実物の服の形態、生地、縫製、細部を、具体的に観察すること。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリントを配布する

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	パターンメイキング3級ガイドブック		(財)日本ファッション教育振興協会	4931378-110
2				
3				

前提学力等

3年次以降の履修が望ましい。

履修資格

講義名	服飾デザイン演習						担当教員	森下 あおい
講義コード	1402860	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	233FSD264							

授業概要

この授業では、シャツの制作を行うことで、衣服制作の流れと基本的な技術を学ぶ。シャツのデザインに合う素材の選択、原型とパターン作図、生地のカット、縫製技術を習得する。制作を通じて、衣服のデザインと型紙の関係、体形と衣服のゆとり量の関係について学ぶ。

到達目標

- (1) 衣服制作の基礎技術を身につける。
- (2) パターンの作図法を理解する。
- (3) 衣服のゆとりについて理解する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業の参加度50% 製作物と授業でのレポート50%

3分の1以上欠席した場合は評価の対象としない。また毎回の説明を行いながら、制作の工程を学ぶため、欠席、遅刻をすると内容が把握し難くなる。

授業外学習

課題については、授業外で準備を行い、授業外学習によって進める必要がある。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	服飾造形講座(3)ブラウス・ワンピース (文化ファッショングループ)	文化服装学院編	文化出版局	4-579-10839-6
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

各回の授業でプリントを配布します。

前提学力等

履修資格

講義名	服飾デザイン演習						担当教員	横田 尚美
講義コード	1402870	単位数	2	開講期	後期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	233FSD361							

授業概要

服飾が、それぞれの時代の中でのどのような生活デザインの中で身につけられているかを、映画や文学のストーリーの中で理解することで、服飾デザインの発想に活かすための演習を行う。
 現存する衣装、当時のファッション雑誌などの一次資料も活かしながら、調査し、発表する。
 服飾文化についてのレポート課題により、論理的に考察する力とルール通りにレポートを作成する力を養う。
 基礎服飾デザインに続き、ジャケットやワンピースの解体を通して、さらに服の構造を理解する。
 最後に、課題の製作物や論文について発表し、批評し合う。

到達目標

- (1) 原作が楽しめ、理解できる。
- (2) 原作に登場する生活デザインなどの文化を窓口に、視野を広げることができる。
- (3) 原作に登場する服飾について関心を持ち、生活デザイン全体の中で理解できる。
- (4) 原作について、分析的なレポートがルールに則って作成できる。
- (5) 3つのアイテムの構造などが理解できる。
- (6) 時代背景とその時代の服飾デザインを理解し、応用して服飾デザインなどを発想したり、研究課題を考えて研究したりすることができる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	30	(4)について、内容(15%)、書き方(15%)で評価する。
上記以外	70	(1)~(3)、(5)については、授業態度や発表の内容、リアクションペーパーで評価する。(20%) 発表会の課題で評価する。(50%)

授業外学習

7回から14回(除11回)については、分担した部分の服飾を含む様々な歴史や文化について、グループワークと各自の活動によって調査を行う。
 論文などをまとめて自分の考えを書くレポートを課す。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

初回に決定した文学作品を購入する。文庫本の予定である。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

講義の中で適宜、紹介する。

前提学力等

比較衣装論、服飾文化論、服飾デザイン演習、近代デザイン史を受講していることが望ましい。

履修資格

講義名	服飾デザイン演習						担当教員	森下 あおい / 法月 紀江
講義コード	1402880	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	333FSD362							

授業概要

この授業では、テーマに対するコンセプトと、自らのデザインの世界観を、服飾として具体的に表現する力を養う。そのために、発想源を引き出すためのリサーチを文献資料、素材の収集、見学やヒアリングなどを通して行い、アイデアの展開の仕方を学ぶ。そして実物制作を進めるうえで、デザインと作図、素材の関係やディテールの役割を理解し、服飾として全体をまとめる力を習得する。またプレゼンテーションのためのポスター制作も行う。

到達目標

- (1) テーマに対するリサーチとアイデアの展開力。
- (2) デザインと素材の関係を把握する力。
- (3) コンセプトを作品として明確にまとめる力。

成績評価

種別	割合 (%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業の参加度と各回の提出物50% 作品とプレゼンテーションボード50%

授業を3分の1以上欠席した場合、評価の対象としない。

授業外学習

授業時間外での調査や作業を継続的に行うこと。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

これまでに制作した課題の写真や実物、服飾デザインに関する興味のある資料を持参する。

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN / ISSN
1				
2				
3				

参考書は授業内で適宜紹介するほか、

前提学力等

履修資格

講義名	服飾デザイン論						担当教員	森下 あおい/長 保幸
講義コード	1402900	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	233FSD263							

授業概要

服飾は、社会、環境、経済、を背景に、材料特性や技術を統合して設計する。そこでこの授業では現代の服飾デザインの課題を取りあげて、製品の企画、設計、生産、消費の在りかたを調査し考察する。実践的な力を身につけるために、服飾産業のものづくりの現状調査、関連する研究の把握、消費者動向等、グループワークを行いながら、理解を深める。

到達目標

- (1) 服飾における課題の視点を理解する。
- (2) 服飾に分野の課題取り組みの方向性を理解する。
- (3) 多角度からの意見を理解し自らの考えを提案できる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	授業への参加度と各回のグループワークでの課題50% 前半と後半のレポート課題50%

3分の1以上欠席した場合は、評価の対象としない。

授業外学習

各回で資料を配布し、それをもとに授業を行うので、予習をすることが必須である。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

授業中にプリントを配布するほか、参考書を紹介する。

前提学力等

履修資格

講義名	プレゼンテーション技法						担当教員	未定* / 印南 比呂志
講義コード	1402910	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	133LVD203							

授業概要

デザインの専門分野に進むために、必要となる制作作業のプロセスや、プレゼンテーションの基本技術、考え方などを講義する。自身のイメージを表現し、相手に伝えるという事は様々な場面で重視されている。しかし、それには知識と技術が必要である。そのための基礎技術を学ぶ授業である。グラフィック分野のタイポグラフィ、写真、印刷、DTPのデータ作成などの分野の表現技術について学ぶ。またプロダクトデザインや建築分野における、立体表現手法については、スタディモデルから、プロトタイプモデルまでの制作過程を説明していく。講義形式の授業ではあるが、演習的な課題も出題する。必須ではないが、パソコンとphotoshop, illustrator, デジタルカメラがあるとなお理解が深まる。データ作成などの宿題が出る場合もある。常に実践事例をもとに講義をすすめていく。時には理解度テストも行う。

到達目標

- 1、カメラの構造を理解し、思うように写真を撮れるようになる。
- 2、データの制作方法を理解し、適切なデータを作成できるようになる。
- 3、書体の利用法やレイアウトの基礎を理解する
- 4、模型制作の技術を習得する
- 5、それらを総合的に活用し、プレゼンテーションシートやスライド資料として活用できるようになる。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	0	なし。
レポート課題	60	毎回の授業において、授業の終了前にレスポンスペーパーを提出させる。
上記以外	40	いくつかの課題を宿題として課す。

5分の1(3回)を超えて欠席した場合は、評価の対象としない

授業外学習

時間外で課題を課すことが多い、授業内で発表してもらうこともある。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

特になし

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

講義形式の授業ではあるが、演習的な課題も出題する。

履修資格

講義名	マーケティング演習[マーケティングリサーチ演習]						担当教員	山田 歩
講義コード	1402999	単位数	2	開講期	前期	授業方法	演習	
ナンバリング番号	233MKD381							

授業概要

企業やブランドと生活者の間で交わされるコミュニケーションをマーケティング・コミュニケーションと呼びます。効果的にコミュニケーションを行うためには、生活者を深く理解し、生活者とブランドとの接点を発見し、それらを適切にコミュニケーションに落とし込む必要があります。この演習では、生活者とブランドとの接点を発見するためのリサーチを学びます。リサーチを企画・実施することを通して、生活者とブランドとの接点がどのように作られているかについて理解を深めます。

到達目標

- (1) マーケティング・コミュニケーションの考え方と手法を身につける。
- (2) マーケティング・リサーチの考え方と手法を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外	100	調査の1)計画、2)準備、3)最終成果物にて評価を行う。

3回以上欠席した場合、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	マーケティング論						担当教員	山田 歩
講義コード	1403000	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	133MKD181,335LAH307							

授業概要

どんなに優れた機能の製品でも、どんなに優れたデザインの製品でも、消費者に受け入れられヒットするとは限りません。ある製品が価値あるものとして消費者に受け入れられるためには、どんな製品を出すかを考えるだけでなく、どんな消費者を対象にするのかや、どんな価格で、また、どんな場所、広告を用いて売ればいいのかといったことまで考える必要があります。そして、商品としてヒットしたあとも、継続的にその商品が売れるように、消費者との持続的な関係を構築し、製品・サービスの価値を高める努力を続ける必要があります。

この授業では、こうした企業のマーケティング活動を学ぶことを通して、ビジネスに必要な分析能力や問題解決能力を身につけることを目標とします。

到達目標

企業のマーケティング活動を学ぶことを通して、ビジネスに必要な分析能力や問題解決能力を身につけることを目標とします。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験	50	マーケティングの考え方を理解できたか
レポート課題	50	宣伝会議賞(25) 授業課題(25)
上記以外		

3回以上欠席した場合、評価の対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	1からのマーケティング 第4版	石井淳蔵・廣田章光	碩学舎	
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	1からのデジタル・マーケティング	西川英彦・澁谷寛	碩学舎	
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	視覚伝達デザイン						担当教員	徐 慧
講義コード	1403290	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	333TLD244							

授業概要

グラフィックデザインを成立させる歴史的背景や造形要素に関する原理、デザイン用語の意味を学習する。デジタル技術の急速な浸透と発展のなかで、グラフィックデザインという概念を理解するために必要な情報の視覚化についての講義。

到達目標

様々な視覚言語と、それらの構成方法と表現技術の原理を理解することで、グラフィックデザインの基礎知識と視覚化の概念を修得する。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題	70	レポートによる評価（毎回の講義で課題を出す）
上記以外	30	授業態度、出席状況

出席、レポート課題を対象として評価を行う。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	新版 graphic design: 視覚伝達デザイン基礎	新島実他	武蔵野美術大学出版局	978-4864630047
2	グラフィック・デザイン全史	フィリップ・B・メッグズ	淡交社	978-4473014825
3	タイポグラフィ 2つの潮流	新島実他	武蔵野美術大学美術館・図書館	

前提学力等

履修資格

講義名	視覚伝達デザイン							担当教員	徐 慧	
講義コード	1403290	単位数	2	開講期	後期	授業方法	講義			
ナンバリング番号	333TLD244									

授業計画

回数	テーマ	概要	予習 / 復習
第1回	オリエンテーション、グラフィックデザイン	グラフィックデザインの定義について	1. グラフィックデザインを成立させる興味のあるグラフィックデザイナー 0.5h 1h
第2回	グラフィックデザインの歴史、ビジュアルライ	古代 20世紀のグラフィックデザインについて	1. グラフィックデザインの由来、歴 0.5h 1. ビジュアルライゼーションの中で一つ 1h
第3回	実験的なタイポグラフィ	実験的なタイポグラフィの背景と作品について	1. 実験的なタイポグラフィ、具体詩の好きな詩、歌詞、小説を用いて、実 0.5h 1h
第4回	印刷技術の開発発明とその展開	印刷技術の歴史について	1. 印刷技術の基本と、文字を通して感 0.5h 1. 印刷媒体の中で一つについて語源・ 1h
第5回	色彩	色彩とその相互作用	1. デザインにおける色彩と多様性に 0.5h 1. 色で性別を区別している身の回りの 1h
第6回	形と構成	身の回りの形とパターンの原理について	1. 原像の探究、形の構成（数理的な原 0.5h 1. 自然界の形の構成について考える。 1h
第7回	編集とデザイン	編集デザイン、エディトリアルデザインについて	1. 編集デザインの歴史、構成要素、作 0.5h 1. 自分が考える「デザイン」につい 1h
第8回	タイポグラフィ	ヤン・チヒョヨルト、タイポグラフィの2つの潮流	1. タイポグラフィの基礎知識を調べ 0.5h 1. 欧文・和文の2段組みのデザインの 1h
第9回	デザインと企業	CI・VI、ブランディングデザイン、企業デザインについて	1. グラフィックデザインと企業との関 0.5h 1. 自ら撮った写真に相応しい企業ポス 1h
第10回	インフォグラフィック	アイソタイプ、ダイアグラム、インフォグラフィックデザインについて	1. インフォグラフィックの歴史、作家 0.5h 1. インフォメーショングラフィックデ 1h
第11回	広告デザイン	広告デザインの事例について	1. 広告デザインの事例、最近の傾向に 0.5h 1. 日本の商品・文化のロゴ・スローガ 1h
第12回	UI・UX DESIGN	UI・UX DESIGN、Responsive Web Design、Contents Management Systemについて	1. UI・UX DESIGNの定義について調べ 0.5h 1. 新たなUX Designの提案をする。 1h
第13回	ポスターデザイン	ポスターデザインの歴史、背景、種類について	1. ポスターデザインの種類を調べる。 0.5h 1. 美術館のポスター制作。 1h
第14回	パッケージデザイン	情報のコンテンツ、パッケージデザイン、事例について。	1. 地域ブランディングとパッケージデ 0.5h 1. 地域商品のパッケージデザインの提 1h
第15回	グラフィックデザインについての総論	成果報告会、グループでディスカッション	1. グループで視覚伝達デザインの成果 0.5h 1. 他のグループのプレゼンテーション 1h
担当者から			

講義名	生活工学（情報処理を含む）						担当教員	
講義コード	1600471	単位数	2	開講期	前期	授業方法	講義	
ナンバリング番号	133LVD206							

授業概要

家庭には多種・多様な電化製品が使用されています。また、自家用車をはじめとする機械製品も生活にはなくてはならないものとなっています。電気の分野においては、オール電化やIH調理機器などの技術開発やソーラー発電などによる省エネルギー開発が進んでいます。機械の分野においてもハイブリッド車や電気自動車さらには電動アシスト自転車等環境への配慮および生活を便利に、より快適にする製品が生活の中に入り込んでいます。さらには、スマートフォンやタブレット端末の普及により情報化社会も急速に進化しています。このような、IoTをはじめとする生活を便利に快適にする機器や製品のしくみや構造を理解し、電機・機械・情報の各分野の基礎的知識と技術、および生活と環境問題についての基礎を学びます。

到達目標

- (1) 家庭生活で使用されている機械や電気機器の構造、原理を理解し、知識を深める。
- (2) 環境や安全に配慮した生活機器の活用方法を習得する。
- (3) 情報化社会における機器の活用を学ぶ。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

課題レポートの未提出者は、評価対象としない。

授業外学習

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

必要に応じて、講義資料を配布

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	食物学（調理実習を含む）						担当教員	
講義コード	1600800	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講	
ナンバリング番号	133LVD205							

授業概要

飽食の時代を生きる私たちが、健康的で充実した食生活を楽しむためには何を知らなければならないのか、食品学、栄養学の視点を中心に考えていく。得られた知識をもとに、豊かな食生活をいかにして営むかを調理実習を通して実践する能力を身につける。

到達目標

- (1) 食品の栄養機能，成分特性，加工特性に関する知識を身につけ，理解する。
- (2) 栄養素の種類，特徴，役割および健康維持のための摂取量に関する知識を身につけ，理解する。
- (3) 食品の衛生管理に関する知識，考え方を身につけ，理解する。
- (4) 調理実習を通し，基本的な調理操作について理解し，技術を身につける。

成績評価

種別	割合(%)	評価基準等
定期試験		
レポート課題		
上記以外		

- ・3分の1以上欠席した場合は，評価の対象としない
- ・調理実習は2回以上の欠席の場合は評価対象とならない。

授業外学習

- ・調理実習の際には，あらかじめ実習手順の確認をしてから実習に参加のこと。
- ・調理実習時の衛生管理を順守できない場合は実習に参加できない。

教科書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1	映像で学ぶ 調理の基礎とサイエンス	松崎・藤井・寺本	学際企画	978-4-906514-86-1
2	わかりやすい食物と健康 1	吉田勉	三共出版	978-4-7827-0750-0
3	簡明 食品衛生学 第2版	菅谷佑輔	光生館	978-4-332-00051-8

参考書

No	書籍名	著者名	出版社	ISBN/ISSN
1				
2				
3				

前提学力等

履修資格

講義名	食物学（調理実習を含む）						担当教員	
講義コード	1600800	単位数	2	開講期	前期集中	授業方法	講	
ナンバリング番号	133LVD205							

授業計画

回数	テーマ	概要		予習 / 復習
第1回	食品の分類と食品成分表	食品の種類と分類、食品成分表について概説する。	2	
第2回	食品に含まれる栄養素（水分・たんぱく質）	水分とたんぱく質の特徴、化学的性質、加工特性について理解する。	2	
第3回	食品に含まれる栄養素（脂質）	脂質の特徴、化学的性質、加工特性について理解する。	2	
第4回	食品に含まれる栄養素（炭水化物・その他）	炭水化物、その他栄養素の特徴、化学的性質、加工特性について理解する。	2	
第5回	炭水化物、脂質の役割	たんぱく質、炭水化物、脂質の種類、特徴、機能について理解する。	2	
第6回	たんぱく質の役割	たんぱく質の種類、特徴、機能について理解する。	2	
第7回	ビタミン、ミネラルの役割	ビタミン、ミネラルの種類、特徴、機能について理解する。	2	
第8回	食事摂取基準	日本人の食事摂取基準および健康を維持するために摂取したい栄養素量について理解する。	2	
第9回	食品の変質とその防止	微生物による変質・変敗、化学的変質、変質の防止法について理解する。	2	
第10回	食品衛生をめぐる諸問題と食品表示	食品中の残留物質、遺伝子組み換え食品、食品表示について理解する。	2	
第11回	調理実習 オリエンテーション	実習に際しての注意事項、衛生管理方法	2	
第12回	調理実習 食材の取り扱い（野菜、果物）	食材の下処理・切り方	2	
第13回	調理実習 食材の取り扱い（卵）	卵の調理性（加熱凝固・乳化）	2	
第14回	調理実習 日本料理（1）（炊飯）	飯の炊き方	2	
第15回	調理実習 日本料理（1）（だし）	だしのとり方	2	
第16回	調理実習 日本料理（1）（炒め・煮物）	炒め調理、煮物調理	2	
第17回	調理実習 日本料理（2）（乾物の取り）	乾物の取り扱い	2	
第18回	調理実習 日本料理（2）（蒸し調理）	茶わん蒸し（鶏卵の調理）	2	
第19回	調理実習 日本料理（2）（魚の取り扱い）	魚のさばき方	2	
第20回	調理実習 西洋料理（オープン加熱調理）	加熱操作（オープンと蒸し器調理）	2	
第21回	調理実習 西洋料理（ゲル化）	ゲル化（コーンスターチによるゲル化）	2	
第22回	調理実習 西洋料理（テーブルマナー）	西洋料理のテーブルマナー	2	
第23回	調理実習 中華料理（獣肉の取り扱い）	獣肉の取り扱い、切り方	2	
第24回	調理実習 中華料理（スープの調味パーセ）	汁物の調味	2	
第25回	調理実習 中華料理（揚げ調理）	揚げ操作	2	

担当者から

調理実習の際には、調理専用白衣、調理用帽子が必要となる（別途指示）。
 本科目は教職用科目であるため、履修は生活デザイン学科に在籍し、かつ「中学校教諭一種免許（家庭）」あるいは「高等学校教諭一種免許（家